JAPAN GAMES

昭和100年

2026 AOMORI

青の煌(きら)めきあおもり国スポ



公式マスコット
「アップリート君」

第80回国民スポーツ大会

軟式野球競技会

会 期 10.11(日)-14(水)

会 場

青 森 市	ダイシンベースボールスタジアム
	青森県営野球場
三 沢 市	三沢市民運動広場野球場
六 戸 町	六戸町総合運動公園野球場
おいらせ町	おいらせ町下田公園野球場
六ヶ所村	六ヶ所村大石総合運動公園第三球場

主 催 公益財団法人日本スポーツ協会 ・ 文部科学省 ・ 青森県・公益財団法人全日本軟式野球連盟
青森市 ・ 三沢市 ・ 六戸町 ・ おいらせ町 ・ 六ヶ所村

第80回国民スポーツ大会
The 80th JAPAN GAMES

国民スポーツ大会（国スポ）は、都道府県対抗で毎年開催される国内最大のスポーツの祭典です。本県での開催は、前回のあすなろ国体(※)以来49年ぶりであり、前回同様、冬季大会と本大会を同一県で開催する「完全国スポ」です。

※2024年から「国民体育大会」の名称が「国民スポーツ大会」に変わりました。

あすなろ国体とは？

昭和52年、青森県で国体史上初となる完全国体（冬・夏・秋と3季にわたり行われる大会を同一県で実施した国体）として、第32回国民体育大会（あすなろ国体）が県内各地で華々しく開催され、本県は天皇杯を獲得しました。



■ 大会愛称

青の煌（きら）めきあおもり国スポ

青い空、青い海や湖、青い山並みなど美しく豊かな自然に恵まれた青森県で、あおもり国スポに参加する全ての人々が、交流を深め、感動を創出し、いきいきと煌めくような大会を目指します。

■ スローガン

翔けろ未来へ縄文の風に乗って

縄文時代の遺跡が数多く存在する青森から、新たな歴史と感動を全国に向けて発信し、未来につなげていきたいという願いを込めています。

■ イメージソング「翔けろ未来へ」



作詞：井元 仁江
作曲：T.Mikami
編曲：多田 慎也、島田 尚
歌唱：りんご娘
（ピンクレディ、スターキングデリシャス、はつ恋ぐりん、金星）

■ ダンス「青の煌（きら）めきダンス」



イメージソング「翔けろ未来へ」にあわせ、振付けに青森県を表現するポーズやねぶたの跳人の動き、手話による表現などを盛り込んだ、青森らしいユニバーサルデザインダンスです。

■ 公式マスコット



「アップリート君」

特徴ある県の形と、ハチマキの中央にある「りんご」で青森県を表現しています。

LINEスタンプも販売！

最新情報は公式アプリ・HP・SNSで！

公式アプリ

Download on the App Store　GET IT ON Google Play

あおもり国スポ　検索

今すぐ無料ダウンロード！

公式HP　X　Instagram　YouTube

目　　次

あいさつ

公益財団法人　日本スポーツ協会　会長　遠　藤　利　明 …… 1

文部科学大臣　松　本　洋　平 …… 2

公益財団法人　全日本軟式野球連盟　会長　堺　　充　廣 …… 3

歓迎のことば

青森県知事　宮　下　宗一郎 …… 4

青の煌めきあおもり国スポ・障スポ
青森市実行委員会会長　青森市長　西　　秀　記 …… 5

青の煌めきあおもり国スポ・障スポ
三沢市実行委員会会長　三沢市長　小檜山　吉　紀 …… 6

青の煌めきあおもり国スポ
六戸町実行委員会会長　六戸町長　佐　藤　陽　大 …… 7

青の煌めきあおもり国スポ・障スポ
おいらせ町実行委員会会長　おいらせ町長　成　田　光　寿 …… 8

青の煌めきあおもり国スポ
六ヶ所村実行委員会会長　六ヶ所村長　橋　本　隆　春 …… 9

青森県軟式野球連盟　会長　井戸端　隆　雄 …… 10

授与規程

天皇杯・皇后杯授与規程 …… 12

会長トロフィー授与規程 …… 13

競技会名簿

大会役員 …… 15～18

競技会役員 …… 19～22

競技役員(共通) …… 23

会場地別競技役員・競技補助員 …… 24～29

実施本部(競技会係員・競技会補助員) …… 30



実施要項

総則 ……33～51
軟式野球競技実施要項 ……52～56

開始式・表彰式

開始式次第・要領図 ……58～59
第１位・第２位　表彰式・閉会式次第・要領図 ……60～61
第３位～第８位　表彰式　次第・要領図 ……62～63

競技日程・組合せ表・練習会場

競技日程 …… 65
組合せ表 ……66～67
練習会場 …… 68

競技会場

全体会場案内地図 …… 71
各会場案内地図 ……72～77
各会場配置図 ……78～89

参加者名簿

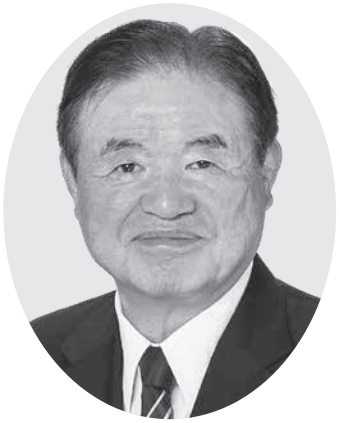
都道府県別参加人数一覧 …… 91
監督・選手名簿 …… 92～123

軟式野球競技の案内

軟式野球競技の沿革 …… 125
競技の見方・競技成績採点方法 …… 126
栄光の跡 …… 127～129
過去３大会結果一覧 …… 130～132

関係機関連絡先

競技会関係連絡先一覧 …… 134
医療機関情報 …… 135



あいさつ

公益財団法人　日本スポーツ協会
会長　**遠藤　利明**

はじめに、本年７月２８日に発生した令和８年熊本地震により亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げます。また、同地震及び昨年１２月８日に発生した青森県東方沖地震により被災された皆様に謹んでお見舞い申し上げ、一日も早い復興と皆様のご健康を心からお祈りいたします。

第８０回国民スポーツ大会は、本年１月から２月に行われた冬季大会と併せ､「完全国スポ」として開催いたします。

第７１回岩手大会以来、１０年ぶりとなる「完全国スポ」を締めくくる本大会が、縄文の時代から育まれてきた歴史と文化を有し、豊かな風土に恵まれた本州最北の地、ここ青森県において開催されますことは、誠に意義深いことであります。

本年は、第２５回オリンピック冬季競技大会（ミラノ・コルティナ）、サッカーFIFAワールドカップ２０２６、第２０回アジア競技大会（愛知・名古屋）などの大規模な国際総合競技大会が開催され、多くのアスリートの目覚ましい活躍が、私たちに大きな勇気を届けています。

本大会が「翔けろ未来へ縄文の風に乗って」というスローガンの通り、出場するアスリートの皆様にとって、世界へ羽ばたく契機となることを切に願っています。

さて、日本スポーツ協会では、「有識者会議」からの提言に基づき、令和７年７月、改革を具体的に進める組織として、「国スポ改革タスクフォース」を設置しました。

今後、現状と課題を分析し、国民スポーツ大会が競技性・祝祭性・社会性・文化性を掛け合わせた、「トップアスリートと地域スポーツの好循環　～人と地域の未来を創る～」という理念を具現化できる大会となるよう、検討を進めているところです。

結びに、地震からの復旧に取り組みながら、本大会の開催にあたり諸準備にご尽力いただきました青森県をはじめ、関係の皆様方のご支援、ご協力に対し心から深く感謝申し上げます。



あいさつ

文部科学大臣

松本　洋平

はじめに、令和８年熊本地震によりお亡くなりになられた方々に哀悼の意を表するとともに、被災された全ての方々に心からお見舞い申し上げます。

文部科学省としては、被災された熊本県をはじめとする自治体への支援に全力を挙げて取り組んでまいります。

天皇皇后両陛下の御臨席を仰ぎ、ここ青森県において昭和１００年記念 第８０回国民スポーツ大会「青の煌めきあおもり国スポ」が盛大に開催されますことを、誠に喜ばしく存じます。

青森県は、世界自然遺産の「白神山地」、四季折々の表情を見せる「八甲田山」や「岩木山」など豊かな自然の魅力にあふれ、世界文化遺産である「北海道・北東北の縄文遺跡群」や重要無形民俗文化財である「青森のねぶた」など、自然と文化が息づく県です。

昭和５２年のあすなろ国体以来４９年ぶりの青森県での開催となり、「翔けろ未来へ縄文の風に乗って」をスローガンに、県全域を舞台に熱戦が繰り広げられます。

本大会は、史上初となる総合開会式・閉会式の屋内開催に加え、大会公式アプリによる競技情報や結果速報の提供、デジタルチケットの活用などデジタル技術の活用により、選手と観客双方に配慮した大会運営となっています。「青の煌めきあおもり国スポ」が、国民に夢と感動を与え、青森県の魅力発信と活性化につながる大会となりますことを心から願っております。

郷土の代表として参加される選手の皆さんが、積み重ねてこられた練習の成果を思う存分発揮され、我が国の国際競技力の向上が図られるとともに、この機会に全国の仲間や青森県民の皆さんとの交流を通じて、思い出に残る大会となりますことを期待しております。

昨年度は、東京２０２５世界陸上競技選手権大会、第２５回夏季デフリンピック競技大会東京２０２５、ミラノ・コルティナ２０２６冬季オリンピック・パラリンピック競技大会が、今年度は、愛知・名古屋において、第２０回アジア競技大会、第５回アジアパラ競技大会が開催され、国民のスポーツへの関心はますます高まっているところです。

文部科学省としましても、アスリートや子供たちの活動の機会を確保し、スポーツの持つ力やすばらしさが社会の活力につながるよう、関係の皆様と一丸となって取組を進めてまいります。

結びに、「青の煌めきあおもり国スポ」の開催に当たり御尽力いただいた地元青森県、会場となる各市町村をはじめとする関係の皆様の御支援、御協力に対し、心から敬意と感謝の意を表しまして、御挨拶といたします。

（令和８年７月３１日現在）



あいさつ

公益財団法人　全日本軟式野球連盟
会長　堺　　充廣

はじめに、令和８年熊本地震および令和８年８月千葉豪雨により甚大な被害を受けられた皆様に、心よりお見舞い申し上げます。今なお復旧作業や生活再建に向けてご尽力されている多くの方々のご苦労に思いを寄せ、被災地域の一日も早い復旧・復興が成し遂げられますことを切に祈念いたします。

第８０回国民スポーツ大会が、本州の最北端に位置し、豊かな自然、美しい四季、独自の文化や祭り、そして新鮮な海の幸・山の幸に恵まれた、ここ青森県において盛大に開催されますことに心から感謝申し上げます。

厳しい予選を勝ち抜き見事、都道府県代表になられた精鋭３２チームの選手の皆さん、ご出場おめでとうございます。本大会は、地域スポーツの振興と地方文化の発展に大きく寄与し、国民生活を明るく豊かにすることを目的に昭和２１年より開催され、国内最大のスポーツの祭典として、スポーツの普及とスポーツ精神の高揚ならびに国民の健康増進と体力の向上を図ってきました。選手の皆さんにおかれましては、都道府県代表として正々堂々とフェアプレイを心がけ、これまで積み重ねてこられた練習の成果を存分に発揮し、トップクラスが集う本大会の頂点を目指して大熱戦を繰り広げていただくとともに、思い出深い大会となることを念願しております。

当連盟は学童からシニアまで幅広い年代の競技者を預かる中央競技団体として、競技の公正性と安全性を確保し、安定した競技環境を維持する責務を担っています。軟式野球が長く親しまれてきた背景には、誰もが参加しやすく、生涯にわたり関わることのできる競技であるという特長があり、その価値を守り、次の世代へ確実につないでいくことが、今後も変わらぬ使命です。また、広く愛され信頼される組織構築のため、加盟団体・関係団体等との連携体制を強固にして事業を推進し、競技力・大会認知度の向上、生涯スポーツの推進に対応してまいります。

結びに、本大会の開催に際し、多大なるご尽力を賜りました青森県軟式野球連盟をはじめ、青森市、三沢市、六戸町、おいらせ町、六ヶ所村の関係各位には、深甚の敬意を表するとともに、本大会が全ての皆様との絆が深まる素晴らしい大会となりますよう御祈念申し上げ、ごあいさつといたします。



歓迎のことば

青森県知事　宮下（みやした）　宗一郎（そういちろう）

はじめに、令和８年熊本地震によってお亡くなりになられた方々に、深く追悼の意を表しますとともに、御遺族と被害に遭われた方々に心からお見舞い申し上げます。

昭和１００年記念青の煌（きら）めきあおもり国スポ「第８０回国民スポーツ大会」が昭和元年（１９２６年）から起算して満１００年の節目となる年に、天皇皇后両陛下の御臨席を仰ぎ、青森県において開催されますことをお喜び申し上げます。そして、全国各地からお越しくださいました選手及び関係者の皆様を、県民を代表して心から歓迎いたします。

「青の煌（きら）めきあおもり国スポ」は、史上初の完全国体である「あすなろ国体」以来４９年ぶりとなる青森県での開催であり、国民体育大会から国民スポーツ大会に大会名称が変更されてから、初の“完全国スポ”となります。

「翔けろ未来へ縄文の風に乗って」のスローガンのもと、美しく豊かな自然の恵みを受けながら、一万年以上にわたり縄文文化が営まれていたこの青森の地で生まれる新たな歴史と感動、そしてこれを希望ある未来へつなげていきます。

“スポーツで青森県が一つ”に、“私たち県民の心がスポーツで一つ”になる、「青森新時代」の大会を目指し、県民総参加で青森県を青の煌（きら）めき一色に染め上げ、スポーツの祭典を盛り上げたいと考えています。

選手の皆様には、日々の練習で培ったパフォーマンスを存分に発揮されますとともに、感動と温かい交流にあふれ、皆様の心に残る最高の大会となることを願っています。

結びに、今大会の開催に御尽力されました関係者の皆様に心から感謝を申し上げるとともに、今大会の成功と選手の皆様の御健闘をお祈りし、歓迎のことばといたします。



歓迎のことば

青の煌めきあおもり国スポ・障スポ青森市実行委員会会長

青森市長　西　　秀記

第８０回国民スポーツ大会「青の煌めきあおもり国スポ」の歓迎のあいさつに先立ち、このたびの令和８年熊本地震及び令和８年８月千葉豪雨により亡くなられた方に深く哀悼の意を表しますとともに、被災された皆様に対し、心よりお見舞いを申し上げます。本大会において選手の皆様がひたむきに競技に臨む姿が、多くの方々に感動と希望を届け、被災地の一日も早い復旧・復興への力となりますことを切に願っております。

第８０回国民スポーツ大会「青の煌めきあおもり国スポ」は、昭和５２年の「あすなろ国体」以来、青森県で４９年ぶり２度目の開催となります。国体から国スポへの名称変更後、初の完全国スポとなる大会であり、青森市にて軟式野球競技をはじめとする１４競技１９種目の正式競技を開催できますことを大変嬉しく思います。また、全国各地からお越しいただく選手や監督、関係者の皆様を、青森市民を代表して心より歓迎いたします。

本市では、スポーツを通じた交流人口の拡大により地域活性化を図る取組を進めており、青森駅周辺の歓迎装飾や各競技会場の応援のぼり旗など、全国から来訪される方々を青森らしい心のこもったおもてなしでお迎えできるよう、市民一丸となって準備してまいりました。

出場される選手の皆様におかれましては、これまで積み重ねてきた努力の成果を存分に発揮し、最高のパフォーマンスを披露されますことを期待しております。

また、大会期間中には、子どもたちがスポーツの楽しさや素晴らしさを体感できる機会づくりを進めることとしており、本大会が多くの方にとって心に残る実り多き大会となることを願っております。

さて、青森市には、静穏な陸奥湾、雄大な八甲田連峰などの豊かな自然のほか、日本を代表する火祭り「青森ねぶた祭」の歴史や魅力を体感できる「ねぶたの家ワ・ラッセ」や、世界遺産にも登録された「三内丸山遺跡」、「小牧野遺跡」など、文化や歴史を感じられる施設が数多くあります。また、全国的にも有名なりんごや新鮮な海の幸など、豊富な食材にも恵まれております。ぜひこの機会に本市の多彩な魅力を堪能していただければ幸いです。

結びに、本大会の開催に当たり御尽力いただいた関係者の皆様に深く感謝申し上げますとともに、選手の皆様の御活躍を心より祈念いたしまして、歓迎のことばといたします。



歓迎のことば

青の煌めきあおもり国スポ・障スポ三沢市実行委員会会長
三沢市長　**小檜山　吉紀**

はじめに、令和８年熊本地震によってお亡くなりになられた方々に、深く追悼の意を表しますとともに、御遺族と被害に遭われた方々に心からお見舞い申し上げます。

このたび、第80回国民スポーツ大会「青の煌めきあおもり国スポ」軟式野球競技会の開催に際しまして、全国各地から多くの選手・監督及び大会関係者の皆様を三沢市にお迎えできますことは、誠に光栄であり心から歓迎申し上げます。

三沢市は、青森県の東部に位置し、東は太平洋、西には小川原湖と広大な海と湖に囲まれた自然豊かなまちであるとともに、米軍基地や航空自衛隊基地などもあり、国際的な交流と活気に満ちた都市でもあります。選手や大会関係者の皆様には、当市独自の国際色豊かな街並みをはじめ、特産品であるごぼうやにんにく、長芋などの農産物や三沢昼いかやほっき貝などの新鮮な海産物など、ぜひこの機会に当市の魅力に触れていただければ幸いに存じます。

さて、いよいよ、昭和52年に開催された第32回国民体育大会「あすなろ国体」以来、49年ぶりとなる第80回国民スポーツ大会「青の煌めきあおもり国スポ」が青森県で開催されます。当市では軟式野球（成年男子）をはじめ、ホッケー（少年男女）、銃剣道（全種別）、バスケットボール（少年女子）及びソフトボール（少年女子）の正式競技に加え、公開競技の武術太極拳、デモンストレーションスポーツのいきいき太極拳が行われます。今大会が各競技への関心を高めるとともに、当市におけるスポーツ振興を図る上でも大変有意義なものになることを期待しております。選手の皆様におかれましては、日頃の鍛錬と努力の成果を遺憾なく発揮され、素晴らしい成果を収められるとともに、お互いの親睦や交流を深める素晴らしい大会となることを願っております。

結びに、大会の開催にあたりご尽力いただきました大会関係者の皆様に心から感謝申し上げますとともに、大会の成功と選手の皆様のご健闘・ご活躍を祈念いたしまして、歓迎のことばといたします。



歓迎のことば

青の煌めきあおもり国スポ六戸町実行委員会会長
六戸町長　佐藤　陽大

第８０回国民スポーツ大会「青の煌めきあおもり国スポ」軟式野球競技会が、青森県、そして六戸町において盛大に開催できますことは大きな喜びであり、誠に光栄に存じます。また、全国各地より六戸町へお越しの選手・監督、ならびに大会関係者の皆様を心から歓迎申し上げます。

はじめに、このたびの令和８年熊本地震および令和８年８月千葉豪雨により、尊い命を失われた方々に謹んで哀悼の意を表しますとともに、被災された皆様に心からお見舞いを申し上げます。一日も早い復旧・復興と、皆様の平穏な日常が戻りますことを心よりお祈り申し上げます。

さて、軟式野球は、幅広い世代に親しまれ、多くの人々に夢や感動を与えてきたスポーツであり、私自身も野球愛好家の一人でございます。仲間との信頼関係を大切にしながら、一球に思いを込めて戦う姿は、多くの人々の心を打ち、地域に活力をもたらしてくれます。今大会においても、全国から集う選手の皆様が、これまで培ってこられた技術とチームワークを存分に発揮され、記憶に残る熱戦が繰り広げられることを期待しております。

また、本大会の開催は、地域の子どもたちに夢や希望を与え、スポーツへの関心を高める貴重な機会でもあります。皆様が繰り広げる熱戦やひたむきな姿は、多くの人々に勇気と感動を届けることでしょう。未来を担う子どもたちにとって、その姿は大きな励みとなり、地域スポーツのさらなる発展につながるものと確信しております。

ここ、六戸町は、青森県南部地域のほぼ中央に位置し、豊かな自然環境と温かな人情に恵まれた町です。四季折々の美しい風景に加え、長い歴史の中で育まれてきた文化や伝統が息づいております。また、農業が盛んな地域として知られ、新鮮で安全・安心な農産物にも恵まれております。大会期間中は、競技だけでなく、六戸町ならではの魅力にも触れていただき、思い出深い時間を過ごしていただければ幸いです。

また、六戸町では、訪れるすべての皆様を温かくお迎えし、安心して競技に臨める環境づくりに努めてまいりました。選手の皆様が最高のコンディションで力を発揮されるとともに、交流を深め、友情の輪を広げられる大会となることを願っております。

結びに、本大会の開催にあたり多大なるご支援・ご尽力を賜りました関係機関、競技団体、ボランティアの皆様に、心より感謝を申し上げますとともに、選手の皆様が煌めく大会となるようご健闘を祈念し、歓迎のことばといたします。



歓迎のことば

青の煌めきあおもり国スポ・障スポおいらせ町実行委員会会長

おいらせ町長　成田　光寿

第８０回国民スポーツ大会「青の煌めきあおもり国スポ」軟式野球競技会が、ここおいらせ町において開催できますことは大変喜ばしく、全国各地からお越しくださいました選手・監督並びに関係者の皆様を心から歓迎申し上げます。

「青の煌めきあおもり国スポ」では、当町を会場に、正式競技の軟式野球競技のほか、７月にはデモンストレーションスポーツのファイン・ボール競技、スポーツチャンバラ競技が行われました。また、第２５回全国障害者スポーツ大会「青の煌めきあおもり障スポ」では、正式競技としてブラインドベースボール競技、オープン競技としてファイン・ボール競技を開催することになっております。各競技の成功と全国各地から来訪されるすべての方々を、温かいおもてなしをもってお迎えできるよう、準備を進めてまいりました。

試合会場の下田公園野球場は、大会に合わせて開設以来の大規模改修を行い、国民スポーツ大会に相応しい会場に整備いたしました。新しく生まれ変わったこのおいらせ町下田公園野球場で、郷土の誇りを胸に白熱した試合が繰り広げられ、お互いに親睦が深まる素晴らしい大会となりますことを期待しております。

今年、おいらせ町は、町誕生２０周年の大きな節目を迎えました。当町には、先人の皆様が築いてこられた様々な伝統ある歴史と文化が存在しております。ぜひ、この機会に「おいらせ町」を存分に堪能していただき、プライベートの旅行などで再度のご来訪をいただければ幸いです。

結びに、本大会の開催にご尽力されました関係者の皆様に深く敬意を表しますとともに、大会のご成功と軟式野球競技のますますのご発展を心からお祈り申し上げ、歓迎のことばといたします。



歓迎のことば

青の煌めきあおもり国スポ六ヶ所村実行委員会会長
六ヶ所村長　**橋本　隆春**

このたび、全国各地から多くの選手、監督、関係者の皆様をお迎えし、「青の煌めきあおもり国スポ」軟式野球競技が、ここ六ヶ所村において盛大に開催されますことを大変喜ばしく思いますとともに、村民を代表し、心から歓迎申し上げます。

青森県では、昭和５２年の「あすなろ国体」以来、４９年ぶりの国スポ開催となり、本村が軟式野球競技の会場地となりますことを、大変うれしく思っております。

本大会のスローガン「翔けろ未来へ 縄文の風に乗って」には、縄文の時代から受け継がれてきた青森の豊かな歴史や文化を礎に、未来へつなげていくという願いが込められております。本大会が、選手の皆様の素晴らしい活躍により、新たな歴史を刻み、未来へつながる大会となりますことを願っております。

本村は、雄大な自然に育まれた豊かな環境の中で、原子力サイクル関連施設をはじめ、風力発電などのエネルギー事業と、農業・漁業などの地域産業が調和しながら発展を続ける村です。御来村の皆様には、緑に囲まれた湖沼群と雄大な太平洋、自然とエネルギー関連施設が融合する本村ならではの景観を感じていただくとともに、特産品もぜひご賞味いただき、六ヶ所村での思い出を深めていただければ幸いです。

出場される選手の皆様には、各都道府県の代表としての誇りを胸に、日頃の練習の成果を存分に発揮され、優勝を目指して、レベルの高い熱戦を繰り広げられますことを期待しております。そして、互いの健闘を称え合える、思い出に残る素晴らしい大会となりますよう願っております。

結びに、本大会の開催に際し、多大なる御尽力を賜りました関係者の皆様に深く敬意を表しますとともに、本大会の成功と、選手の皆様の御活躍を心から祈念申し上げ、歓迎のことばといたします。



歓迎のことば

青森県軟式野球連盟
会長　井戸端　隆雄

はじめに、令和８年熊本地震により被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。一日も早い復旧・復興が進み、被災地の皆様が平穏な日常を取り戻されますことを、切に願っております。

「青の煌めきあおもり国スポ軟式野球競技会」の開催にあたり、全国各地から多くの選手ならびに関係者の皆様をお迎えし、青森市をはじめ、三沢市、六戸町、おいらせ町、六ヶ所村の５市町村において盛大に開催されますことを、心より歓迎申し上げます。

青森県で国スポ軟式野球競技会が開催されるのは、１９７７年(昭和５２年)に行われた第３２回国民体育大会(あすなろ国体)以来、実に４９年ぶりとなります。半世紀近い歳月を経て再びこの地に大会をお迎えできますことは、県内の軟式野球関係者にとりまして大きな喜びであり、競技の歴史と伝統を未来へとつなぐ重要な節目でもあります。

私たち青森県軟式野球連盟は、地域に根ざした軟式野球の普及発展に尽力し、競技を通じて育まれる友情やマナー、そして挑戦の精神を次代へと継承することを使命に歩んでまいりました。４９年の時を経て結実したその歩みのもと、全国の皆様をこの青森県の地にお迎えできますことは、私たちの大きな誇りでございます。

青森県の澄みわたる空、深い青の海、そして豊かな自然が織りなす“青の煌めき”のもと、皆様が心身ともに充実した状態で競技に臨まれますことを願っております。

本大会が、日頃の鍛錬の成果を存分に発揮する場となり、地域間の交流を深め、軟式野球の新たな可能性を切り拓く契機となることを強く期待いたします。

結びに、本大会の開催にあたり多大なご支援とご協力を賜りました公益財団法人全日本軟式野球連盟をはじめ、県および開催５市町村の実行委員会ならびに関係者の皆様に心より感謝申し上げます。併せて、選手の皆様のご健闘と本大会の成功、並びに軟式野球界の益々の発展を祈念いたしまして、歓迎の挨拶といたします。

memo



青の煌(きら)めきあおもり国スポ

2026 翔けろ未来へ縄文の風に乗って

第80回国民スポーツ大会





天皇杯　　皇后杯

国民スポーツ大会天皇杯・皇后杯授与規程

第１条　国民スポーツ大会開催基準要項第11項に基づき、天皇杯は、男女総合成績第１位の都道府県、皇后杯は、女子総合成績第１位の都道府県に授与する。

２　第１位が２都道府県以上の場合は、当該都道府県で共有する。

第２条　天皇杯及び皇后杯は、総合閉会式に授与し、次回の総合開会式において返還する。

第３条　天皇杯又は皇后杯を授与された都道府県は、次の各項の義務を有する。

⑴　信託会社又は確実な金庫に保管する。

⑵　破損、紛失等の場合は、当該都道府県の責任とする。

⑶　公益財団法人日本スポーツ協会が優勝都道府県名刻印のため又はその他の必要により一時返還を求めた場合は、これに応じなければならない。

第４条　本規程の改廃は、国民スポーツ大会委員会の決議を経て行う。

附　則　本規程は、昭和41年４月１日制定
昭和45年１月22日一部改定
昭和48年７月10日一部改定
昭和54年５月９日一部改定
平成17年６月16日一部改定
平成22年３月17日一部改定

本規程は、公益財団法人日本体育協会の設立の登記の日（平成23年４月１日）から施行する。

平成30年４月１日一部改定
令和６年１月１日一部改定


大会会長トロフィー

国民スポーツ大会会長トロフィー授与規程

第１条　国民スポーツ大会開催基準要項第11項に基づき、国民スポーツ大会会長トロフィー（以下「大会会長トロフィー」という。）は、正式競技別男女総合成績第１位の都道府県に授与する。

２　第１位が２都道府県以上の場合は、当該都道府県で共有する。

第２条　大会会長トロフィーは、競技会表彰式に授与し、次回競技会において返還する。

第３条　大会会長トロフィーを授与された都道府県は、次の各項の義務を有する。

⑴　責任をもって保管する。

⑵　破損、紛失等の場合は当該都道府県の責任とする。

⑶　優勝の刻印を次回大会までに行なうものとする。ただし、第１条第２項の場合は、当該都道府県で協議して決めるものとする。

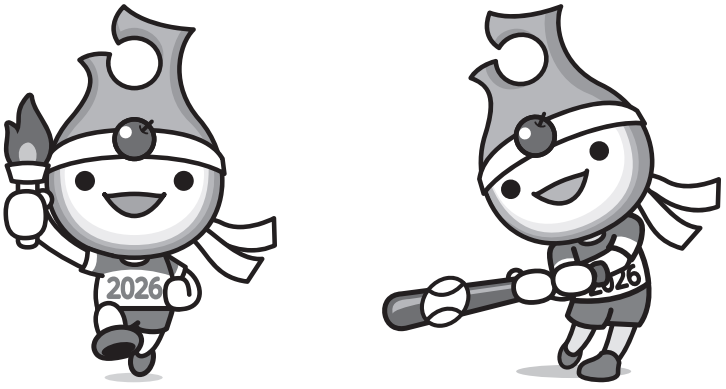
⑷　公益財団法人日本スポーツ協会が必要により一時返還を求めた場合は、これに応じなければならない。

第４条　本規程の改廃は、国民スポーツ大会委員会の決議を経て行う。

附　則　本規程は、昭和41年４月１日制定
昭和45年１月22日一部改定
昭和48年７月10日一部改定
昭和54年５月９日一部改定
平成17年６月16日一部改定
本規程は、公益財団法人日本体育協会の設立の登記の日（平成23年４月１日）から施行する。
平成30年４月１日一部改定
令和６年１月１日一部改定

軟式野球競技会

競技会名簿



翔けろ未来へ縄文の風に乗って
第80回国民スポーツ大会
青の煌(きら)めきあおもり国スポ2026

大 会 役 員

2026年7月31日現在
（順不同・敬称略）

名誉会長

松本　洋平

会長

遠藤　利明

副会長

益子　直美
河合　純一
田中　不二夫
宮下　宗一郎
三宮　恵利子
森岡　裕策

顧問

森　喜朗
坂元　要
石井　砂織
鹿島　丈博
小寺　洋
村松　さやか
久保　直生
金子　日出澄
石丸　元国
長谷川　洋子
安藤　淳
佐藤　健司
宮永　美寿津
大野　淳
山﨑　勝洋
村田　利衛
中村　ゆり子
井上　弘
大澤　明美
中山　俊行
田邊　哲人
布村　幸彦
谷藤　節雄
酒井　祐一
安西　孝之
勝田　隆
植田　実
木平　芳定
櫻井　由香
室伏　由佳
藤田　裕司
貝瀬　智洋
多氣　洋平
吉田　長寿
上治　丈太郎
馬場　美香
千田　健一
永谷　喜一郎
浅見　敬子
建部　彰弘
齋藤　良太郎
今川　啓一
古城　資久
田中　徹
城門　政文
川原　元則
中村　伸彦
藤田　知巳
岡崎　助一
飯塚　悟
浦　美奈子
工藤　保子
中嶋　実
湯川　和之
藤原　誠
森　晃
井﨑　洋志
齋木　尚子
湧永　寛仁
堺　充廣
中里　壮也
田村　恒彦
山口　徹正
市野　保己
谷田部　和彦
近藤　重和
小野　賢二
知念　かおる
前川　恵
生島　典明
千葉　玲佳
北條　俊明
越川　均
池田　めぐみ
笠師　久美子
久保　正美
橋本　聖子
吉岡　成子
室城　信之
土橋　登志久
鬼頭　有紀子
多賀　恒雄
三宅　秀一郎
南　和文
岡本　友章
蒔田　実
田中　伸周
丸石　博
木村　博美
池谷　正成
園山　和夫
出口　弘之
園田　義宜
大沢　陽子
奥山　雅信
田子　昌之

高部 雄
田名部 暢浩
新保 繁三
髙橋 誠治
山本 英一
横尾 祐泰
河村 章蔵
青木 康樹
宮成 正隆
藤原 良美
奈良 林久
小林 茂樹
小林 和彦淳
矢野 島代子
津島 名部匡
田名部 張知
風張 崎寿一
尾崎 木大地
鈴木 須和泰
三須 山英明
富山 道光二
安道 村真一
中村 田雅人
土田 川善弘
笹川 羽秀樹
丹羽 川裕生
荒川 村清士
北村 野元裕
大野 角英世
花角 野剛
髙野 村秀章
大村 橋知史
髙橋 林昭男
林 岡嗣政
村岡 城純子
今城 村敬
木村 城デニー

清仁
宏平
武彦
寛
晃
ひさ美
晃仁
秀子
朝治
廣子
幸一
裕之
宏
敦行
聡徳
慎康
豊光
裕子
東一
慎二
恭文
正幸
威
弘成
素子
聡
美栄子
祐司
伸浩
嵩人
多加二
隆俊
泉
章
岩男
研
康一

塩見
中村
花崎
藤堂
奥田
堂本
高岡
辛木
平良
佐藤
菊
中村
増子
浅野
江渡
工藤
濱舘
有森
坂田
島田
金丸
後藤
真砂
世耕
久保
北村
吉村
遠藤
岡田
石田
中谷
西脇
宮崎
迫谷
大塚
平田
塩田

夫
成一
博夫
幹伯
和也
直幸
一稔
彦成
勝弘
幸隆
隆妙
妙子
純子
かおる
毅
次郎
泉
秀記
温
祐二
直志
良治
章男
満
正次
淳
光英司
有一
富
実可子
之義
義隆
祥二郎
健夫
孝昌
裕次郎
耕史
俊郎

山崎
山今
横西
増山
東田
近藤
田中
小柳
岩元
川上
宇津木
山口
福田
茂里
木村
山中
西
三本木
深澤
藤田
砂岡
豊田
村井
大野
土居
岩城
鶴田
福田
小谷
山野
田口
高橋
福谷
越宗
綾田
宮原
日隈

新井 彰
井出 仁
森山 喜博
山本 健次
松本 恭幸
小西 慎太郎
渡邊 浩三
城戸 英敏幸
若林 繁
新宮 領毅
小菅 司
寺澤 正孝人
清水 真人良
柿田 恭潤一
神田 珠美
福士 俊明
横町 進
鈴木 靖
宮本 恒一
川合 俊弘
馬場 益也
河田 正満
河合 幸男
町田 中
納冨 宏
津賀 一也
達増 拓彦
大井川 和彦
熊谷 俊人
新田 八朗
阿部 守一
伊藤 歳恭
斎藤 元彦
丸山 達也
後藤田 正純
服部 誠太郎
麻生 益直

参　与

廣田 美香
井本 貴之
大澤 敏彦

中村 宇一
伊吹 信一
大澤 祥宏

大杉 住子
安藤 晴美
大崎 光明

籾井 圭子
阿部 祐己
蛯沢 正勝

大平　陽子
北向　由樹
工藤　悠平
斉藤　孝昭
高橋　修一
田端　深雪
夏堀　嘉一郎
福士　直治
山田　知
和田　寛司
安田　博
三浦　猛史
舩木　久義
工藤　泰正
佐藤　剛
山本　恒太
堤　静子
高杉　勝彦
宮野　孝晶
佐藤　忠全
七尾　嘉信
三上　千春
外崎　れい子

小笠原　大佑
木明　和人
後藤　清安
齊藤　爾
高畑　紀子
鶴賀谷　貴
夏堀　浩一
丸井　裕
山谷　清文
奥田　忠雄
松本　史晴
千葉　雄文
豊島　信幸
栗林　豊
安田　貴司
津田　英一
橋場　保人
工藤　裕司哉
田村　琢造
倉橋　純一
佐藤　健也
高木　伸

川村　悟
櫛引　ユキ子
小比類巻　正規
鹿内　博
田中　順造
寺田　達也
成田　陽光
三橋　一三
吉田　ゆかり
大田　圭
中野　博之
後村　文子
秋野　桂
新屋　孝文
東山　国男
米内　正明
目澤　伸一
中居　敬子
中川　伸吾
一戸　善正
岡島　裕史
高杉　金之助

菊池　勲
工藤　兼光
今　博
清水　悦郎
田名部　定男
夏坂　修
花田　栄介
森内　之保留
吉俣　洋
平間　恵美
久慈　美穂
細谷　健司
上沢　謙一
簗田　潮
大山　力
小山内　修
山口　龍城
川浪　泰浩彦
里村　智貞
櫛引　利久
工藤　智一
小関　幸

委員長

山本　浩

副委員長

岩田　史昭　　石田　裕美　　出﨑　和夫

総務委員

松永　敬子
関口　直樹
三ヶ田　礼一
二宮　智浩
中尾　慶一郎
小澤　大樹

三宅　宏実
菅原　哲朗
山澤　文裕
小竹　喜也
下條　伸彦
小笠原　忠儀

稲垣　公雄
田﨑　博道
福田　一稔
田内　慎也
江橋　千晴
髙井　和紀

笠野　英弘
松田　基子
宇野　武
秋田　勝行
宮本　忠

委　員

洋康宜克重浩巖也鉄司男哲生吾人紀也紀太昭也元史行史文正泰行郎洋晃之紀彦嗣生敏

山神山鈴黒堀川木西長鈴崎高富田田越長谷小今片井和越松加笠吉髙菅柄河今吉田

木川木川口塚原南木村梨澤口中川林井岡澤田智本藤井野野間澤野後岡島間

了洋広生二昭治正輔二子三大介博久洋理志史吾悟子行成生哉彦聡稔弘仁治彰

平福葛舟加山平衛内吉川政寺町白幸三福林中小松高尾都遠岡杉碓沼髙荒丹

野士西喜藤口井口藤田口岡垣屋幡田浦居野林本田鷲甲藤崎田井田岡木羽

幸玲信憲俊宏鉄敬淳由美雅航佑毅博和久剛真綾孝一尚信正守晃健浩

橋原野島川泉﨑原根本邊崎本畑貫木武葉木嶋田野端元屋田田田部目江

聖亮良正明好賢百繁高幸大雅紀晴智純健利尚憲真憲知長右衛門昭一公

一崇勉一輔茂滿幸僚子二一花信史浩輔美子伸也也治剛行史正司司己

髙栗濱福宮岡濱菅上久保関杉田坊柿山田舟三稲佐々木中中日川山角角塩武田葛平

橋原野島川泉﨑原根本邊崎本畑貫木武葉木嶋田野端元屋田田田部目江

聖亮良正明好賢百繁高幸大雅紀晴智純健利尚憲真憲知長右衛門昭一公

一崇勉一輔茂滿幸僚子二一花信史浩輔美子伸也也治剛行史正司司己

髙栗濱福宮岡濱菅上久保関杉田坊柿山田舟三稲佐々木中中日川山角角塩武田葛平

永竹寺中中岸伊中中山井橋松加小阿長森木前石前濱黒千加藤丸井松寺黒

井ノ脇澤梶木倉川東段山口澤口橋藤池部坂島原田津田本田葉木上井崎木

雅智秀章康剛毅亜二さゆ貫真伸雄則哲嘉哲哲康雅義昌裕雅紳伸雅淳

史秋淳則広善之嗣美由三り剛太夕哉樹之也久也也博之朗宏史也克和哲守巳一郎

競　技　会　役　員

2026年7月31日現在
（順不同・敬称略）

競技会名誉会長

西　　秀記　　小檜山　吉紀　　佐藤　陽大　　成田　光寿
橋本　隆春

競 技 会 会 長

堺　　充廣

競技会副会長

藤原　庸介　　鎌田　英暢　　宇津木　妙子　　井戸端　隆雄
柿崎　泰明　　佐々木　仁　　新井田　照雄　　平野　敏彦
久保　勝廣　　工藤　拓実　　沼辺　慎也　　佐藤　一也
堤　　雅之　　中岫　賢悟

競 技 会 顧 問

木下　宗昭　　遠山　昌夫　　石原　廣士　　武内　繁和
山口　宏　　長野　昭彦　　小林　三郎　　冨永　茂巳
安岡　豊実　　加藤　廣美　　本間　俊三　　菊池　徳男
北澤　松一　　大久保　正樹　　土田　良雄　　塚本　泰英
葉梨　衛　　中島　宏　　樋口　半司　　古川　俊治
臼井　正一　　長島　昭久　　望月　和男　　山本　智章
深澤　久雄　　道上　宗雅　　川田　達男　　戸野谷　宏
大森　輝英　　千田　喜久治　　猫田　孝　　奥村　展三
河村　正雄　　佐藤　雅大　　下川　俊樹　　本田　雅一
湯淺　啓史　　蓮岡　靖之　　山村　貞夫　　橋本　尚理
宮本　欣貞　　十川　佳久　　渡邉　一志　　三石　文隆
島　　一満　　千住　良治　　馬場　成志　　後藤　一彦
井料田　豊　　池田　徹　　又吉　民人　　奈良岡　隆
瀬崎　雅弘　　下田　敏美　　松林　義光　　鳥山　義隆
工藤　裕司　　山内　康之　　瀧口　孝之　　松林　義一
奈良岡　臣哉

競 技 会 参 与

石井　秀行　　高野　秀喜　　丹尾　喜裕　　阿部　泰尚
栗原　久治　　宮下　護　　野口　訓　　大嶋　和幸
森田　進一　　小泉　喜作　　宇田川　武男　　鈴木　浩

彦豊　二健　郎太良　吾眞　信政　浩　賢　雄文　正勝　悦誠　典宗　竜　泰　一吉　人勇　保　子雅智　健　子純　緒津美　誠　朝武　晃大　正重　義正　彦雅　子英　一伸　雄繁　忠　訓　也伸　一榮　光和　勉　一猛　麻志　織香　り ま　哉篤　寛　樹洋

浩顕　高光　男眞　正和　唯英　隆　隆　三健　介俊　光利　則政　健　一義　雄光　美博　子和　治孝　司淳　光貴　人靖　仁明　里千　朗一　幸孝　巳保奈　子洋　夫茂　男一　実　治弘　一忠　之宏　幸祐　角栄　雄文　勉　鈴美　ゆみま　広晃　英元　哲　浩富　一祐

田山　中田　賀志　田竹　本松　富光　岡村　岷澤　田折　庭櫻　村川　田袴　林松　野金　田袴　名蛯　崎柿　村木　関　田中　田花　田山　野浅　類巻小比　木鈴　口澤　本奥　日春　山杉　根長　本山　口川　村木　尾沢　向小　田附　橋髙　村中　藤齋　森松　本山　木大　川及　子円　原栗

一公　満夫也　良晋　勝彦二　浩昭　弘貢　郎喜一　幸兼　子恵美　利勝　光義　夫珠　晃　也慎　尚裕　靖　子洋　也善　悦章　りどみ　義光　功昌　也卓　男盛　郎喜一　男一　光重　信芳　子和　勉　子陽　翔　正廣　美靖　仁　一喜　子尚　子伸　苗早　亮　修

島北　本山　田市　田前　野原　知武　田森　世加　田　堤　谷澁　田福　向小　林松　邊渡　向北　内天　倉小　下木　谷澁　山舘　谷川長　川村　山下　見船　木々佐　村西　橋　村川　館西　口野日　崎　浦柏　田　村大　木　泉小　川　合落　田　村吉　内　村三　木々佐　内　横

島　夫幹　本　彦和　田　広孝　野　力弘　井　治丈　側　弘　脇　弘正　沖　美常　崎　明泰　谷　司　島　栄正　向　良　田　寿光　田　実正　山　輔孝　畑　緑豆　熊　美ひと　戸　男美喜　藤　介夕　山　虎美　良　孝祥　万　子お　部　広伸　保田　二隆　藤　子泰　澤　一明　場　彦騎　田　茂嘉　坂　文敏　村　敏　野　勝　木々佐　間　子財　波　弘芳　部　行正　村　紀常　内　康博　浦　憲淳　名　満政　田　一　本　大清　山　市英　種

小野　正貴	館山　新	村畑　貞子	澤頭　則光
中村　敦	齋藤　賢剛	千葉　康伸	金谷　浩光
横内　信満	佐藤　秀彦	大久保　綾子	白戸　高史
土岐　政温	木村　颯希	大久保　文人	工藤　拓実
泉　宏明	佐々木　正幸	今　国弘	奈良　英文
船橋　正明	遠嶋　祥剛	太田　直樹	角田　毅
佐々木　和人	齊藤　寿一	髙野　雅子	舘山　公
沼辺　慎也	伊澤　徹	大塚　勤光	田中　浩
長根　隆弘	角　貴浩	坂岡　敏行	山本　京子
三村　俊介	佐藤　啓二	岡本　啓一	岡部　章典
吉田　和子	柏崎　勝徳	松山　公士	小向　正樹
一戸　善正	倉橋　純造	橋本　洋光	桒嶋　泰幸
大瀬　良一	津島　淳	前田　済	山本　知也
井戸端　隆雄	河野　満	今井　正樹	諏訪　正徳
高橋　修一	正部家　淳司	服部　一雄	中村　雅彦
川浪　泰浩	長尾　信	中嶋　與志久	菅原　文子
今　卓也	中川　伸吾	黒丸　健吾	相馬　克典
盛　健一	佐藤　健一	髙橋　秀親	花田　惇
工藤　智久	小形　峰雄	白鳥　晶司	中村　紀徳
成田　幾末	福田　真奈美	北畠　滋郎	大西　透信
沼澤　憲三	小比類巻　正規	森　隆	佐々木　重光
小山内　秀樹	中野　良喜	直町　成二	石黒　一之
小笠原　修	蛯名　佐知子	月舘　学	豊川　武伸
佐々木　仁	藤田　光彦	鈴木　吾朗	黒田　進二
渡辺　俊一	川原　雄一	古間木　勝弘	松舘　昌典
円子　国浩	高橋　宏典	金崎　浩也	石澤　峻
吉田　健志	木村　紀子	今泉　勝徳	田中　大輔
久保　勝廣	小笠原　宣康	石郷岡　祐介	三國　健司
根路銘　尚人	種市　治雄	矢崎　美香子	作田　宏之
		市川　秀和	武藤　悟司

競技会委員長

小山　吉男

競技会副委員長

川原　雄一	堤　喜一郎	柿崎　泰明	小野　元樹
中田　真紀子	田澤　康治	岩谷　司	北向　政美
橋本　洋光	川口　邦彦	髙間木　誠一	熊野　真希

競技会委員

広	信	博	隆	田	袴	輔	望
之	芳	健		木	佐々	良	一
加	理	浩	広	神	薬師	子	香
子	淳	郎	太	津	中	夫	子
子	綾	介	耕	国	小	美	友
浩	雅	子	恵	藤	工	英	武
郎	太	子	美	中	木	元	淳
介	耕	子	真	村	坂	修	桂
子	恵	美	智	川	石	雄	次
美	真	彦	忠	本	宮	一	子
三	弘	子	美	島	古	子	香
豊		樹	春	野	田	英	策
樹	春	夫	邦	石	橋	武	広
進	栄野	樹	直	村	中	元	雄
子	るみ	也	一	橋	高	淳	次
口	溝	谷	打	野	宇	修	一
川	石	原	前	倉	小	桂	子
本	宮	西		本	山		
島	古			田	岡		
田	岸			橋	石		
野	大			村	奥		
橋	三			原ヶ	竹		
石	白			崎	見		
村	中			野	小		
坂	高			藤	佐		

競　技　役　員　（共通）

（順不同・敬称略）

競技委員長	小野　元樹					
競技副委員長	石川　智雄					
競　技　委　員	長岡　信広	石井　秀行	髙橋　正則	菊池　徳男		
	丹尾　喜裕					
総合成績計算委員長	染矢　儀傅					
総合成績計算委員	木村　昌一					
審判委員長	根岸　仁					
審判副委員長	加賀　光也	吉野　弘則				
派遣審判員	川畑　昭浩	石川　貴則	田上　徹	落合　友克		
	宇都宮　崇	田村　智啓				
審　判　員	中田　勝彦	大橋　剛彦	佐藤　智仁	須藤　亮		
	若杉　知明	加賀　勝	菊地　武広	新町　祥行		
	川村　洋	島脇　一夫	市澤　理	奥寺　典生		
	小林　章	川畑　俊幸	三浦　美樹夫	田中　圭二		
	嶋　満昭	中村　彰悟	洞内　琢馬	蛯名　聖治		
	和田　俊光	柴田　宣敬	石岡　和也	間山　浩樹		
	成田　正一	大室　広之	東田　智也	木村　比呂樹		
	本間　真弥	高松　得紀	平山　靖晃	工藤　雅也		
	斉藤　高弘	橋本　洋光	沖津　鉄美	川添　直也		
	野沢　匡貴	西舘　昌永	松浦　敏明	長嶺　秀平		
	虻川　知喜	酒井　洋貴	木村　幸男	淋代　秀樹		
	奈良　文治	山田　聡	増尾　淳	山口　徹		
	大杉　樹	澤田　博幸	三浦　清貴	鶴山　昭義		
	白尾　丈司	新谷　孝義	斉藤　武志	中谷　孝太		
	福士　隼哉	長内　公人	西巻　良祐	工藤　竜平		
	本木　剛	一戸　泰人	鈴木　悠太	阿部　孝徳		
	千葉　俊也	高橋　博	小野寺　克仁	高嶋　勝幸		
	中野　正二	小泉　和	古内　正紀	石井　宏樹		
	杉山　淳一	秋田　健大	佐々木　泰人	工藤　隆詩		
	菅原　拓也	秋田　昭仁	田代　昇司	山内　実		
	丁子谷　充	福岡　剛	木村　知貴	久保田　翔悟		
	中野　茂	桑原　彩乃				
放　送　員	石田　子聖	成田　忍	荒関　真希	坊山　菜々美		
	高橋　敦子	野上　真琴	斉藤　瑠佳	島脇　佳奈子		
	川部　小枝華	野里　藍香	伊藤　麻衣子	小松　千尋		

会場地別競技役員・競技補助員(青森市)

【A　ダイシンベースボールスタジアム(青森市営野球場)】

練習会場　大進建設スポーツ広場(青森市スポーツ広場)

(順不同・敬称略)

〔競技役員〕

会場長	金濵　文雄				
副会場長	石鉢　達雄	三浦　俊夫	市ノ渡　勝治		
審判長	花部　鶴松				
会場審判長	蛯名　正仁				
総務委員長	中津　耕太郎				
総務副委員長	小笠原　洋一				
総務委員	中津　朝子	木村　慧			
会場主任	白﨑　光則				
会場委員	三上　秋雄	木村　衛	安田　慶次	柳谷　修	
	蝦名　祐紀	佐藤　永正			
記録送受信主任	安田　奨				
記録送受信委員	佐藤　寿弥				
記録主任	三橋　春樹				
記録員	宇野　元雄				
電子スコア主任	石田　子聖				
電子スコア委員	成田　忍				
点示委員	安藤　裕介				
放送主任	斉藤　美紀子				
報道委員	千代谷　寿幸				
練習会場主任	鎌田　正憲				
練習会場委員	須藤　亮	増田　幸穂			
スコアボード委員	鈴木　陽	村上　大樹	鈴木　秀明		

〔競技補助員〕

青森市立浪打中学校	青森市立浦町中学校	青森市立筒井中学校
青森市立南中学校	青森市立戸山中学校	青森県立青森高等学校
青森県立青森工業高等学校	青森県立青森商業高等学校	青森県立青森中央高等学校
青森明の星高等学校	野内ヤンキースJBC	青森みちのく銀行野球部
HHKピース	アセプトール	エービッツ
Kings	青森愛球クラブ	青森県庁野球部
中川ボルテックス	百花繚乱	平内町スポーツ協会

会場地別競技役員・競技補助員(青森市)

【B　青森県営野球場】

練習会場　大進建設スポーツ広場(青森市スポーツ広場)

(順不同・敬称略)

〔競技役員〕

会場長	柿崎　泰明					
副会場長	川原田　勝正	櫻庭　利光	工藤　雅浩			
会場審判長	大室　広之					
総務副委員長	薬師神　竜広					
総務委員	蝦名　淳次	増田　幸穂				
会場主任	渡部　敏雄					
会場委員	渡邊　修司	三浦　利昭	久慈　一徳	八戸　広昭		
	三浦　純平	柏崎　寛	増田　幸穂	五十洲　博		
記録送受信主任	中村　俊					
記録送受信委員	榎本　直行	杉本　浩二				
記録主任	川島　久幸					
記録員	葛西　慶子	佐々木　賢吉	宇野　みなみ			
電子スコア委員	斎藤　瑠佳					
点示委員	東　卓博					
放送主任	工藤　真由美	松村　和子				
報道委員	高谷　達弘					
練習会場主任	増田　直也					
練習会場委員	木村　衛					
スコアボード委員	伊瀬谷　健太	岩谷　敬裕	八桁　真幸			

〔競技補助員〕

青森県立青森高等学校
青森県立青森西高等学校
青森県立青森北高等学校
青森県立青森中央高等学校
外ヶ浜JBC
青森北BLUE BAYS
BOOTHSIDE
Timmons
Jaguars
青森ZIEL
SPHERES
ZERO
青森ダイナソー

会場地別競技役員・競技補助員(三沢市)

【C　三沢市民運動広場野球場】

(順不同・敬称略)

〔競技役員〕

会場長	堤　喜一郎					
副会場長	元村　裕	浜中　亮徳				
会場審判長	山本　理					
総務副委員長	三橋　淳治					
総務委員	鈴木　孝	小比類巻 広光				
会場主任	松館　政義					
会場委員	蛯名　英則	甲地　和寿	広内　勉	附田　久志		
	石橋　功行	茂木　俊一	倉舘　広美	田名辺　伸一		
記録送受信委員	浅野　貢					
記録主任	神　章芳					
記録員	柴山　英夫	蛯名　小百合	神　章芳			
電子スコア委員	荒関　真希					
点示委員	蛯名　智士					
放送主任	家口　美幸					
報道委員	奥　幸作					
練習会場主任	山道　眞治					
練習会場委員	大坂　真治	田嶋　亨				
スコアボード委員	蛯名　小百合	原子　守				

〔競技補助員〕

青森県立三沢高等学校　硬式野球部
青森県立三沢商業高等学校　硬式野球部
亜羅無紗　　沖澤塗装工業ＢＢＣ　　附田ユニオン　　ブルースター
三沢石要フォーム　　ＪＡＳＤＦ　　ＹＡＮＹＹＳ

会場地別競技役員・競技補助員(六戸町)

【D　六戸町総合運動公園野球場】

(順不同・敬称略)

〔競技役員〕

会場長	折田	俊介					
副会場長	澤向	清美	萩原	信竹			
会場審判長	大久保	淳					
総務副委員長	竹ヶ原	直大					
総務委員	長畑	光紀	小原	武徳			
会場主任	高渕	幸浩					
会場委員	工藤	栄	目時	定雄	木村	一栄	木下　正彦
	滝内	秋則	幸田	直樹			
記録送受信委員	佐藤	百年					
記録主任	宇部	真視					
記録員	竹ケ原	仁	木野田	葵	宇部	真視	
電子スコア委員	小松	千尋					
点示委員	小笠原	辰樹					
放送主任	長南	千乃					
報道委員	杉本	有佑	平上	慎之介			
練習会場主任	中野	重弘					
練習会場委員	佐々木	隆興	杉本	有佑			
スコアボード委員	附田	慶哉	七戸	一樹			

〔競技補助員〕

青い森信用金庫
青森県立十和田工業高等学校　硬式野球部
青森県立三本木高等学校　硬式野球部
青森県立三本木農業恵拓高等学校　硬式野球部
青森県立七戸高等学校　硬式野球部

会場地別競技役員・競技補助員（おいらせ町）

【E　おいらせ町下田公園野球場】

（順不同・敬称略）

〔競技役員〕

会場長	澁谷	兼幸				
副会場長	北向	政美	中村	栄野進		
会場審判長	間山	浩樹				
総務委員	白石	邦夫	工藤	一弘		
会場主任	松島	正栄				
会場委員	古川	勝久	高橋	広明	酒井	正志	松橋	勇一
	中坂	光昭				
記録送受信委員	横向	大				
記録主任	嶋守	真紀				
記録員	田川	孝則				
電子スコア委員	嶋守	真紀	林	尚子		
点示委員	佐々木	吉昭				
放送主任	林	尚子				
報道委員	倉舘	広美				
練習会場主任	東出	実				
練習会場委員	近藤	雅喜				
スコアボード委員	一戸	正則	松林	光弘	中村	光雄	村崎	秀男

〔競技補助員〕

青森県立八戸西高等学校　硬式野球部
おいらせ町野球協会

会場地別競技役員・競技補助員(六ヶ所村)

【F　六ヶ所村大石総合運動公園第三球場】

(順不同・敬称略)

〔競技役員〕

会場長	岩谷　司					
副会場長	橋本　和夫	見崎　文武				
会場審判長	田中　圭二					
総務委員	橋本　邦夫	小川　司				
会場主任	原子　守					
会場委員	三戸　明	小泉　悦治	工藤　英行	葛西　正明		
	田村　賢勇	原田　成夫				
記録送受信委員	石井　聡					
記録主任	中村　英樹					
記録員	小杉　忠	中村　英樹	伊藤　麻衣子			
電子スコア委員	中村　英樹	野上　真琴				
点示委員	江渡　光夫					
放送主任	笹原　詩織					
報道委員	杉山　六男					
練習会場主任	毛利　嘉彦					
練習会場委員	工藤　勲					
スコアボード委員	大釜　定之	高橋　賢則				

〔競技補助員〕

六ヶ所村スポーツ協会

各開催地実施本部

〔競技会係員〕

青　森　市	青の煌めきあおもり国スポ・障スポ青森市実施本部職員
三　沢　市	三沢市実施本部係員
六　戸　町	六戸町実施本部係員
おいらせ町	おいらせ町実施本部係員
六ヶ所村	六ヶ所村実施本部係員

〔競技会補助員〕

青　森　市	青森市運営ボランティアの皆様
三　沢　市	三沢市運営ボランティア一同
六　戸　町	六戸町運営ボランティア一同
おいらせ町	おいらせ町運営ボランティア一同
六ヶ所村	六ヶ所村運営ボランティア一同

memo



青の煌(きら)めきあおもり国スポ

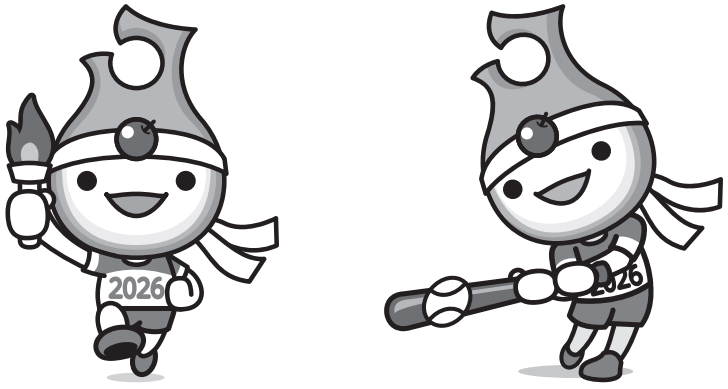
2026 翔けろ未来へ縄文の風に乗って

第80回国民スポーツ大会



軟式野球競技会

実施要項



翔けろ未来へ縄文の風に乗って
第80回国民スポーツ大会
青の煌(きら)めきあおもり国スポ2026

総　　則

開 催 の 趣 旨

国民スポーツ大会は、広く国民の間にスポーツを普及し、スポーツ精神を高揚して国民の健康増進と体力の向上を図り、併せて地方スポーツの推進と地方文化の発展に寄与するとともに、国民生活を明るく豊かにしようとする国内最大のスポーツの祭典である。

青森県で開催する第80回国民スポーツ大会「青の煌(きら)めきあおもり国スポ」は、「翔けろ未来へ縄文の風に乗って」をスローガンに掲げ、スポーツによる感動や交流の輪が広がるとともに、本県のあらゆる魅力を発信するなど、県民総参加による青森県らしさあふれる大会を目指して開催する。

実　施　方　針

1　実施競技

⑴　正式競技（37 競技）

陸上競技、水泳、サッカー、テニス、ローイング、ホッケー、バレーボール、体操、バスケットボール、レスリング、セーリング、ウエイトリフティング、ハンドボール、自転車、ソフトテニス、卓球、軟式野球、相撲、馬術、フェンシング、柔道、ソフトボール、バドミントン、弓道、ライフル射撃、剣道、ラグビーフットボール、スポーツクライミング、カヌー、アーチェリー、空手道、銃剣道、クレー射撃、なぎなた、ボウリング、ゴルフ、トライアスロン

⑵　公開競技（７競技）

綱引、ゲートボール、武術太極拳、パワーリフティング、グラウンド・ゴルフ、バウンドテニス、エアロビック

⑶　デモンストレーションスポーツ（39 競技）

いきいき太極拳、インディアカ、ウオーキング、ウォークビンゴ、エンジョイ！グラウンド・ゴルフ、オリエンテーリング、カーリング、空道、女子ソフトボール、スポーツウエルネス吹矢、スポーツチャンバラ、ソフトバレーボール、ターゲット・バードゴルフ、ダンススポーツ、ドッジボール、年齢別ソフトテニス、年齢別テニス、年齢別バドミントン、ノルディックウォーキング、パークゴルフ、パラグライディング、ビリヤード、ビーチサッカー、ファイン・ボール、フライングディスク、ふれあいゲートボール、ふれあいソフトボール、ふれあいボウリング、フロアボール、ペタンク、マスターズスイミング、マスターズ陸上競技、マラソン、マラソン＆ウォーキング、モルック、ユニカール、ユニバーサルホッケー、ラージボール卓球、Let’s Enjoy バウンドテニス

⑷　特別競技（１競技）

高等学校野球

2　会期及び会場地

⑴　正式競技・特別競技（11 市、11 町、2 村：計 24 市町村）

会　　期	会　場　地
2026年10月10日（土） ～10月20日（火） 〔11日間〕	青森市、弘前市、八戸市、黒石市、五所川原市、十和田市、三沢市、むつ市、つがる市、平川市、西目屋村、藤崎町、七戸町、六戸町、東北町、六ヶ所村、おいらせ町、五戸町、南部町、階上町、山梨県北杜市
2026年９月３日（木） ～９月13日（日） 〔11日間〕	青森市、弘前市、十和田市、三沢市、むつ市、平内町、西目屋村、野辺地町、六ヶ所村、宮城県利府町 ※　水泳、ローイング、ホッケー、バレーボール（ビーチバレーボール）、体操、セーリング、ハンドボール、相撲、ライフル射撃、カヌー（スラローム・ワイルドウォーター）、クレー射撃、ゴルフ、トライアスロン競技会は上記会場地で実施
2026年10月２日（金） ～10月９日（金） 〔８日間〕	青森市、弘前市、八戸市 ※　自転車（トラックレース）、アーチェリー、高等学校野球競技会は上記会場地で実施

⑵　公開競技（３市２町：計５市町）

会　　期	会　場　地
2026年８月８日（土） ～10月４日（日）	十和田市、三沢市、平川市、平内町、藤崎町

⑶　デモンストレーションスポーツ（７市、16 町、６村：計 29 市町村）

会　　期	会　場　地
2026年５月17日（日） ～10月４日（日）	青森市、弘前市、八戸市、十和田市、三沢市、むつ市、平川市、今別町、蓬田村、外ヶ浜町、鰺ヶ沢町、深浦町、藤崎町、大鰐町、田舎館村、板柳町、鶴田町、中泊町、横浜町、東北町、おいらせ町、大間町、東通村、風間浦村、佐井村、三戸町、田子町、階上町、新郷村

⑷　文化プログラム

文化プログラムの実施については、「文化プログラム実施基準」に基づき、2026 年１月１日から 2026 年 12 月 31 日までの期間で、原則として、県内市町村で開催する。

3　競技方法

各競技別実施要項に示す方法とし、正式競技は都道府県対抗で実施する。

4　ドーピング検査の実施

大会におけるアンチ・ドーピング活動（ドーピング検査及びアンチ・ドーピング教育活動）は、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構が定める「日本アンチ・ドーピング規程」及び別に定める「国民スポーツ大会アンチ・ドーピング活動に関するガイドライン」に基づき実施する。

なお、治療の目的で禁止物質・禁止方法を用いる必要がある場合は、事前に「治療使用特例」（TUE）の手続きを行うこと。

各都道府県の代表選手は、大会期間中は常に「国民スポーツ大会ドーピング検査同意書」を所持しなければならない。選手が 18 歳未満の場合、本人の署名及び親権者の署名がある同意書を所持すること。

５　参加資格、所属都道府県及び選手の年齢基準

選手及び監督の参加資格、所属都道府県及び選手の年齢基準は、次のとおりとする。

なお、参加資格については、「第 80 回国民スポーツ大会参加資格、所属都道府県及び年齢基準等の解釈・説明」を併せて確認すること。

【公益財団法人日本スポーツ協会ホームページ　https://www.japan-sports.or.jp/】

⑴　参加資格

ア　日本国籍を有する者であることとするが、選手及び監督のうち、次の者については、日本国籍を有しない者であっても、大会に参加することができる。

(ｱ)　「出入国管理及び難民認定法」に定める在留資格のうち「永住者」（「日本国との平和条約に基づき日本の国籍を離脱した者等の出入国管理に関する特例法」に定める「特別永住者」を含む。）

(ｲ)　少年種別年齢域に該当し、次の要件をいずれも満たす者

a　「学校教育法」第１条に規定する学校に在籍する学生又は生徒で、「８　参加申込方法」で定めた本戦参加申込締切時に１年以上在籍していること。

b　「出入国管理及び難民認定法」に定める在留資格のうち、「留学」、「家族滞在」又は「定住者」に該当していること。

(ｳ)　成年種別年齢域に該当し、次の要件をいずれも満たす者

a　少年種別年齢域にあった時点において前号(ｲ)に該当していた者であること。

b　「出入国管理及び難民認定法」に定める在留資格のうち、大会参加時から終了時まで「留学」に該当しないこと。

［注］　上記(ｳ)b について、大学及び専修学校等に在籍する成年種別の年齢域に該当する者は、「出入国管理及び難民認定法」に定める「留学」以外の在留資格を有する場合も「留学」と同等に扱う。

イ　選手及び監督は、所属都道府県の当該競技団体会長（代表者）とスポーツ協会会長（代表者）が代表として認め、選抜した者であること。

ウ　第 78 回又は第 79 回大会（都道府県大会及びブロック大会を含む）において選手又は監督として参加した者は、次の場合を除き、第 78 回又は第 79 回大会と異なる都道府県から参加することはできない。

(ｱ)　成年種別

a　「学校教育法」第１条に規定する学校を卒業した者

b　結婚又は離婚に係る者

［注］　a 及び b は当該要件発生後、初めて参加するものに限る。

c　ふるさと選手制度を活用する者（別記１「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」による。）

［注］　別記３「JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」の適用を受け、ふるさと選手として参加する者を含む。

d　東日本大震災に係る参加資格特例措置を活用する者（別記５「東日本大震災に係る選手及び監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」による。）

e　令和６年能登半島地震に係る参加資格特例措置を活用する者（別記６「令和６年能登

半島地震に係る選手及び監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」による。）

(ｲ)　少年種別

a　「学校教育法」第１条に規定する学校を卒業した者

b　結婚又は離婚に係る者

c　一家転住に係る者（別記２「『一家転住等』に伴う特例措置」による。）

［注］　aからcは当該要件発生後、初めて参加するものに限る。

d　JOCエリートアカデミーに在籍する者（別記３「JOCエリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」による。）

e　東日本大震災に係る参加資格特例措置を活用する者（別記５「東日本大震災に係る選手及び監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」による。）

f　令和６年能登半島地震に係る参加資格特別措置を活用する者（別記６「令和６年能登半島地震に係る選手及び監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」による。）

エ　選手と監督の兼任は、同一種別内に限る。

オ　選手及び監督は、回数を同じくする大会において、冬季大会及び本大会にそれぞれ１競技に限り参加できる。

カ　選手及び監督は、回数を同じくする大会において、異なる都道府県から参加することはできない。

キ　選手、監督並びに本部役員帯同のスポーツドクター及びアスレティックトレーナーは、大会参加前の１年以内に公益財団法人日本スポーツ協会（以下「日本スポーツ協会」という。）が指定するアンチ・ドーピング教育を受講し、「国スポ本戦出場前のアンチ・ドーピング教育履歴」に記載した者であること。

ク　上記のほか、選手については次のとおりとする。

(ｱ)　都道府県大会及びブロック大会に参加し、これを通過した者であること。

(ｲ)　健康診断を受け、競技会への参加に支障がない者であること。

(ｳ)　ドーピング検査対象に選定された場合は、検査を受けなければならない。

ケ　上記のほか、監督については日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度に基づく競技別指導者資格を有する者とし、監督が不在の場合選手は参加することができない。各競技における対象資格については当該競技実施要項によるものとする。

⑵　所属都道府県

所属都道府県は、当該競技団体が限定する場合を除き、次のいずれかが属する都道府県から選択することができる。

ア　成年種別

(ｱ)　居住地を示す現住所

(ｲ)　勤務地

(ｳ)　ふるさと（別記１「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」による。）

［注］　別記３「JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」の適用を受けふるさと選手として参加する者を含む。

イ　少年種別

(ｱ)　居住地を示す現住所

(ｲ)　「学校教育法」第１条に規定する学校の所在地（以下「学校所在地」という。）

(ｳ)　勤務地

(ｴ)　別記３「JOCエリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」に定める小学校の所在地

※　「居住地を示す現住所」、「勤務地」、「学校所在地」のいずれかから参加する場合は、2026年４月30日以前から本大会終了時（2026年10月20日）まで、引き続き当該地に、それぞれ居住、勤務、又は通学していなければならない。ただし、次の者はこの限りではない。

［成年種別］

a　別記４「トップアスリートの国民スポーツ大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者

b　別記５「東日本大震災に係る選手及び監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者

c　別記６「令和６年能登半島地震に係る選手及び監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者

［少年種別］

a　別記２「『一家転住等』に伴う特例措置」の適用を受ける者

b　別記４「トップアスリートの国民スポーツ大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者

c　別記５「東日本大震災に係る選手及び監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者

d　別記６「令和６年能登半島地震に係る選手及び監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者

⑶　選手の年齢基準

ア　選手の年齢基準については、下記を原則とする。

(ｱ)　成年種別に参加する者は、2008年４月１日以前に生まれた者とする。

(ｲ)　少年種別に参加する者は、2008年４月２日から2011年４月１日までに生まれた者とする。

(ｳ)　年齢を区分している種別へ参加する者の年齢計算は、2026年４月１日を基準とする。

イ　日本スポーツ協会が特に認める場合は、上記アにかかわらず、競技ごとに年齢区分を設定することができる。ただし、年齢の下限は中学３年生（2011年４月２日から2012年４月１日までに生まれた者）とする。

⑷　前記の各事項に疑義のあるときは、日本スポーツ協会及び当該競技団体が調査・審議の上、日本スポーツ協会がその可否を決定する

６　各正式競技の総合成績決定方法

各正式競技の総合成績決定方法は次のとおりとする。

⑴　次のア、イの得点を合計したものを男女総合成績（天皇杯得点）及び女子総合成績（皇后杯得点）とする。

ア　競技得点

競技得点は、各種別、種目などの第１位から第８位までの都道府県に与え、次のとおりとする。ただし、同順位の場合は、次の順位のものを加え、当該都道府県で等分し、割り切れない場合は、小数第３位以下を切り捨てる。

		１位	２位	３位	４位	５位	６位	７位	８位
種別	４人以下	24点	21点	18点	15点	12点	９点	６点	３点
	５人以上７人以下	40点	35点	30点	25点	20点	15点	10点	５点
	８人以上	64点	56点	48点	40点	32点	24点	16点	８点
種目	――――――	８点	７点	６点	５点	４点	３点	２点	１点

［注］　「種別」：種別などに与える競技得点　　「種目」：種目などに与える競技得点

イ　参加得点

参加得点は 10 点とし、大会（ブロック大会を含む。）に参加した都道府県に与える。

ただし、ブロック大会で本大会の出場権を獲得しながら、本大会に参加しなかった場合は与えない。

⑵　各競技の総合成績は、当該競技団体が決定する。

ただし、天候その他の事情により一部競技が中止になった場合は、当該競技団体と大会総務委員会が協議する。

⑶　参加資格違反等に関わる得点等の取り扱いについては、「国民スポーツ大会における違反に対する処分に関する規程」によるものとする。

7　表彰

⑴　冬季大会及び本大会で実施した全正式競技の男女総合成績第１位の都道府県に天皇杯を、同じく女子総合成績第１位の都道府県に皇后杯をそれぞれ授与する。

⑵　冬季大会及び本大会で実施した全正式競技の男女総合成績及び女子総合成績の第１位から第８位までの都道府県に、それぞれ表彰状を授与する。

⑶　各正式競技の男女総合成績第１位の都道府県に、国民スポーツ大会会長トロフィーを授与する。

⑷　各正式競技の男女総合成績及び女子総合成績の第１位から第８位までの都道府県に、それぞれ表彰状を授与する。

⑸　各競技の各種別及び各種目などの第１位から第８位までに賞状を授与する。団体競技の場合は、その都道府県名とチーム全員（監督を含む）の氏名を記載したものを都道府県用に１枚、さらにその都道府県名と個人名を記載したもの、又は都道府県名とチーム全員（監督を含む）の氏名を記載したものをチーム全員に授与する。

⑹　各正式競技及び特別競技の第１位から第３位までの選手にメダルを授与する。

8　参加申込方法

⑴　参加申込

都道府県スポーツ協会会長（代表者）及び競技団体会長（代表者）は、連署の上、都道府県大会又はブロック大会において選抜された者及び公益財団法人日本高等学校野球連盟が選出したチームを、大会会長宛てに申込むものとする。

⑵　参加申込締切

参加申込は、定められた締切日時までに国民スポーツ大会参加申込システムにより行う。

なお、各競技別実施要項の「参加申込方法」を併せて確認すること。

⑶　参加申込締切日時

締切日時	競　　技
2026 年 ８月 13 日（木） 午後５時 【15 競技】	水泳、ローイング、ホッケー、バレーボール（ビーチバレーボール）、体操、セーリング、ハンドボール、自転車、相撲、ライフル射撃、カヌー、クレー射撃、ボウリング、ゴルフ、トライアスロン

2026年 ９月３日（木） 午後５時 【24競技】	陸上競技、サッカー、テニス、バレーボール（６人制）、バスケットボール、レスリング、ウエイトリフティング、ソフトテニス、卓球、軟式野球、馬術、フェンシング、柔道、ソフトボール、バドミントン、弓道、剣道、ラグビーフットボール、スポーツクライミング、アーチェリー、空手道、銃剣道、なぎなた、高等学校野球

⑷　参加申込様式

参加申込様式は、日本スポーツ協会が実施競技団体と協議の上、作成する。

⑸　公開競技の参加申込

公開競技については、別途当該中央競技団体が定める所定の手続きにより行う。

⑹　選手の交代

参加申込締切後の選手の交代は、特別な事情がない限り認めない。特別な事情で選手を交代する場合は、所定の様式、方法により次のア～ウ宛てに届け出なければならない。

ア　全国を統轄する各中央競技団体事務局

イ　青の煌(きら)めきあおもり国スポ・障スポ実行委員会事務局

ウ　青の煌(きら)めきあおもり国スポ・障スポ各競技会場地市町村実行委員会事務局

なお、日本スポーツ協会に対しては、大会終了後、所定の手続きにより参加申込情報を修正すること。

９　棄権手続

参加申込締切後から競技初戦までの間において、特別な事情で選手が競技会を棄権する場合には、所定の棄権手続きをとらなければならない。

なお、棄権手続きに係る届出については選手交代届と同じ様式を用いること。

10　大会参加負担金

⑴　大会に参加選手団（視察員を除く）を派遣する都道府県スポーツ協会は、大会参加負担金を納入する。一人あたりの大会参加負担金の額は下記のとおりとする。

区　　分	負　担　金
少年の種別に参加する選手	３，０００円
上記以外の者（本部役員、監督、成年の種別に参加する選手等）	６，０００円

［注］　地震、風水害、感染症及びその他主催者の責によらない事由により大会を中止した場合、大会参加負担金の返金は行わない。

⑵　大会参加負担金は、都道府県スポーツ協会で取りまとめ、次のとおり納入する。

ア　納入期限　2026年９月４日（金）

イ　納 入 先　みずほ銀行　渋谷支店　普通預金口座　513729

公益財団法人日本スポーツ協会

11　宿泊申込

大会参加者は、青の煌(きら)めきあおもり国スポ・障スポ実行委員会が指定した所定の様式により、定められた締切日までに申込む。

12　都道府県選手団本部役員編成

⑴　都道府県選手団本部役員は、次のとおりとする。

ア　参加選手 500 名以上の場合は、団長、総監督及び総務ほか、計 20 名以内とする。

イ　参加選手 300 名以上 500 名未満の場合は、団長、総監督及び総務ほか、計 15 名以内とする。

ウ　参加選手 300 名未満の場合は、団長、総監督及び総務ほか、計 10 名以内とする。

⑵　上記役員のほか、５名以内の顧問を設けることができる。

⑶　上記⑴及び⑵による本部役員総数の範囲内で、スポーツドクターを帯同するものとする。

なお、帯同するスポーツドクターは日本スポーツ協会公認スポーツドクター資格を有する者とする。

⑷　上記⑴及び⑵による本部役員総数の範囲内で、原則としてアスレティックトレーナーを帯同するものとする。

なお、帯同するアスレティックトレーナーは日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー資格を有する者とする。

⑸　都道府県選手団本部役員の１日あたりの編成人数については、上記⑴及び⑵による人数を上限とする。

⑹　都道府県選手団本部役員の参加申込は、2026 年９月３日（木）午後５時までに国民スポーツ大会参加申込システムにより行う。

13　視察員

⑴　視察員は、１都道府県３名以内とする。ただし、2027 年以降の国民スポーツ大会の開催が決定又は内定している県については、宮崎県 100 名以内、長野県及び群馬県 60 名以内、島根県及び奈良県 40 名以内とする。

⑵　都道府県の視察員の参加申込は、2026 年９月３日（木）午後５時までに国民スポーツ大会参加申込システムにより行う。

14　参加章及びＡＤカードの交付

参加章及びＡＤカードは、次の者に交付する。

⑴　参加章

ア　都道府県選手団の本部役員、監督及び選手

イ　大会役員、競技会役員及び競技団体が指定した競技役員

ウ　公開競技及びデモンストレーションスポーツ参加者

⑵　ＡＤカード（Accreditation　Card）

ア　都道府県選手団

イ　大会役員、競技会役員及び競技団体が指定した競技役員

ウ　大会主催者及び競技会主催者が認めた者

エ　公開競技に参加する選手、監督及び役員

15　参加上の注意

⑴　大会期間中は、交付された AD カードを携帯しなければならない。

⑵　各都道府県の代表選手は、競技に際し、「国民スポーツ大会ユニフォーム規程」に基づき、ユニフォームを着用しなければならない。

16　個人情報及び肖像権に関わる取り扱い

日本スポーツ協会、青の煌めきあおもり国スポ・障スポ実行委員会、青の煌めきあおもり国スポ・障スポ各競技会場地市町村実行委員会及び国民スポーツ大会実施競技中央競技団体（以下「国スポ関係機関・団体」という。）は、参加申込等を通じて取得する個人情報及び肖像権の取り扱いに関して以下のとおり対応するものとする。

⑴　個人情報の取り扱い

ア　利用目的

大会参加申込として国民スポーツ大会参加申込システムへ登録された個人情報は、国スポ関係機関・団体において、参加資格の確認や競技組合せなどをはじめとする大会運営業務のために利用し、目的以外に利用しない。

イ　公表の範囲と方法

個人情報のうち、所属都道府県、氏名、性別、年齢、学校名、チーム名等、所属と個人を識別するために必要な情報については、以下の方法等により公表することがある。

(ｱ)　総合プログラム及び競技別プログラムへの掲載
(ｲ)　競技会場内におけるアナウンス等による紹介
(ｳ)　競技会場内外の掲示板等への掲載
(ｴ)　大会関連ホームページへの掲載
(ｵ)　報道機関への提供

ウ　競技結果（記録）等

競技結果（記録）については、上記イで定めた個人情報とともに、以下の方法等により公表することがある。

(ｱ)　青の煌めきあおもり国スポ・障スポ実行委員会が設置する記録本部を通じた公開
(ｲ)　国スポ関係機関・団体及び報道機関等による新聞・雑誌及び関連ホームページ等への掲載
(ｳ)　国スポ関係機関・団体が作成する大会報告書等への掲載
(ｴ)　次回以降の大会プログラムへの掲載【新記録、優勝及び上位入賞結果（記録）等】

⑵　肖像権に関する取り扱い

ア　写真

国スポ関係機関・団体又はこれらに認められた報道機関等によって撮影された写真が、新聞・雑誌・報告書及び関連ホームページ等で公開されることがある。

イ　写真（写真撮影企業等）

国スポ関係機関・団体に認められた写真撮影企業等によって撮影された写真等が販売されることがある。

なお、各競技・会場における販売の有無等の詳細は、当該中央競技団体を中心に対応する。

ウ　映像

国スポ関係機関・団体又はこれらに認められた報道機関等によって撮影された映像が、中継・録画放映及びインターネットによって配信されることがある。また、DVD 等に編集され、販売・配付されることがある。

⑶　対応

ア　承諾の確認

大会参加申込として国民スポーツ大会参加申込システムへ登録された時点で、上記取り扱いに関する承諾を得たものとして対応する。

なお、各競技会における取り扱いに伴い、別途、当該中央競技団体等によって個別に承諾

を確認することがある。

イ　役員等

大会役員、競技役員、運営役員、その他各種委員や補助員、国スポ関係機関・団体と大会に関する契約をしている者及び大会運営関係者については、上記取り扱いに関する承諾を得たものとして対応する。

17　都道府県大会及びブロック大会

正式競技については、本大会の予選として次のとおり都道府県大会（ブロック大会）を開催しなければならない。

⑴　都道府県の主催団体は、必要に応じて日本スポーツ協会及び中央競技団体等関係団体と協議の上、本要項に基づき実施要項を作成する。

なお、日本スポーツ協会及び中央競技団体は、その内容に不備がある場合、適宜指導を行うものとする。

⑵　都道府県大会の実施にあたり、当該都道府県主催団体は、適正な手続きに則り決定した代表選手の選抜方法・選考基準について、予め関係者に周知徹底を図るものとする。

⑶　参加者は、実施要項に基づき当該主催団体に申込む。

なお、参加は、回数を同じくする大会において、冬季大会及び本大会にそれぞれ１競技に限り参加できる。

⑷　ブロック大会の申込みは、原則として国民スポーツ大会参加申込システムにより行い、様式は日本スポーツ協会及び当該主催団体が協議の上、作成する。

なお、参加申込システムを使用しない場合の様式については、当該主催団体において別途作成する。

⑸　都道府県大会の参加申込様式は、当該主催団体において作成する。

⑹　参加料を徴収する場合の金額は、当該主催団体が中央競技団体と協議の上、定める。

⑺　競技運営に差し支えない限り、青森県選手は当該競技ブロック大会を経ることなく本大会に参加することができる。

18　国民スポーツ大会参加者傷害補償制度

日本スポーツ協会及び都道府県スポーツ協会は、国民スポーツ大会参加者に対する社会的責任体制を整えるとともに、大会参加者の相互扶助の精神に基づいた補償制度として大会参加者による国民スポーツ大会参加者傷害補償制度を運営する。

⑴　本制度の対象となる参加者は、ブロック大会及び本大会に参加する本制度給付規定に定められた選手、監督、選手団本部役員（顧問を含む）、視察員並びにその他選手団役員とする。

⑵　大会参加の都道府県スポーツ協会は、国民スポーツ大会参加者傷害補償制度の対象となる参加者数に応じた制度負担金（一人あたり 1,000 円）を、日本スポーツ協会に納入する。

⑶　納入締切日及び納入先については、別途日本スポーツ協会から都道府県スポーツ協会へ通知する。

19　青の煌(きら)めきあおもり国スポの実施目標

⑴　スポーツによる感動の創出と地域へのスポーツの定着

スポーツを「する」「みる」「ささえる」など多様な場面で、感動が創出されることにより、県民の誰もがスポーツに関わる楽しさを感じることができる環境が整備されるとともに、県内各地で地域住民がスポーツに取り組む習慣が身につき、スポーツが地域に定着する大会とする。

⑵　自発的、積極的な県民参加による地域の活性化

県民一人ひとりが、開催準備に自発的、積極的に参加するとともに、スポーツを通した健康づくりなどに一丸となって取り組むことにより、全ての県民が心身ともに健康な状態で大会を迎え、その後も各地域が元気で活力に満ちた姿となる大会とする。

⑶　来県者への熱い心でのおもてなしとあらゆる魅力の発信

大会に参加する選手・監督・役員・応援者など数多くの来県者を熱いおもてなしの心で迎えるとともに、大会期間を通して本県のあらゆる魅力を体感していただくことにより、再び本県を訪問したいという気持ちを喚起する大会とする。

⑷　北国ならではの大会運営

北国ならではの気象条件を考慮し、総合開・閉会式を屋内開催とするとともに、競技特性も考慮の上、会期前競技を多く設定することなどにより選手ファーストを意識した大会とする。

20　その他

⑴　参加申込及び宿泊申込が、定められた締切日までに行われない場合、又は、参加負担金が定められた納入期限までに納入されない場合は、本大会への参加を認めない。

⑵　大会運営にあたり、選手・観客・大会関係者への安全を最優先に配慮し、気象状況・感染状況・交通状況・テロ行為等の各種災害に伴い、安全確保が見込めないと主催者が判断した場合は、主催者の指示に従うものとする。また、安全確保のために、参加申込システムに登録された以外の個人情報を取得する場合がある。取得した情報については、目的以外に利用しない。

⑶　その他の事項については、国民スポーツ大会開催基準要項及び同細則による。

別記１　「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」

１　成年種別年齢域の選手は、国民スポーツ大会開催基準要項細則第３項〔国民スポーツ大会開催基準要項第８項第１号及び第 10 項第４号（参加資格及び年齢基準等）〕に基づき、下記のいずれかを拠点とした都道府県から参加することができる。

⑴　居住地を示す現住所

⑵　勤務地

⑶　ふるさと

２　「ふるさと」とは、卒業小学校、卒業中学校又は卒業高等学校のいずれかの所在地が属する都道府県とする。

ただし、JOC エリートアカデミーに係る選手については、別に定める「JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」第３項により取り扱うものとする。

３　我が国の競技力向上を支援する観点より、日本国籍を有する者及び「永住者」については、日本における滞在期間に関わらず、本制度を活用できるものとする。ただし、「日本国籍を有する者及び『永住者』」に該当しない者であっても、当該大会年の４月 30 日（冬季大会は前年の４月 30 日）以前から本大会終了時（冬季大会は各競技会終了時）まで継続的に日本に滞在している場合は、本制度を活用できるものとする。なお、やむを得ない事情により、一時的に日本を離れる場合は、総日数の半数を超えて日本で滞在していること。

４　「ふるさと選手制度」を活用し参加を希望する選手は、予め所定の方法により「ふるさと」を登録しなければならない。なお、一度登録した「ふるさと」は変更できないものとする。

５　「ふるさと」から参加する選手は、国民スポーツ大会開催基準要項細則第３項－⑴－1）－③（国内移動選手の制限）に抵触しないものとする。

６　ふるさと選手制度の活用については、原則として、１回につき２年以上連続とし、利用できる回数は２回までとする。

７　参加都道府県は「ふるさと選手」を所定の様式、方法により、当該大会実施要項で定めた参加申込締切期日までに、日本スポーツ協会宛てに提出する。

別記２　「『一家転住等』に伴う特例措置」

転校への特例

１　次の内容をすべて満たすことにより、国内移動選手の制限（国民スポーツ大会開催基準要項細則第３項ー⑴ー1）ー③）に抵触しないものとする。

⑴　この特例の対象は、「少年種別」への参加者に限る。

⑵　本特例を受けることができるのは、一家転住等やむを得ない理由に限ることとする。
なお「一家転住等」とは概ね次のことを言う。

ア　親の転勤による一家の転居

イ　親の結婚、離婚による一家の転居

ウ　上記以外に、やむを得ない理由による一家の転居

⑶　転居した時点に応じて、以下の手続きを終了していること。

ア　本特例を受けようとする参加者は、下記２⑴の場合は転居元、下記２⑵の場合は転居先が属する都道府県スポーツ協会及び都道府県競技団体に対し、その旨報告すること。

イ　報告を受けた都道府県スポーツ協会及び都道府県競技団体は、下記２⑴の場合は転居先、下記２⑵の場合は転居元が属する都道府県スポーツ協会及び都道府県競技団体に対し、その旨報告し了承を得ること。

２　本特例を受ける当該大会において、参加することができる都道府県は以下のとおりとする。

⑴　転居した時点において、以下に該当する場合は転居元が属する都道府県から参加することができる。

ア　転居先が属する都道府県の代表が既に決定している場合

イ　当該参加者が、転居元が属する都道府県の代表として既に決定している場合

ウ　当該参加者が、転居元が属する都道府県の代表選考過程にある場合

⑵　転居した時点において、以下に該当する場合は転居先が属する都道府県から参加することができる。

ア　転居元が属する都道府県において、当該大会における都道府県代表の選考が開始されていない場合

別記３　「JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」

公益財団法人日本オリンピック委員会が実施する「JOC エリートアカデミー」に係る選手のうち、下記１に該当する者については、国民スポーツ大会開催基準要項細則第３項〔国民スポーツ大会開催基準要項第８項第１号及び第 10 項第４号（参加資格及び年齢基準等）〕及び別記１「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」に関し、次の２～４の特例を適用する。

１　対象者

⑴　少年種別年齢域の選手で JOC エリートアカデミーに在籍する者

⑵　成年種別年齢域の選手で JOC エリートアカデミーを修了した者、又は同アカデミーに在籍する者

２　少年種別年齢域の選手の所属都道府県

本特例第１項ー⑴に定める少年種別年齢域の選手は、その所属都道府県について、国民スポーツ大会開催基準要項細則第３項ー⑴ー2）- ②に定める「居住地を示す現住所」、「学校教育法第１条に規定する学校の所在地」、「勤務地」のほか、卒業小学校の所在地が属する都道府県を選択することができる。

なお、同アカデミーへの入校時において小学生であった場合には、入校する直前まで通学していた小学校の所在地が属する都道府県を選択することができる。

３　成年種別年齢域の選手の「ふるさと」

本特例第１項ー⑵に定める成年種別年齢域の選手は、「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」第２項に定める卒業小学校、卒業中学校又は卒業高等学校のいずれかの所在地が属する都道府県のほか、同アカデミーでの入校時において小学生であった場合には、入校する直前まで通学していた小学校の所在地が属する都道府県を「ふるさと」とすることができる。

４　国内移動選手の制限に係る例外適用

本特例第１項ー⑴に定める少年種別年齢域の選手が前回の大会（都道府県大会を含む）と異なる都道府県から参加する場合、国民スポーツ大会開催基準要項細則第３項ー⑴ー1）ー③（国内移動選手の制限）に抵触しないものとする。

［注］　本特例第１項ー⑵に定める成年種別年齢域の選手については、国民スポーツ大会開催基準要項細則第３項ー⑴ー1）ー③（国内移動選手の制限）の規定に従い取り扱うものとする。

５　その他

中央競技団体が国際競技力向上施策として独自に実施するアカデミー事業については、当該中央競技団体からの申請を踏まえ、当該事業の内容が JOC エリートアカデミーに準拠し実施されていることが、公益財団法人日本オリンピック委員会により確認された場合に限り、国民スポーツ大会委員会の決議を経て当該事業を本特例の対象に加えることができる。

別記４　「トップアスリートの国民スポーツ大会参加資格の特例措置」

我が国の競技力向上を支援する観点より、一定の競技力を有する選手に対して、「トップアスリートの国民スポーツ大会参加資格の特例措置（以下「本特例」という。）」を下記のとおり定める。

１　特例の対象となる選手

本特例の対象となる選手は、下記の条件のいずれかを満たす者とする。

⑴　第 33 回オリンピック競技大会（2024 年・パリ）に参加した者。

⑵　2026 年４月 30 日時点で、下記のいずれかに該当し、各中央競技団体が本特例の対象として認めた者

ア　JOC オリンピック強化指定選手

イ　各競技（種目）における国内ランキング上位 10 位以内の者

ウ　中央競技団体が定めた強化指定選手

※　強化指定ランクについては、各競技における全日本選手権大会入賞レベル以上のカテゴリーを対象とする。

２　特例の内容

⑴　予選会の免除

本特例の対象となる選手については、都道府県予選会及びブロック大会を経ずに国民スポーツ大会本大会に参加することができるものとする。ただし、ブロック大会実施競技種目・種別においては、当該都道府県代表選手又はチームがブロック大会に参加し、本大会参加枠を獲得している場合とする。

⑵　資格要件（日数要件の緩和）

本特例の対象となる選手が所属都道府県として「居住地を示す現住所」又は「勤務地」を選択する場合は、日数に関する要件を定めないこととし、以下のとおりとする。

ア　居住地を示す現住所

次の要件をいずれも満たすものとする。

(ｱ)　2026 年４月 30 日以前から大会終了時（2026 年 10 月 20 日）まで引き続き、住民票記載の住所に存する都道府県において生活している実態があり、当該都道府県以外（海外を含む）において生活している実態がないこと。

なお、生活の実態については、下記要件により判断する。

ａ　自ら所有する住居、又は自らの名義で住居を賃借していること

ｂ　当該住居に生計を一にする家族と共に住んでいること

ｃ　当該住居の水道光熱費など費用を自ら負担していること

ｄ　当該住居に主要な家財道具が存すること

(ｲ)　合宿、試合等により当該都道府県外で活動を行う場合、当該都道府県を移動の起点としていること。

イ　勤務地

次の要件をいずれも満たすものとする。

(ｱ)　2026 年４月 30 日以前から大会終了時（2026 年 10 月 20 日）まで引き続き、雇用主と雇用契約を締結した上で、当該都道府県内に存する雇用主の会社や事業所等に現実に通勤し、勤務していること。

(ｲ)　当該都道府県内で、競技普及活動等の事業に参加すること。

３　国内移動選手の制限

本特例の対象となる選手の国内移動選手の制限については、国民スポーツ大会開催基準要項細則第３項－⑴－1）－③のとおりとする。

別記５　「東日本大震災に係る選手及び監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」

１　特例の対象となる被災地域都道府県

震災による被害状況及び影響等を総合的に勘案し、青森県、岩手県、宮城県、福島県、茨城県、千葉県の６県を本特例の適用対象となる被災地域都道府県（以下「特例対象県」という。）とする。

なお、特例対象県以外の都道府県において対応が必要となった場合は、個別に取り扱うこととする。

２　特例の内容

⑴　特例対象県を所属都道府県とする場合の要件緩和

以下の選手及び監督については、「居住地を示す現住所」、「学校所在地」又は「勤務地」の各要件を満たしていなくとも、当該特例対象県から参加することができる。

【特例の対象者】

被災地域からの避難等、災害の影響によるやむを得ない事情によって、当該特例対象県における「居住地を示す現住所」、「学校所在地」又は「勤務地」の各要件を満たすことができなくなった者。

ただし、以下の事項のいずれにも該当していること。

ア　2011 年３月 11 日（震災発生時）時点において、当該特例対象県内に居住又は勤務していた者。若しくは当該特例対象県内の「学校教育法」第１条に規定する学校に在籍していた者であること。

イ　災害が発生しなかったと仮定した場合、2026 年４月 30 日以前から大会終了時（2026 年 10 月 20 日）まで継続して当該特例対象県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」又は「勤務地」とする要件を満たしていたと合理的に推測される者であること。

⑵　避難等による移動先の都道府県を所属都道府県とする場合の要件緩和

ア　被災地域からの避難等により、当該特例対象県と異なる都道府県に移動した以下の選手及び監督については、移動先の都道府県から参加することができる。

なお、この場合、第 78 回又は第 79 回大会に当該特例対象県から参加していても、国民スポーツ大会開催基準要項細則第３項－⑴－1）－③（国内移動選手の制限）には抵触しないものとする。

【特例の対象者】

被災地域からの避難等、災害の影響によるやむを得ない事情によって、当該特例対象県から移動せざるを得なかった者。

ただし、以下の事項のいずれにも該当していること。

(ｱ)　2011 年３月 11 日時点において、当該特例対象県内に居住又は勤務していた者。若しくは当該特例対象県内の「学校教育法」第１条に規定する学校に在籍していた者であること。

(ｲ)　移動先の都道府県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」又は「勤務地」とする要件を満たしていること。

なお、移動が生じた時期が 2026 年４月 30 日以降の場合は、移動先の都道府県の予選会開始までに要件を満たしていることとする。

［注］　「居住地を示す現住所」及び「学校所在地」として参加を希望する者については、当該自治体への住所に関する届出又は学籍に係る要件を満たしていなくとも、それに準ずる公的な証明書類を提出でき、かつ移動先の都道府県に居住あるいは通学している実態を有していると日本スポーツ協会が認めた場合、移動先の都道府県から出場す

ることができる。

イ　本項アを適用して避難等による移動先の都道府県から第79回大会又は第80回大会に参加した者が、第81回大会において、以下のような震災にかかる理由により再度都道府県を移動して参加する場合は、国民スポーツ大会開催基準要項細則第３項－⑴－1）－③（国内移動選手の制限）には抵触しないものとする。

＜例＞　○　避難先を離れ、当該特例対象県に戻る場合

○　避難先を離れ、他の都道府県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」又は「勤務地」とする場合

○　他の都道府県に避難先を移す場合

⑶　避難等による移動先の属する都道府県において学校を卒業した場合の「ふるさと」選択要件の緩和

避難等による移動先の属する都道府県において小学校、中学校又は高等学校を卒業した者が、成年種別年齢域に達した際、「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」を活用して参加する場合、以下のいずれかを「ふるさと」として登録することができる。

ア　卒業小学校、卒業中学校又は卒業高等学校の所在地

イ　災害の発生した時点で在籍していた小学校、中学校又は高等学校の所在地

なお、本特例を適用して上記イの学校所在地を「ふるさと」として登録した場合についても、卒業小学校、卒業中学校又は卒業高等学校の所在地を「ふるさと」とする場合と同様、一度登録した「ふるさと」は変更できない。

【特例の対象者】

2011年度から2012年度（小学校は2015年度）までに、避難等による移動先の属する都道府県において小学校、中学校又は高等学校を卒業した者。

別記６　「令和６年能登半島地震に係る選手及び監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」

１　特例の対象となる被災地域都道府県

震災による被害状況及び影響等を総合的に勘案し、新潟県、富山県、石川県、福井県の４県を本特例の適用対象となる被災地域都道府県（以下「特例対象県」という。）とする。

なお、特例対象県以外の都道府県において対応が必要となった場合は、個別に取り扱うこととする。

２　特例の内容

⑴　特例対象県を所属都道府県とする場合の要件緩和

以下の選手及び監督については、「居住地を示す現住所」、「学校所在地」又は「勤務地」の各要件を満たしていなくとも、当該特例対象県から参加することができる。

【特例の対象者】

被災地域からの避難等、災害の影響によるやむを得ない事情によって、当該特例対象県における「居住地を示す現住所」、「学校所在地」又は「勤務地」の各要件を満たすことができなくなった者。

ただし、以下の事項のいずれにも該当していること。

ア　2024 年１月１日（震災発生時）時点において、当該特例対象県内に居住又は勤務していた者。若しくは当該特例対象県内の「学校教育法」第１条に規定する学校に在籍していた者であること。

イ　災害が発生しなかったと仮定した場合、2026 年４月 30 日以前から当該大会終了時（2026 年 10 月 20 日）まで継続して当該特例対象県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」又は「勤務地」とする要件を満たしていたと合理的に推測される者であること。

⑵　避難等による移動先の都道府県を所属都道府県とする場合の要件緩和

ア　被災地域からの避難等により、当該特例対象県と異なる都道府県に移動した以下の選手及び監督については、移動先の都道府県から参加することができる。

なお、この場合、第 78 回大会又は第 79 回大会に、当該特例対象県から参加していても、国民スポーツ大会開催基準要項細則第３項－⑴－1）－③（国内移動選手の制限）には抵触しないものとする。

【特例の対象者】

被災地域からの避難等、災害の影響によるやむを得ない事情によって、当該特例対象県から移動せざるを得なかった者。

ただし、以下の事項のいずれにも該当していること。

(ｱ)　2024 年１月１日時点において、当該特例対象県内に居住又は勤務していた者。若しくは当該特例対象県内の「学校教育法」第１条に規定する学校に在籍していた者であること。

(ｲ)　移動先の都道府県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」又は「勤務地」とする要件を満たしていること。

なお、移動が生じた時期が 2026 年４月 30 日以降の場合は、移動先の都道府県の予選会開始までに要件を満たしていることとする。

［注］　「居住地を示す現住所」及び「学校所在地」として参加を希望する者については、当該自治体への住所に関する届出又は学籍に係る要件を満たしていなくとも、それに準ずる公的な証明書類を提出でき、かつ移動先の都道府県に居住あるいは通学してい

る実態を有していると日本スポーツ協会が認めた場合、移動先の都道府県から出場することができる。

イ　本項アを適用して避難等による移動先の都道府県から第79回大会又は第80回大会に参加した者が、第81回大会において、以下のような震災に係る理由により再度都道府県を移動して参加する場合は、国民スポーツ大会開催基準要項細則第３項ー⑴ー1）ー③（国内移動選手の制限）には抵触しないものとする。

＜例＞　○　避難先を離れ、当該特例対象県に戻る場合

○　避難先を離れ、他の都道府県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」又は「勤務地」とする場合

○　他の都道府県に避難先を移す場合

⑶　避難等による移動先の属する都道府県において学校を卒業した場合の「ふるさと」選択要件の緩和

避難等による移動先の属する都道府県において小学校、中学校又は高等学校を卒業した者が、成年種別年齢域に達した際、「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」を活用して参加する場合、以下のいずれかを「ふるさと」として登録することができる。

ア　卒業小学校、卒業中学校又は卒業高等学校の所在地

イ　災害の発生した時点で在籍していた小学校、中学校又は高等学校の所在地

なお、本特例を適用して上記イの学校所在地を「ふるさと」として登録した場合についても、卒業小学校、卒業中学校又は卒業高等学校の所在地を「ふるさと」とする場合と同様、一度登録した「ふるさと」は変更できない。

【特例の対象者】

2024年度から2025年度（小学校は2028年度）までに、避難等による移動先の属する都道府県において小学校、中学校又は高等学校を卒業した者。

軟式野球競技実施要項

１　期　　日　　2026 年 10 月 11 日（日）から 10 月 14 日（水）まで（４日間）

種　　別	10 月 11 日（日）	10 月 12 日（月）	10 月 13 日（火）	10 月 14 日（水）
成年男子	１　回　戦	２　回　戦 準々決勝	準　決　勝 ５～８位決定戦	決　　勝 ３・４位決定戦

２　会　　場

青　森　市	Ａ	ダイシンベースボールスタジアム（青森市営野球場）
	Ｂ	青森県営野球場
三　沢　市	Ｃ	三沢市民運動広場野球場
六　戸　町	Ｄ	六戸町総合運動公園野球場
おいらせ町	Ｅ	おいらせ町下田公園野球場
六ヶ所村	Ｆ	六ヶ所村大石総合運動公園第三球場

３　種別及び参加人員

種　　別	監　　督	選　　手	参加都道府県	小　計（人）
成年男子	1	15	32	512

※成年選手は監督を兼任することができる。

４　競技上の規程及び方法

⑴　競技規則は、2026 年度公認野球規則及び別に定める特別規則を適用する。
　なお、大会規程は、公益財団法人全日本軟式野球連盟規程細則による。
　また、規程違反等については、国民スポーツ大会における違反に対する処分に関する規程を準用し記録及び成績の取扱いを行う。

⑵　使用球は、公益財団法人全日本軟式野球連盟公認球Ｍ号を使用する。

⑶　ユニフォームの胸には、都道府県名(チーム、都市名は認めない)を必ず付けること。
　それ以外の表示は認めない。

⑷　打者、走者、次打者及びベースコーチは、競技者必携に記載のヘルメットを着用しなければならない。

⑸　捕手は、公益財団法人全日本軟式野球連盟公認のマスク、レガーズ、ヘルメット、プロテクター及びファウルカップを着用すること。

⑹　得点差によるコールドゲーム（７回以降７点差）を採用する。
　なお、順位決定戦（７回戦）ではコールドゲームは採用しない。

⑺　９回を完了して同点の場合は、健康維持を考慮し、次の方法により勝敗を決定する。
試合開始後３時間を経過するまで延長イニングを行う。３時間経過後も同点の場合は、タイブレーク方式により勝敗を決する。
　なお、決勝戦以外の順位決定戦は７回戦であるため、７回を完了して同点の場合は、健康維持を考慮し、タイブレーク方式により勝敗を決する。

⑻　指名打者制度を使用することができる。

５　予選方法

⑴　都道府県大会

公益財団法人全日本軟式野球連盟各都道府県支部ごとに細目を定めて実施する。

⑵　ブロック大会

ア　公益財団法人全日本軟式野球連盟の各ブロック支部連合会が細目を定めて実施する。

イ　ブロック大会区分及び選出チーム数は、次表のとおりとする。

ブロック名	都　道　府　県　名	成年男子
北海道	北海道	1
東　北	岩手、宮城、秋田、山形、福島	3
関　東	茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨	5
北信越	新潟、長野、富山、石川、福井	4
東　海	静岡、愛知、三重、岐阜	3
近　畿	滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山	4
中　国	鳥取、島根、岡山、広島、山口	3
四　国	香川、徳島、愛媛、高知	2
九　州	福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄	6
開催県	青森	1
計		32

ウ　各都道府県支部は、ブロック大会参加申込時に16名の選手(監督含む)登録の他に予備登録選手として９名まで登録することができる。

なお、ブロック大会申込以降に選手の追加又は登録選手との変更はできない。

また、本大会参加申込の際は、ブロック大会時に申込みを行った予備登録選手を含む25名の枠から16名(選手・監督含)を申込むことができる。

６　参加資格、所属都道府県及び選手の年齢基準

総則５に定めるもののほか、次による。

⑴　公益財団法人全日本軟式野球連盟に登録されたチームであること。

⑵　公益財団法人全日本軟式野球連盟に登録されていないチームは、公益財団法人日本スポーツ協会及び公益財団法人全日本軟式野球連盟の定めたスポーツ憲章並びに公益財団法人全日本軟式野球連盟で取り決めた事項の遵守を承諾したチームであること。

⑶　未登録チームについては、参加料のほかに参加申込書並びに所定の承諾書を各都道府県第１次予選会主催者に提出することによって仮登録とみなす。

⑷　連盟の登録に関係なく、選抜チームを編成することができる。ただし、選抜チーム以外に参加希望チームがある場合は予選会を行わなければならない。

⑸　予選会を行って参加チームによる選抜編成は差支えない。この場合、代表権を得たチームの意見を尊重する。

⑹　「ふるさと選手制度」で参加する者は、総則５の別記１に該当する者とし、登録及び出場する都道府県支部長に報告すること。

⑺　選手は、2008年４月１日までに生まれた者とする。

なお、特例として、2008年４月２日以降に生まれた者でも参加することができる。

ただし、生徒は除く。なお、監督は選手として登録した場合、出場することができる。

⑻　本大会に参加する監督は、公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度に基づく、公認軟式野球コーチ１、公認軟式野球コーチ２、又は公認軟式野球コーチ３、公認軟式野球コーチ４の有資格者であること。

７　総合成績決定方法

総合成績（天皇杯得点）は、競技得点と参加得点の合計とし、その得点の多い都道府県順に順位を決定する。

⑴　競技得点

天皇杯対象種別	競　　技　　得　　点
成　年　男　子	１位64点、２位56点、３位48点、４位40点、５位32点、６位24点、７位16点、８位８点の競技得点を与える。 ただし、同順位の場合は、その順位を共有し、次の順位を欠位とする。なお、得点については、次の順位のものを加え、当該都道府県で等分する。

⑵　参加得点

大会（ブロック大会を含む）に参加した都道府県に 10 点を与える。

ただし、ブロック大会で本大会の出場権を獲得しながら、本大会に参加しなかった場合は与えない。

８　表　　彰

⑴　総合成績第１位から第８位までの都道府県に、表彰状を授与する。

⑵　総合成績第１位の都道府県に、大会会長トロフィーを授与する。

⑶　総合成績第１位から第８位までの都道府県とチーム全員（監督を含む）に、賞状を授与する。

９　参加申込方法

⑴　所定の Web ページ（国民スポーツ大会参加申込システム）へアクセスし、必要項目を入力の上、所属都道府県スポーツ協会を通じて、2026 年９月３日（木）午後５時までに申込手続を完了すること。

⑵　締切期限以降は所定の Web ページ（国民スポーツ大会参加申込システム）へアクセスできなくなるので、締切期限を厳守すること。

⑶　参加申込後の選手・監督の変更は、疾病・傷害の場合並びに特別な事由がある場合は、資格審査の上、予備登録選手内での変更を認める。

なお、選手・監督を変更する場合は証明する書類を添付し、参加選手交代（変更）届を監督会議の３日前（10 月 7 日（水）午後５時）までに下記のア・イ・ウへ提出すること。

本国スポ大会の監督会議３日前を過ぎてから、特別な理由により監督が不在の場合には、資格審査の上、監督の変更を認めることもある。

ただし、監督の変更が生じる場合には、公認軟式野球コーチ１、公認軟式野球コーチ２、又は公認軟式野球コーチ３、公認軟式野球コーチ４の有資格者とする。

提 出 先

ア　〒151-0051　東京都渋谷区千駄ヶ谷四丁目 27 番７号
公益財団法人全日本軟式野球連盟
TEL 03-3404-8831　FAX 03-3479-2523
E-mail　zennanren@jsbb.or.jp

イ　〒030-8570　青森県青森市長島一丁目１番１号
青の煌めきあおもり国スポ・障スポ実行委員会事務局
（青森県国スポ・障スポ局競技式典課競技運営グループ担当）
TEL 017-734-9771　FAX 017-734-8015
E-mail　aomori2026kyougiunei@pref.aomori.lg.jp

ウ　〒038-8505　青森県青森市柳川二丁目１番１号
青の煌めきあおもり国スポ・障スポ青森市実行委員会事務局
（青森市経済部国スポ・障スポ競技課競技３チーム）
TEL 017-761-4478　FAX 017-761-4489
E-mail　baseball2026@city.aomori.aomori.jp

なお、イ、ウについては原則メールにて提出とする。また、公益財団法人日本スポーツ協会に対しては、大会終了後、別途所定の手続きにより参加申込み情報を修正すること。

（注１）　仮登録により出場するチームは、連盟の規程及び規程細則により編成されたチームでなければならない。

（注２）　参加申込書の選手の記載順については、主将以下、その他の選手は背番号の若い順に記載すること。なお、選手の背番号は０番から 99 番（監督 30 番、主将 10 番）とする。兼任監督も選手欄へは選手として記載すること。

⑷　問い合わせ

ア　〒151-0051　東京都渋谷区千駄ヶ谷四丁目 27 番７号
公益財団法人全日本軟式野球連盟
TEL 03-3404-8831　FAX 03-3479-2523

イ　〒030-8570　青森県青森市長島一丁目１番１号
青の煌めきあおもり国スポ・障スポ実行委員会事務局
（青森県国スポ・障スポ局競技式典課競技運営グループ担当）
TEL 017-734-9771　FAX 017-734-8015

ウ　〒038-8505　青森県青森市柳川二丁目１番１号
青の煌めきあおもり国スポ・障スポ青森市実行委員会事務局
（青森市経済部国スポ・障スポ競技課競技３チーム）
TEL 017-761-4478　FAX 017-761-4489

エ　〒033-0011　青森県三沢市幸町三丁目 11 番５号（三沢市総合社会福祉センター内）
青の煌めきあおもり国スポ・障スポ三沢市実行委員会事務局
（三沢市市民生活部国スポ・障スポ推進室競技運営第一係）
TEL 0176-51-1235　FAX 0176-53-2266

オ　〒039-2371　青森県上北郡六戸町大字犬落瀬字前谷地 61 番地
青の煌めきあおもり国スポ六戸町実行委員会事務局
（六戸町教育委員会教育課）
TEL 0176-55-4587　FAX 0176-55-5405

カ　〒039-2289　青森県上北郡おいらせ町上明堂 60 番６号
青の煌めきあおもり国スポ・障スポおいらせ町実行委員会事務局
（おいらせ町教育委員会社会教育・体育課スポーツ推進係）
TEL 0178-56-4276　FAX 0178-56-4268

キ　〒039-3212　青森県上北郡六ヶ所村大字尾駮字野附 478 番地２
青の煌めきあおもり国スポ六ヶ所村実行委員会事務局
（六ヶ所村教育委員会社会教育課）
TEL 0175-72-8173　FAX 0175-72-2246

10　参加上の注意

⑴　2026 年度版「公認野球規則」「競技者必携」を持参すること。

⑵　監督会議には、監督又は主将は必ずユニフォームを着用し出席すること。欠席の場合は原則として棄権とみなす。

11　その他

⑴　組合せ抽選会

日　時　　2026 年９月４日（金）　午後２時

場　所　　公益財団法人全日本軟式野球連盟　会議室
〒151-0051　東京都渋谷区千駄ヶ谷四丁目 27 番７号
TEL 03-3404-8831　FAX 03-3479-2523

※　公益財団法人日本スポーツ協会役員立会いのもと、公開抽選を行う。

⑵　監督会議

日　時　　2026 年 10 月 10 日（土）　午後４時

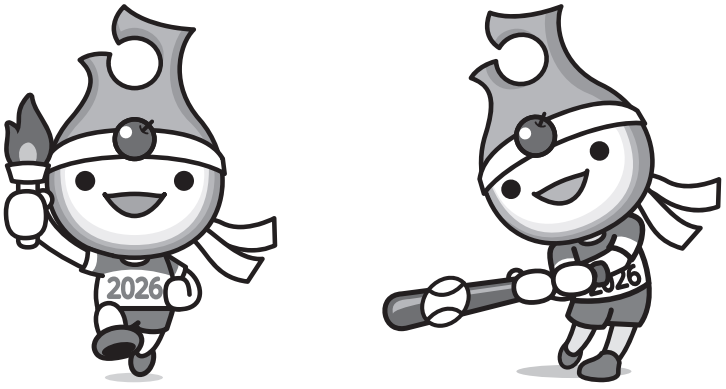
場　所　　アップルパレス青森
〒030-0802　青森県青森市本町五丁目１番５号
TEL 017-723-5600　FAX 017-723-4255

⑶　表彰式

内　容	日　　時	会　　場
１位・２位 表　彰　式	2026 年 10 月 14 日（水） 試 合 終 了 後	Ａ　ダイシンベースボールスタジアム （青森市営野球場）
３位・４位 表　彰　式	2026 年 10 月 14 日（水） 試 合 終 了 後	Ａ　ダイシンベースボールスタジアム （青森市営野球場）
５位・６位 表　彰　式	2026 年 10 月 13 日（火） 試 合 終 了 後	Ｃ　三沢市民運動広場野球場
７位・８位 表　彰　式	2026 年 10 月 13 日（火） 試 合 終 了 後	Ｄ　六戸町総合運動公園野球場

軟式野球競技会

開始式・表彰式



翔けろ未来へ縄文の風に乗って
第80回国民スポーツ大会
青の煌(きら)めきあおもり国スポ2026

開　始　式　次　第

1　日時・会場

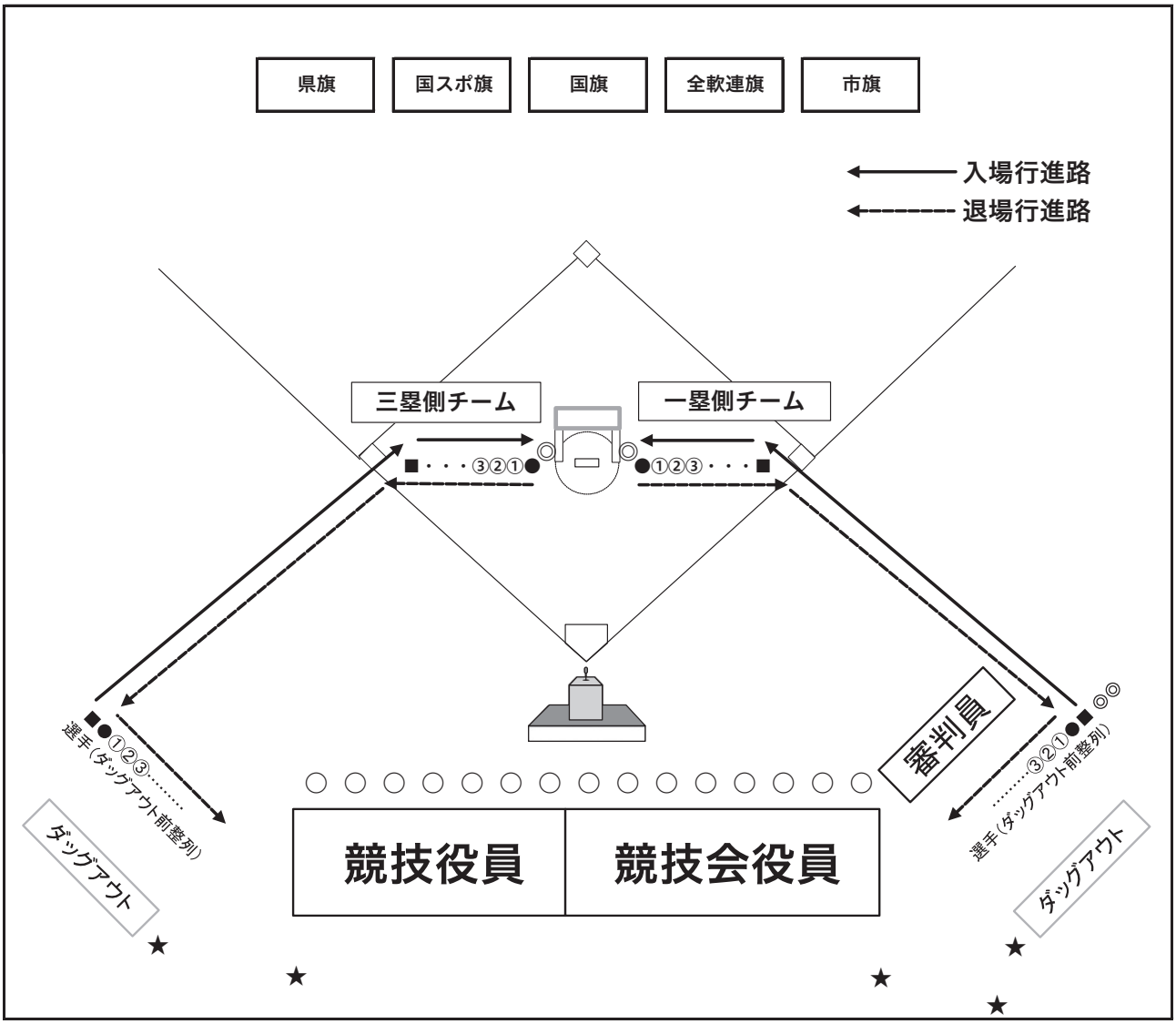
種　別	内　　容	日　　時	会　　場	
成年男子	開　始　式	10月11日(日) 午前8時20分～	青森市	ダイシンベースボールスタジアム (青森市営野球場)

2　式次第

順序	次　　第	所要時間	要　　領	音　　楽
1	開　式　通　告	1分	アナウンス通告	ファンファーレⅠ
2	選　手　入　場	1分	アナウンス通告	行　進　曲
3	競技会開始宣言	1分	全日本軟式野球連盟	ファンファーレⅡ
4	国　旗　掲　揚	1分	アナウンス通告	君　が　代
5	諸　旗　掲　揚	1分	アナウンス通告	若　い　力
6	歓迎のことば	2分	青　森　市	ー
7	閉　式　通　告	1分	アナウンス通告	ファンファーレⅣ
8	選　手　退　場	1分	アナウンス通告	行　進　曲

※悪天候の場合は中止となります

開　始　式　要　領　図



《整列順》

◎　大会プラカード　…　競技補助員
■　チーム整列案内・入退場行進先導者　…　競技役員（審判委員）
●　都道府県名プラカード　…　競技補助員
①　監督
②　主将
③　選手
★　競技会係員（式典表彰係）

【入場】

1）　監督・選手は、ダッグアウト前で整列（横一列）。
2）　大会プラカード担当者は、競技役員の指示によりピッチャープレート前まで移動。
3）　開始式開始。各チームの先導者として競技役員がつき、両チームが同時に入場。
　　各塁ベース（一塁・三塁）の手前で折れ曲がり、両チームの先導者がピッチャープレート前に到着次第、整列完了。
4）　整列後（行進曲終了後）、先導者は監督・選手の後ろを通り、各チームの最後尾につく。

【退場】

1）　開始式終了の合図で、一塁側チームの先導者は左に一歩、三塁側チームの先導者は右に一歩移動する。
2）　県名プラカード担当者は、監督・選手の後ろを通り、最後尾の先導者の後ろにつく。
3）　各チームに先導者がつき、両チームが同時に最後尾の選手から退場。
　　各塁ベース（一塁・三塁）の手前で折れ曲がり、各自のダッグアウト前まで行進・整列。
4）　大会プラカード担当者は、1塁側へ退場するチームの最後尾につき行進・整列。

第１位・第２位　表彰式・閉会式次第

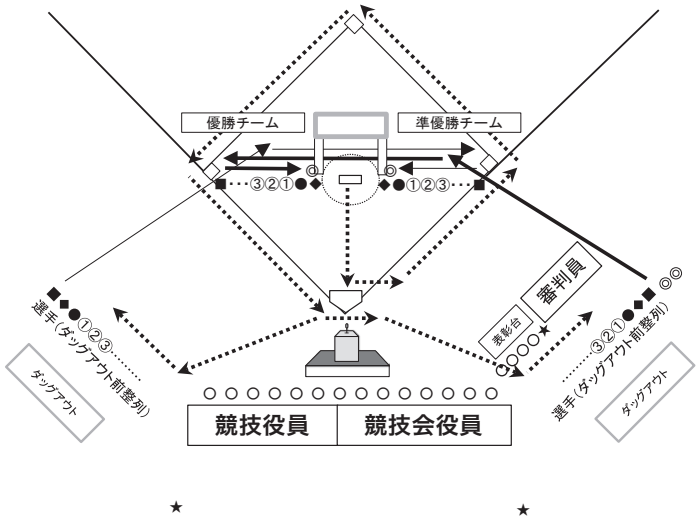
1　日時・会場

種　別	内　　容	日　　時	会　　場	
成年男子	1・2位表彰式	10月14日(水) (決勝戦終了後)	青森市	ダイシンベースボールスタジアム (青森市営野球場)

2　式次第

順序	次　　第	所要時間	要　　領	音　　楽
1	開　式　通　告	1分	アナウンス通告	ファンファーレⅠ
2	選　手　入　場	2分	アナウンス通告	行　進　曲
3	総合成績発表	2分	競技委員長	ー
4	表彰状及び大会会長 トロフィー、副賞授与	4分	青　森　市	得　賞　歌
5	メダル授与	6分	競技会会長 競技会副会長	得　賞　歌
6	個人賞授与	3分	青　森　市	得　賞　歌
7	歓送のことば	3分	青　森　市	ー
8	歓送のことば	3分	青森県軟式野球連盟会長	ー
9	お礼のことば	3分	競技会会長	ー
10	国　旗　降　納	1分	アナウンス通告	君　が　代
11	諸　旗　降　納	1分	アナウンス通告	若　い　力
12	競技会終了宣言	1分	競技委員長	ファンファーレⅤ
13	閉　式　通　告	1分	アナウンス通告	ファンファーレⅣ
14	選　手　退　場	2分	アナウンス通告	行　進　曲

第１位・第２位　表彰式・閉会式要領図

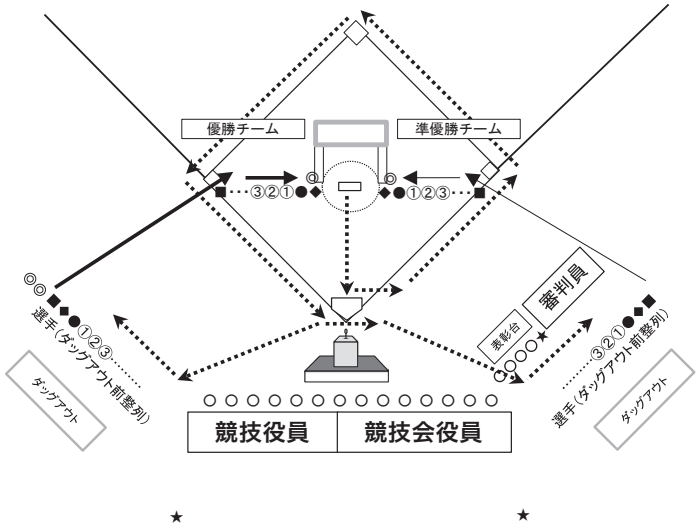


■入場時 ←― 優勝チーム(一塁側)／準優勝チーム(三塁側) **入場行進路**

1)監督・選手は、ダッグアウト前で整列(横一列)。
2)大会プラカード担当者は、選手入場前に、アナウンスの合図及び競技役員の指示により、ピッチャープレート前まで移動。
3)表彰式開始。優勝(一塁側)チームと準優勝(三塁側)チームの先導者に競技役員がつき、両チームが同時に入場。
各塁ベース(一塁・三塁)の手前で折れ曲がり、互いに反対側のベースの手前を折り返し、両チームの先導者がピッチャープレート前に到着次第、整列完了。
4)整列後(行進曲終了後)、先導者は各チームの最後尾につく。

■退場時 ←…… **退場行進路**

1) 先導者は各チームの最後尾より先頭に移動する。
2)退場開始。アナウンスの合図で、大会プラカードを先頭に優勝チーム、準優勝チームの順にホームベースへ進み、塁線上に沿って、各塁ベース(一塁・二塁・三塁)とホームベースを通り、各自のダグアウト前へ整列する。
なお、大会プラカード担当者は、一塁側ダッグアウトに戻る。
3)アナウンスからの競技会終了の通告後、監督・選手はダッグアウトに戻る。



■入場時 ←― 優勝チーム(三塁側)／準優勝チーム(一塁側) **入場行進路**

1)監督・選手は、ダッグアウト前で整列(横一列)。
2)大会プラカード担当者は、選手入場前に、アナウンスの合図及び競技役員の指示により、ピッチャープレート前まで移動。
3)表彰式開始。優勝(三塁側)チームと準優勝(一塁側)チームの先導者に競技役員がつき、両チームが同時に入場。
各塁ベース(一塁・三塁)の手前で折れ曲がり、両チームの先導者がピッチャープレート前に到着次第、整列完了。
4)整列後(行進曲終了後)、先導者は各チームの最後尾につく。

■退場時 ←…… **退場行進路**

1)先導者は各チームの最後尾より先頭に移動する。
2)退場開始。アナウンスの合図で、大会プラカードを先頭に優勝チーム、準優勝チームの順にホームベースへ進み、塁線上に沿って、各塁ベース(一塁・二塁・三塁)とホームベースを通り、各自のダグアウト前へ整列する。
なお、大会プラカード担当者は、三塁側ダッグアウトに戻る。
3)アナウンスからの競技会終了の通告後、監督・選手はダッグアウトに戻る。

※雨天の場合は、屋内で実施するため、行進は行わない。

《整列順》

◎　大会プラカード　…　競技補助員
■　チーム整列案内・入退場行進先導者　…　競技役員(審判委員)
◆　順位プラカード　…　競技補助員
●　都道府県名プラカード　…　競技補助員
①　監督
②　主将
③　選手
★　競技会係員(式典表彰係)

第３位～第８位　表彰式次第

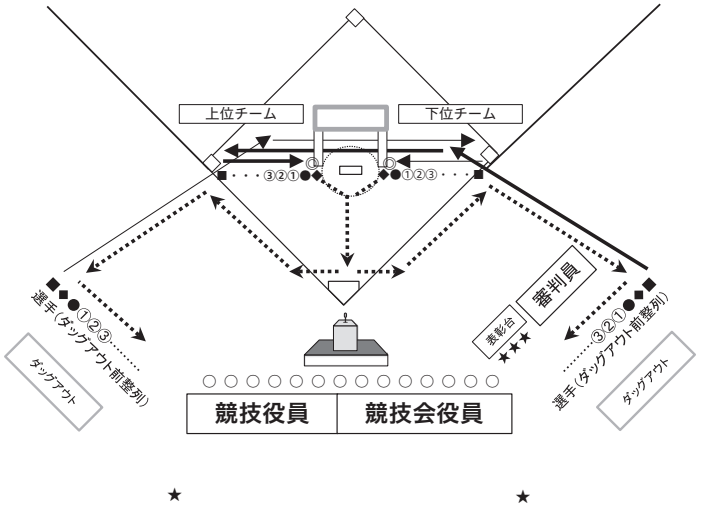
1　日時・会場

種　別	内　　容	日　　時	会　　場	
成年男子	3・4位表彰式	10月14日(水) (決定戦終了後)	青森市	ダイシンベースボールスタジアム (青森市営野球場)
	5・6位表彰式	10月13日(火) (決定戦終了後)	三沢市	三沢市民運動広場野球場
	7・8位表彰式	10月13日(火) (決定戦終了後)	六戸町	六戸町総合運動公園野球場

2　式次第

順序	次　　第	所要時間	要　　領	音　　楽
1	開　式　通　告	1分	アナウンス通告	ファンファーレⅠ
2	選　手　入　場	2分	アナウンス通告	行　進　曲
3	総合成績発表	1分	競技委員長 ※3・4位表彰式のみ	ー
4	表彰状及び 副賞授与	3分	会　場　他	得　賞　歌
5	メダル授与	5分	競技会会長 ※3位のみ	得　賞　歌
6	歓送のことば	2分	会　場　他	ー
7	閉　式　通　告	1分	アナウンス通告	ファンファーレⅣ
8	選　手　退　場	2分	アナウンス通告	行　進　曲

第３位～第８位　表彰式要領図

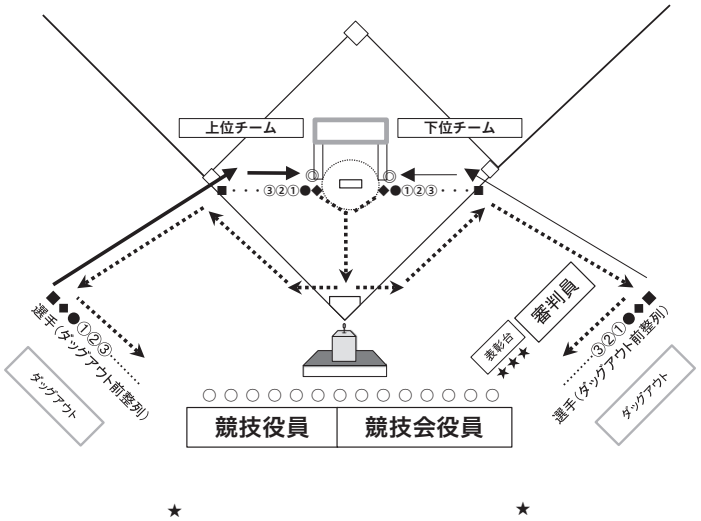


■入場時　上位チーム（一塁側）／下位チーム（三塁側）　**入場行進路**

1）監督・選手は、ダッグアウト前で整列（横一列）。
2）大会プラカード担当者は、競技役員の指示によりピッチャープレート前まで移動。（青森市会場のみ）
3）表彰式開始。上位（一塁側）チームと下位（三塁側）チームの先導者に競技役員がつき、両チームが同時に入場。
各塁ベース（一塁・三塁）の手前で折れ曲がり、互いに反対側のベースの手前を折り返し、両チームの先導者がピッチャープレート前に到着次第、整列完了。
4）整列後（行進曲終了後）、先導者は各チームの最後尾につく。

■退場時　**退場行進路**

1）先導者は各チームの最後尾より先頭に移動する。
2）退場開始。アナウンスの合図で、上位チーム、下位チームの順に退場。
ピッチャープレート横を通り、ホームベース手前で各自のダッグアウト方向に向きを変え、塁線上に沿って行進し、各チーム側にある一塁または三塁ベースの手前で折れ曲がりダグアウトへ戻る。
3）大会プラカード担当者は、下位チームに続いて退場する。（青森市会場のみ）



■入場時　上位チーム（三塁側）／下位チーム（一塁側）　**入場行進路**

1）監督・選手は、ダッグアウト前で整列（横一列）。
2）大会プラカード担当者は、競技役員の指示によりピッチャープレート前まで移動。（青森市会場のみ）
3）表彰式開始。上位（三塁側）チームと下位（一塁側）チームの先導者に競技役員がつき、両チームが同時に入場。
各塁ベース（一塁・三塁）の手前で折れ曲がり、両チームの先導者がピッチャープレート前に到着次第、整列完了。
4）整列後（行進曲終了後）、先導者は各チームの最後尾につく。

■退場時　**退場行進路**

1）先導者は各チームの最後尾より先頭に移動する。
2）退場開始。アナウンスの合図で、上位チーム、下位チームの順に退場。
ピッチャープレート横を通り、ホームベース手前で各自のダッグアウト方向に向きを変え、塁線上に沿って行進し、各チーム側にある一塁または三塁ベースの手前で折れ曲がりダグアウトへ戻る。
3）大会プラカード担当者は、下位チームに続いて退場する。（青森市会場のみ）

※雨天の場合は、屋内で実施するため、行進は行わない。

《整列順》

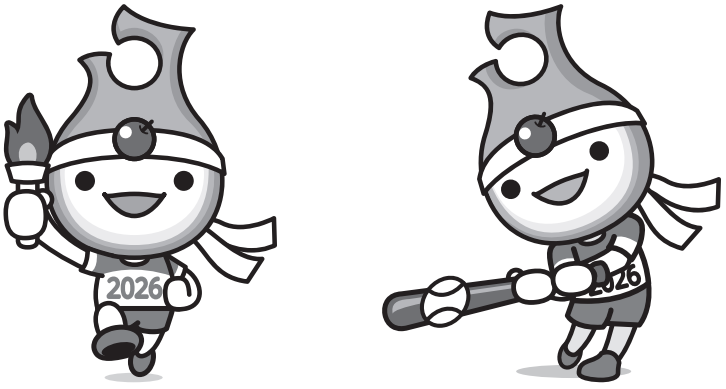
◎　大会プラカード（青森市会場のみ）　…　競技補助員
■　チーム整列案内・入退場行進先導者　…　競技役員
◆　順位プラカード　…　競技補助員
●　都道府県名プラカード　…　競技補助員
①　監督
②　主将
③　選手

★　競技会係員（式典表彰係）

軟式野球競技会

競技日程・組合せ表

練習会場



翔けろ未来へ縄文の風に乗って
第80回国民スポーツ大会
青の煌(きら)めきあおもり国スポ2026

軟　式　野　球　競　技

競　技　日　程

青　森　市
三　沢　市
六　戸　町
おいらせ町
六ヶ所村

監督会議	10月10日(土)	16時00分～	アップルパレス青森

種　別		成年男子			
会　期		10月11日(日)	10月12日(月)	10月13日(火)	10月14日(水)
		ダイシンベースボールスタジアム(青森市営野球場)			
青森市	A	1回戦(3試合) ① 9:00～ ② 11:20～ ③ 13:40～	2回戦(2試合) ① 9:00～ ② 11:20～ 準々決勝(1試合) ③ 14:10～	準決勝(2試合) ① 9:00～ ② 11:20～	3・4位決定戦 ① 9:00～ ◆表彰式 第3位・第4位 決　勝 ② 12:00～ ◆表彰式 第1位・第2位
		青森県営野球場			
青森市	B	1回戦(3試合) ① 9:00～ ② 11:20～ ③ 13:40～	2回戦(2試合) ① 9:00～ ② 11:20～ 準々決勝(1試合) ③ 14:10～		
		三沢市民運動広場野球場			
三沢市	C	1回戦(3試合) ① 9:00～ ② 11:20～ ③ 13:40～	2回戦(2試合) ① 9:00～ ② 11:20～ 準々決勝(1試合) ③ 14:10～	5・6位決定1回戦 ① 9:00～ 5・6位決定戦 ② 13:30～ ◆表彰式 第5位・第6位	
		六戸町総合運動公園野球場			
六戸町	D	1回戦(3試合) ① 9:00～ ② 11:20～ ③ 13:40～	2回戦(2試合) ① 9:00～ ② 11:20～ 準々決勝(1試合) ③ 14:10～	5・6位決定1回戦 ① 9:00～ 7・8位決定戦 ② 13:30～ ◆表彰式 第7位・第8位	
		おいらせ町下田公園野球場			
おいらせ町	E	1回戦(2試合) ① 9:00～ ② 11:20～			
		六ヶ所村大石総合運動公園第三球場			
六ヶ所村	F	1回戦(2試合) ① 9:00～ ② 11:20～			

表彰式				
	【1位・2位】	10月14日(水)	試合終了後	ダイシンベースボールスタジアム(青森市営野球場)
	【3位・4位】	10月14日(水)	試合終了後	ダイシンベースボールスタジアム(青森市営野球場)
	【5位・6位】	10月13日(火)	試合終了後	三沢市民運動広場野球場
	【7位・8位】	10月13日(火)	試合終了後	六戸町総合運動公園野球場

第８０回国民スポーツ大会（青の煌めきあおもり　　国スポ）軟式野球競技　組合せ表

会　　期　◇2026年10月11日（日）～10月14日（水）　４日間
監 督 会 議　◇10月10日（土）　16：00　アップルパレス青森

※①～④は競技日程
競技１日　①　◇10月11日（日）
競技２日　②　◇10月12日（月）
競技３日　③　◇10月13日（火）
競技４日　④　◇10月14日（水）

A	青森市	ダイシンベースボールスタジアム（青森市営野球場）
B	青森市	青森県営野球場
C	三沢市	三沢市民運動広場野球場
D	六戸町	六戸町総合運動公園野球場
E	おいらせ町	おいらせ町下田公園野球場
F	六ヶ所村	六ヶ所村大石総合運動公園第三球場

《3.4位決定戦》
A④ 9:00
A会場準決勝（1試合目）の敗者
A会場準決勝（2試合目）の敗者

《5.6位決定戦》
C③ 13:30
C③ 9:00
A会場準々決勝の敗者
B会場準々決勝の敗者
D③ 9:00
C会場準々決勝の敗者
D会場準々決勝の敗者

《7.8位決定戦》
D③ 13:30
C会場5・6位決定1回戦の敗者
D会場5・6位決定1回戦の敗者

A ④ 12:00

A ③ 9:00
A ② 14:10
A ② 9:00
A ① 9:00
1【熊本】九電グループ熊本
A ① 11:20
2【新潟】北陸ガス株式会社
A ② 11:20
A ① 13:40
3【北海道】六花亭
B ① 9:00
4【滋賀】公益財団法人青樹会 滋賀八幡病院
B ② 14:10
B ② 9:00
B ① 11:20
5【広島】造幣局広島支局
B ① 13:40
6【愛知】三京アムコ
7【福島】株式会社相双リテック
8【栃木】足利赤十字病院
B ② 11:20
9【秋田】JA全農あきた
B ① 11:20
10【大阪】大阪シティ信用金庫
B ① 13:40
11【鹿児島】鹿児島サニクリーン
12【群馬】SDRS株式会社

A ③ 11:20
C ② 14:10
C ② 9:00
C ① 9:00
13【大分】オール大分
C ① 11:20
14【岐阜】岐阜日野自動車株式会社
C ② 11:20
F ① 9:00
15【石川】小松マテーレ株式会社
F ① 11:20
16【山口】三井金属彦島
17【長崎】株式会社十八親和銀行
18【高知】旭食品株式会社
19【静岡】静岡ガス株式会社
20【茨城】株式会社常陽銀行
21【岩手】オール岩手
C ① 13:40
22【長野】チームながの
D ① 9:00
23【奈良】佐藤薬品工業株式会社
24【千葉】AKIRA

D ② 14:10
D ② 9:00
D ① 11:20
25【和歌山】株式会社松源
D ① 13:40
26【徳島】株式会社ユーセイホールディングス
27【佐賀】井手解体実業
28【岡山】三菱自動車工業株式会社水島製作所
D ② 11:20
29【埼玉】株式会社旭製作所
E ① 9:00
30【宮崎】宮崎サニクリーン
31【富山】武内プレス工業株式会社
E ① 11:20
32【青森】オール青森

練　習　会　場

市名	練習会場	練習会場所在地	競技会場
青　森　市	大進建設スポーツ広場 (青森市スポーツ広場)野球場１	青森市大字大矢沢字野田87番地	A　ダイシンベースボールスタジアム (青森市営野球場) B　青森県営野球場
	大進建設スポーツ広場 (青森市スポーツ広場)野球場２		
	大進建設スポーツ広場 (青森市スポーツ広場)野球場３		
三　沢　市	三沢市民の森野球場	三沢市大字三沢字淋代平116番地2945号	C　三沢市民運動広場野球場
	三沢市立第二中学校グラウンド	三沢市大字三沢字園沢97番地2号	
六　戸　町	六戸町総合運動公園多目的グラウンド	上北郡六戸町大字犬落瀬字下久保174番地1	D　六戸町総合運動公園野球場
	六戸町町営野球場	上北郡六戸町大字犬落瀬字前谷地61番地	
おいらせ町	おいらせ町下田公園多目的グラウンド	上北郡おいらせ町西後谷地31番地3	E　おいらせ町下田公園野球場
六ヶ所村	大石総合運動公園本球場	上北郡六ヶ所村尾駮野附521番地1	F　六ヶ所村大石総合運動公園 第三球場
	大石総合運動公園多目的広場		

練習会場割当表

月日	練習時間	練習会場		備考
10月９日(金) 【２日前】	9：00～11：00			
	11：00～13：00			
	13：00～15：00			
	15：00～17：00			
10月10日(土) 【１日前】	9：00～11：00			16：00～監督会議 アップルパレス青森
	11：00～13：00			
	13：00～15：00			
	15：00～17：00			

◎留意事項

・練習時間については、割当表のとおりとします。ただし、会場によっては、練習時間の調整がある場合があります。
・練習会場を使用しない場合は、必ず実施本部(競技関係連絡先一覧表参照)に連絡願います。
・練習時間内にグラウンド整備(レーキがけ等)を行ってください。

競技会場のウォーミングアップ場について

・試合前のウォーミングアップ場は、各競技会場で用意しています。
・各会場により使用条件が異なりますので、確認のうえ使用してください。
・ウォーミングアップ場の使用は、試合直前のチームを優先とし、１塁側・３塁側チームで分けて使用してください。

memo



青の煌(きら)めきあおもり国スポ

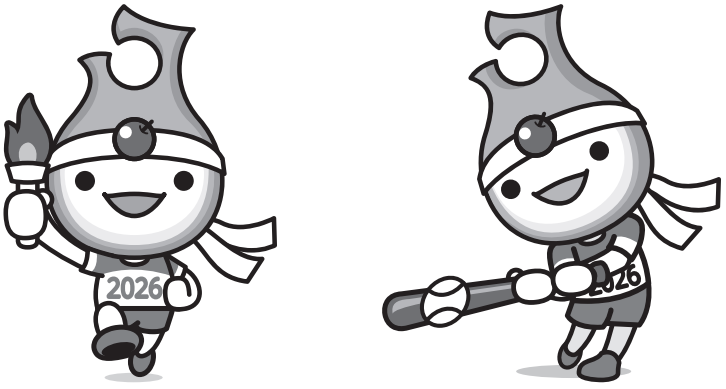
2026 翔けろ未来へ縄文の風に乗って

第80回国民スポーツ大会



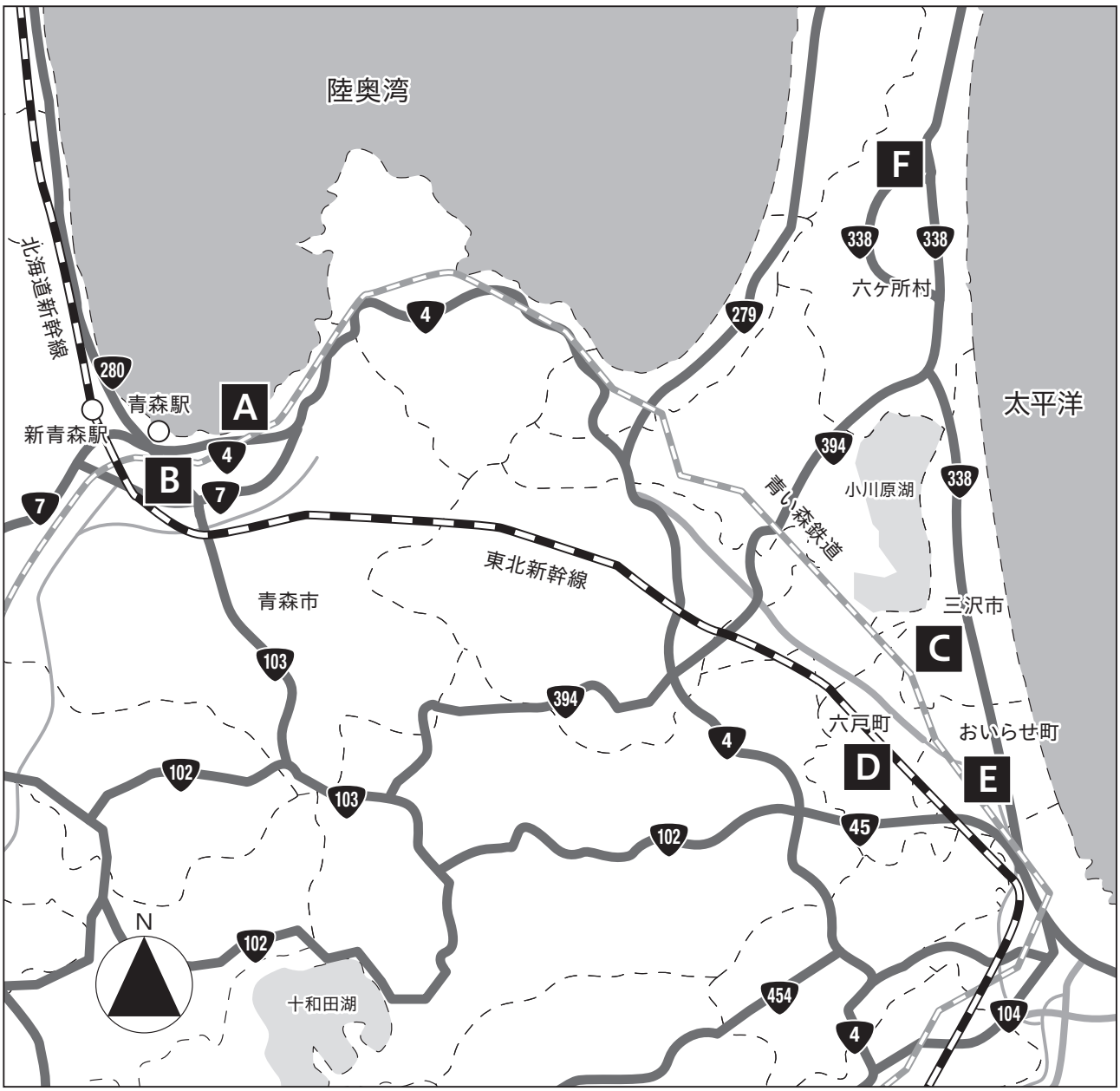
軟式野球競技会

競技会場



翔けろ未来へ縄文の風に乗って
第80回国民スポーツ大会
青の煌(きら)めきあおもり国スポ2026

全体会場案内地図



開 催 会 場

A ダイシンベースボールスタジアム（青森市営野球場）

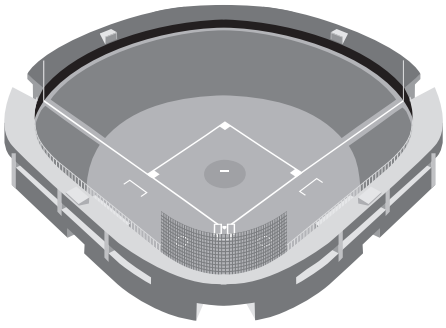
B 青森県営野球場

C 三沢市民運動広場野球場

D 六戸町総合運動公園野球場

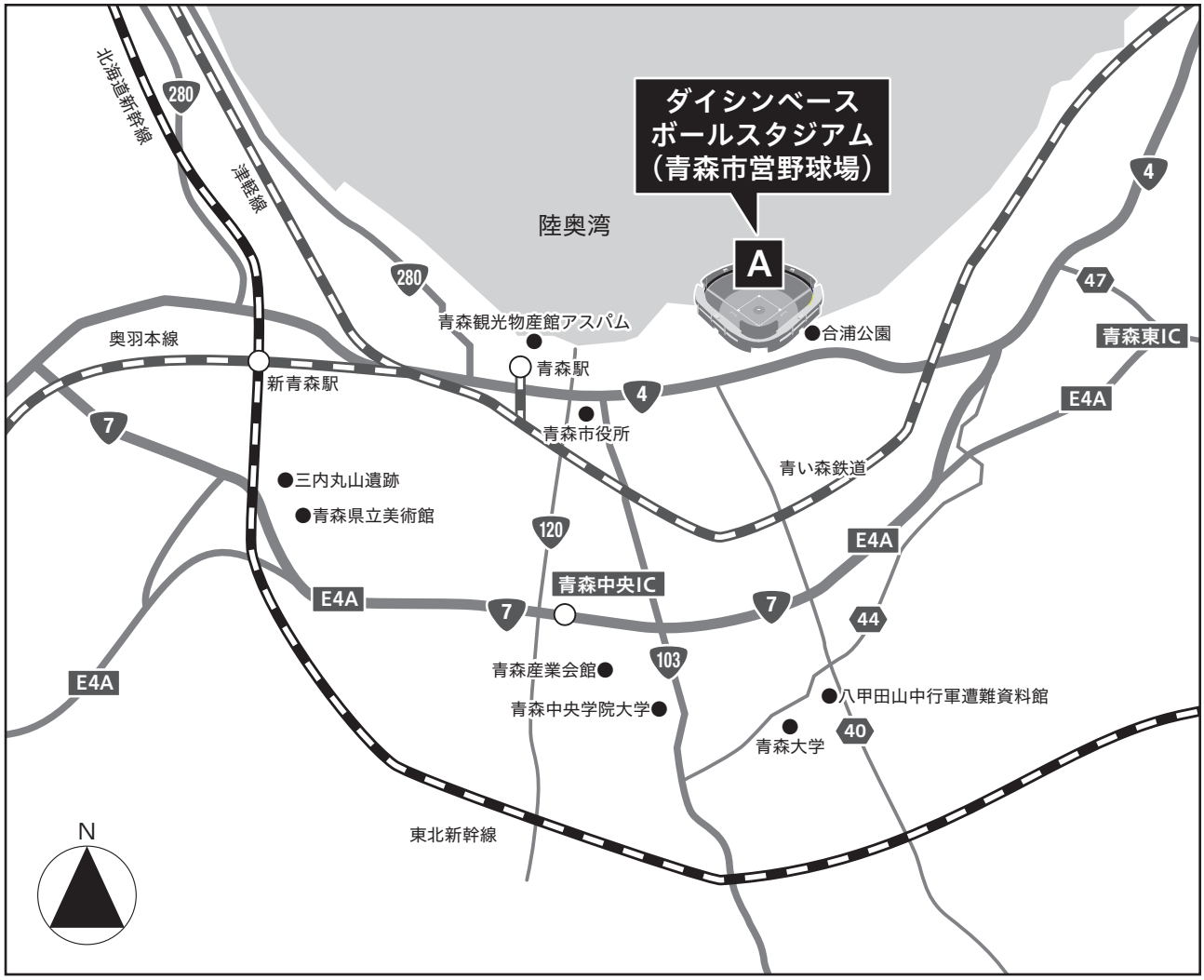
E おいらせ町下田公園野球場

F 六ヶ所村大石総合運動公園第三球場



各会場案内地図

A　ダイシンベースボールスタジアム（青森市営野球場）



会場所在地

〒030-0902　青森市合浦二丁目14番53号　TEL.017-744-7755

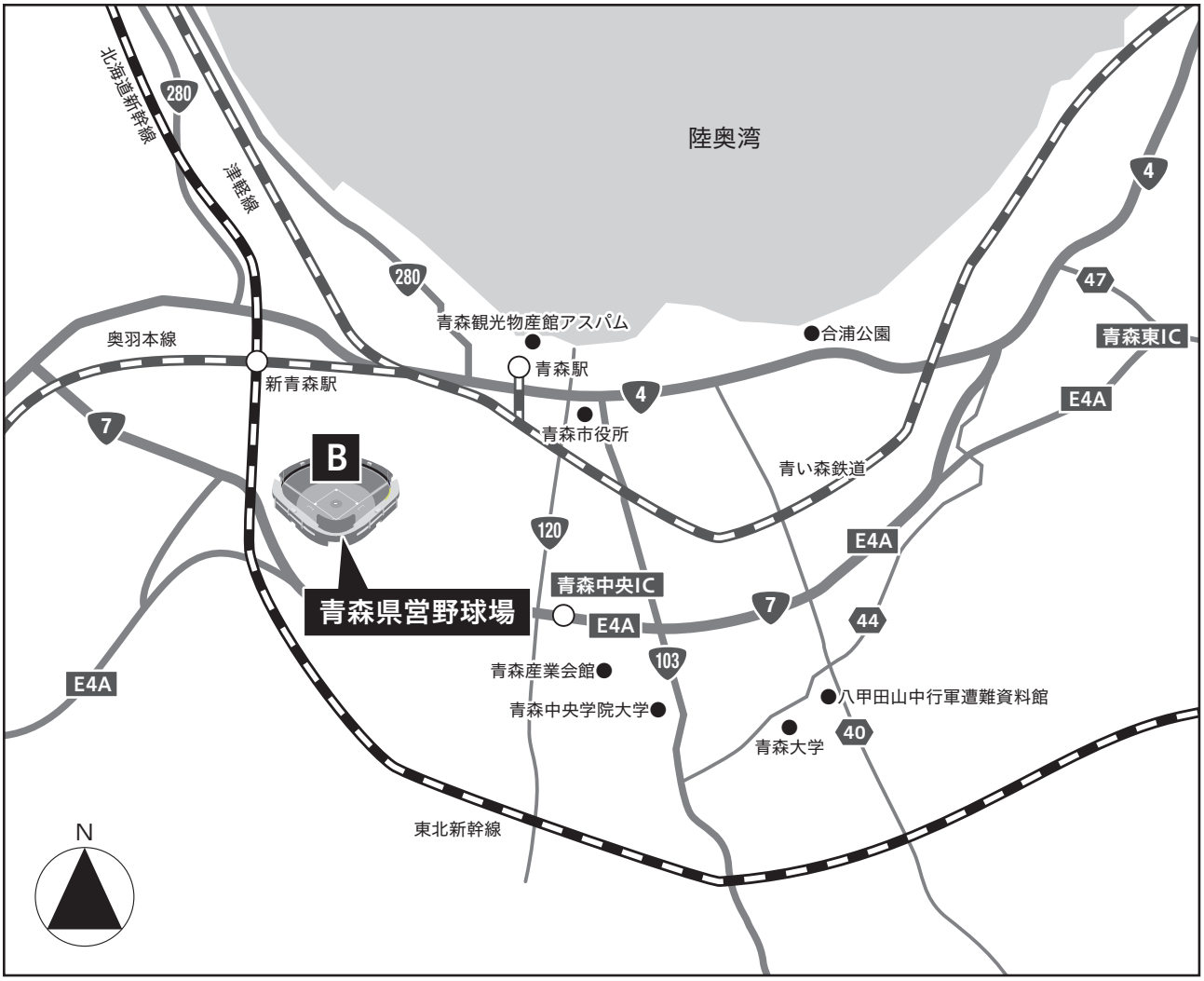
アクセス

【鉄　　道　　等】JR奥羽本線・青い森鉄道「青森駅」下車タクシー約11分
JR奥羽本線・JR東北新幹線「新青森駅」下車タクシー約19分
【路　線　バ　ス】青森市営バス「合浦公園前」下車徒歩約４分
【自　家　用　車】青森自動車道「青森中央IC」から車で約19分
【会場内駐車場】無料150台

※詳しくは青森市実行委員会HPをご確認ください。

各会場案内地図

B　青森県営野球場



会場所在地

〒038-0021　青森市大字安田字近野234番地７　TEL.017-766-1241

アクセス

【鉄　　道　　等】JR奥羽本線・青い森鉄道「青森駅」下車タクシー約13分
　　JR奥羽本線・JR東北新幹線「新青森駅」下車タクシー約９分
【路　線　バ　ス】青森市営バス「総合運動公園前」下車徒歩約９分
　　青森市営バス「県立美術館前」下車徒歩約12分
【自　家　用　車】青森自動車道「青森IC」から車で約４分
【会場内駐車場】無料167台

※詳しくは青森市実行委員会HPをご確認ください。

各会場案内地図

C　三沢市民運動広場野球場



会場所在地

〒033-0022　三沢市三沢下沢83番地56号　TEL.0176-51-1235

アクセス

【鉄　　道　　等】青い森鉄道／三沢駅
【路　線　バ　ス】三沢市コミュニティーバスみ～ばす／三沢空港通、三沢空港温泉前
【シャトルバス】三沢市役所～三沢空港臨時駐車場～徒歩
【自　家　用　車】第二みちのく有料道路三沢・十和田・下田IC
【臨 時 駐 車 場】三沢空港臨時駐車場

※詳しくは三沢市実行委員会HPをご確認ください。

D　六戸町総合運動公園野球場



会場所在地

〒039-2371　上北郡六戸町大字犬落瀬字下久保174番地1　TEL.0176-70-1035

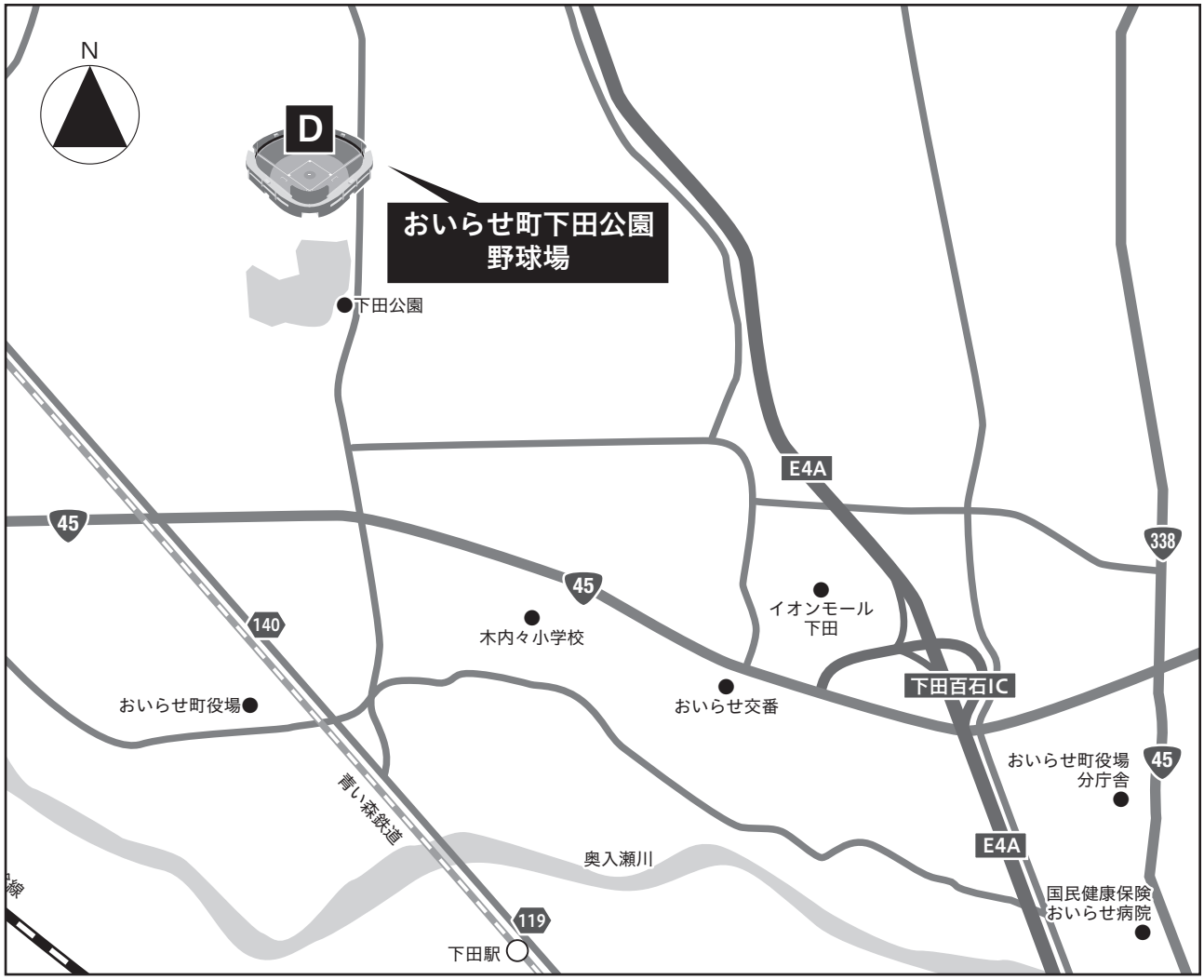
アクセス

【鉄　　道　　等】青い森鉄道「向山駅」下車　タクシー約９分
　　青い森鉄道「三沢駅」下車　タクシー約12分
【路 線 バ ス】六戸町民バス「総合運動公園」下車　徒歩約１分
【自 家 用 車】上北自動車道「六戸三沢IC」から約10分
　　百石道路「下田百石IC」から約14分
【会場内駐車場】無料309台
【周 辺 駐 車 場】総合運動公園東側駐車場

※詳しくは六戸町実行委員会HPをご確認ください。

各会場案内地図

E　おいらせ町下田公園野球場



会場所在地

〒039-2111　青森県上北郡おいらせ町西後谷地30番地1　TEL.0178-56-5255

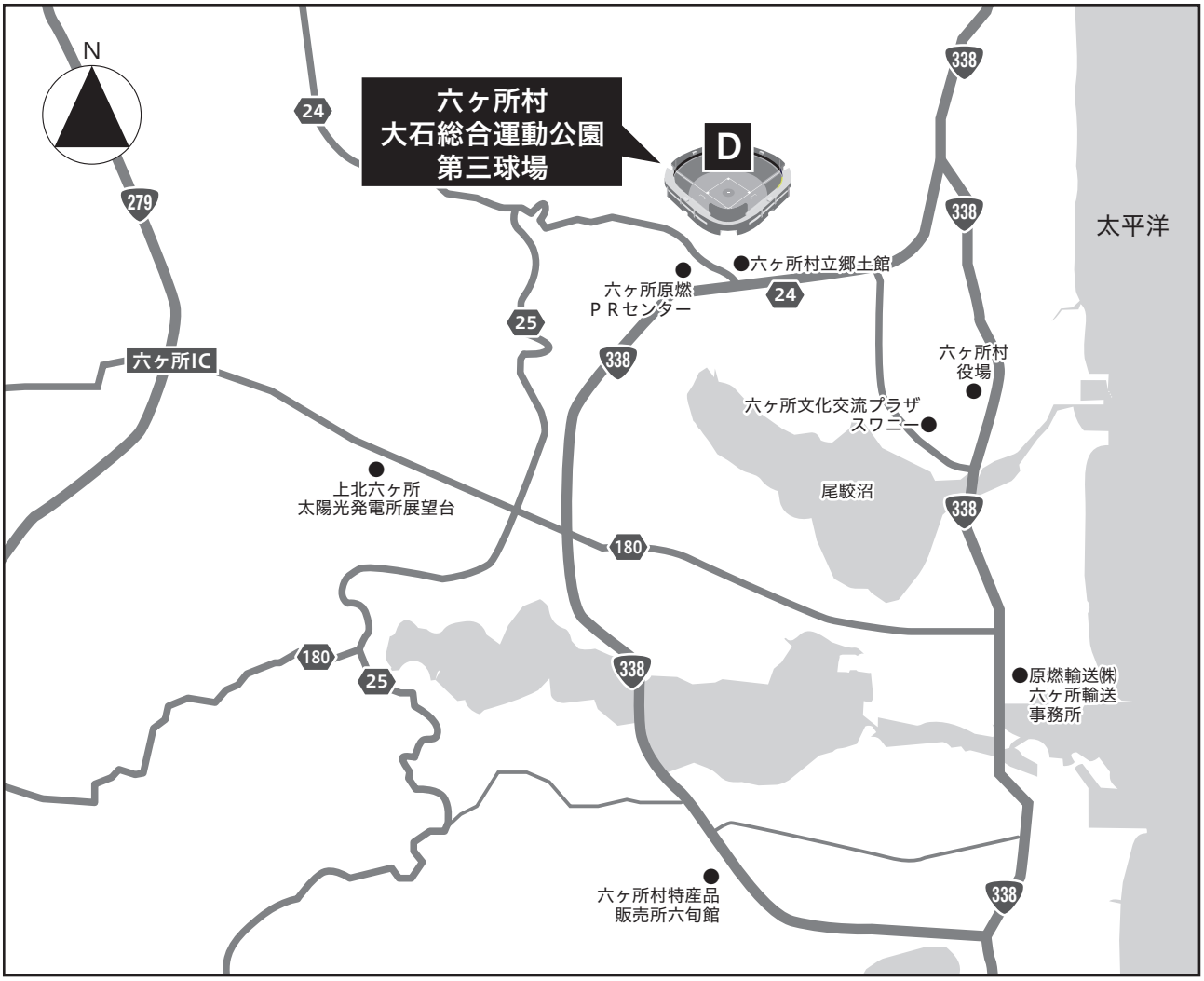
アクセス

【鉄　　道　　等】青い森鉄道「下田駅」下車　タクシー約５分
【自 家 用 車】百石道路・第二みちのく有料道路「下田百石IC」から約5分
【周 辺 駐 車 場】無料170台

※詳しくはおいらせ町実行委員会HPをご確認ください。

各会場案内地図

F　六ヶ所村大石総合運動公園第三球場



会場所在地

〒039-3212　青森県上北郡六ヶ所村大字尾駮字野附521番地1　TEL.0175-72-2191

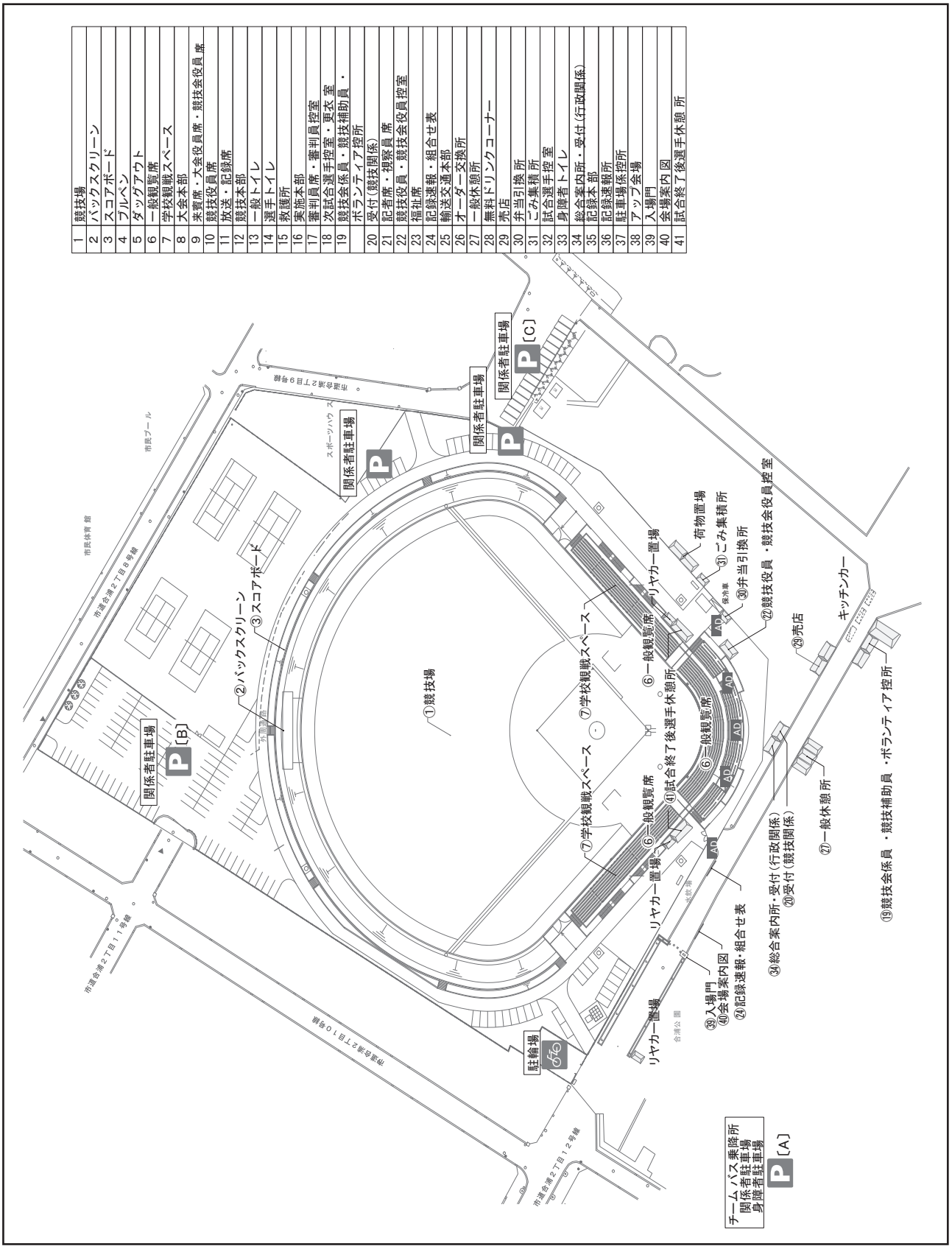
アクセス

【鉄　　道　　等】JR奥羽本線・JR東北新幹線「七戸十和田駅」下車タクシー約51分
JR奥羽本線・青い森鉄道「野辺地駅」下車タクシー約44分
【路　線　バ　ス】下北交通　下車徒歩約５分
【自　家　用　車】最寄りのICまたは目印となる施設等　六ヶ所村立郷土館約１分

※詳しくは六ヶ所村実行委員会HPをご確認ください。

各会場配置図

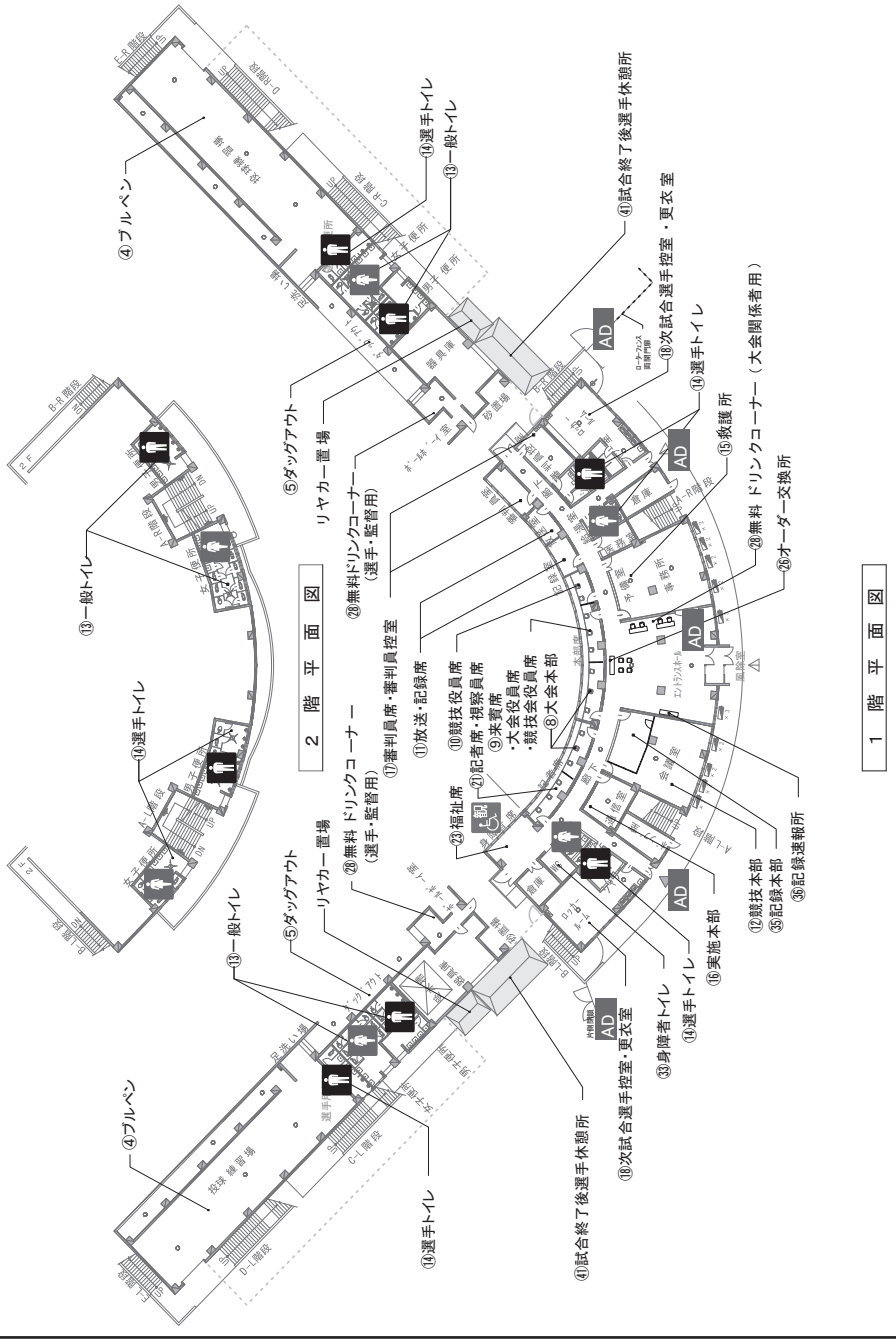
A　ダイシンベースボールスタジアム（青森市営野球場）



各会場配置図

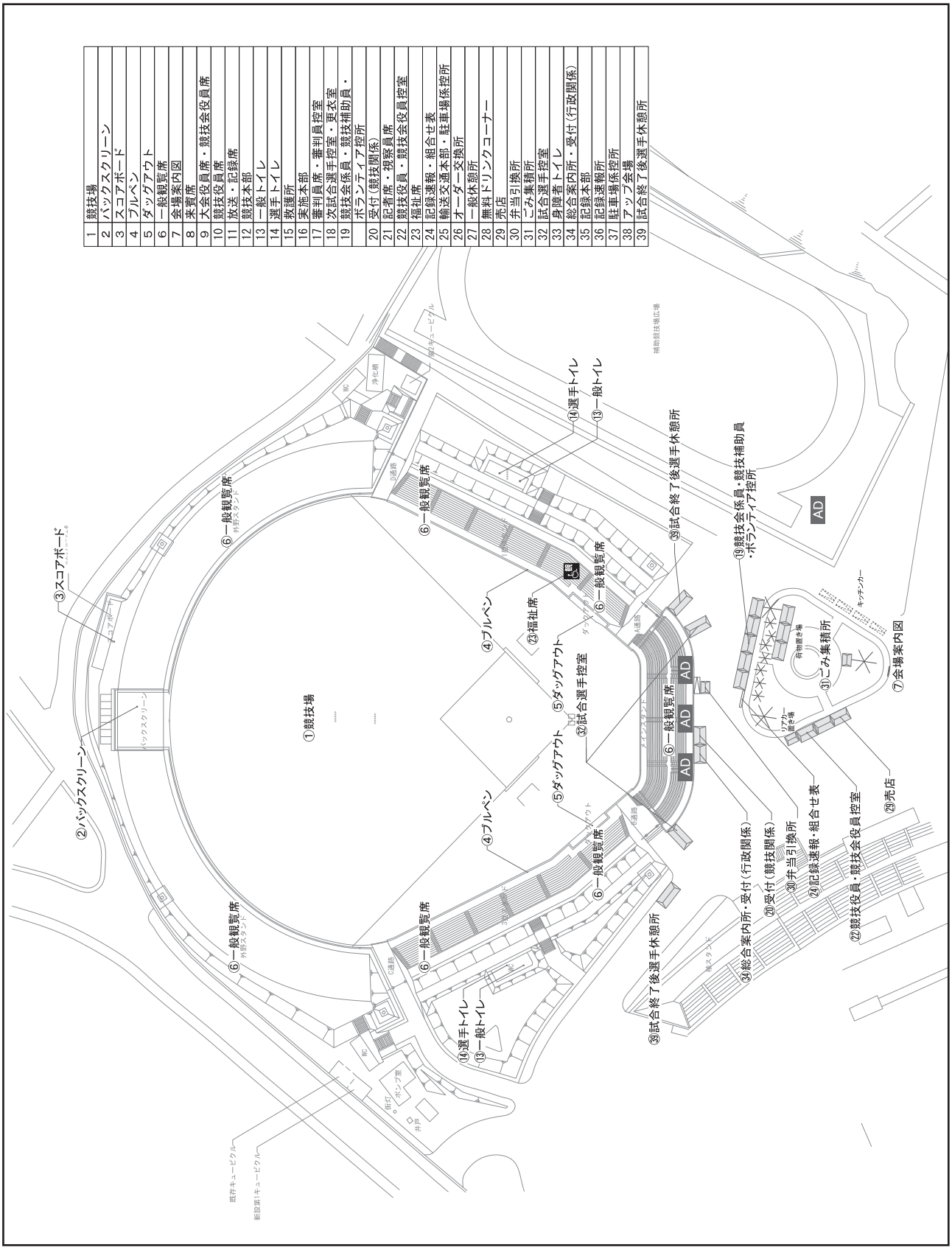
A　ダイシンベースボールスタジアム（青森市営野球場）

1	競技場
2	バックスクリーン
3	スコアボード
4	ブルペン
5	ダッグアウト
6	一般観覧席
7	学校観戦スペース
8	大会本部
9	来賓席・大会役員席・競技会役員席
10	競技役員席
11	放送・記録席
12	競技本部
13	一般トイレ
14	選手トイレ
15	救護所
16	実施本部
17	審判員席・審判員控室
18	次試合選手控室・更衣室
19	競技会係員・競技補助員・ボランティア控所
20	受付（競技関係）
21	記者席・視察員席
22	競技役員・競技会役員控室
23	福祉席
24	記録速報・組合せ 表
25	輸送交通本部
26	オーダー交換所
27	一般休憩所
28	無料ドリンクコーナー
29	売店
30	弁当引換所
31	ごみ集積所
32	試合選手控 室
33	身障者トイレ
34	総合案内所・受付（行政関係）
35	記録本部
36	記録速報所
37	駐車場係控所
38	アップ会 場
39	入場門
40	会場案内図
41	試合終了後選手休憩所



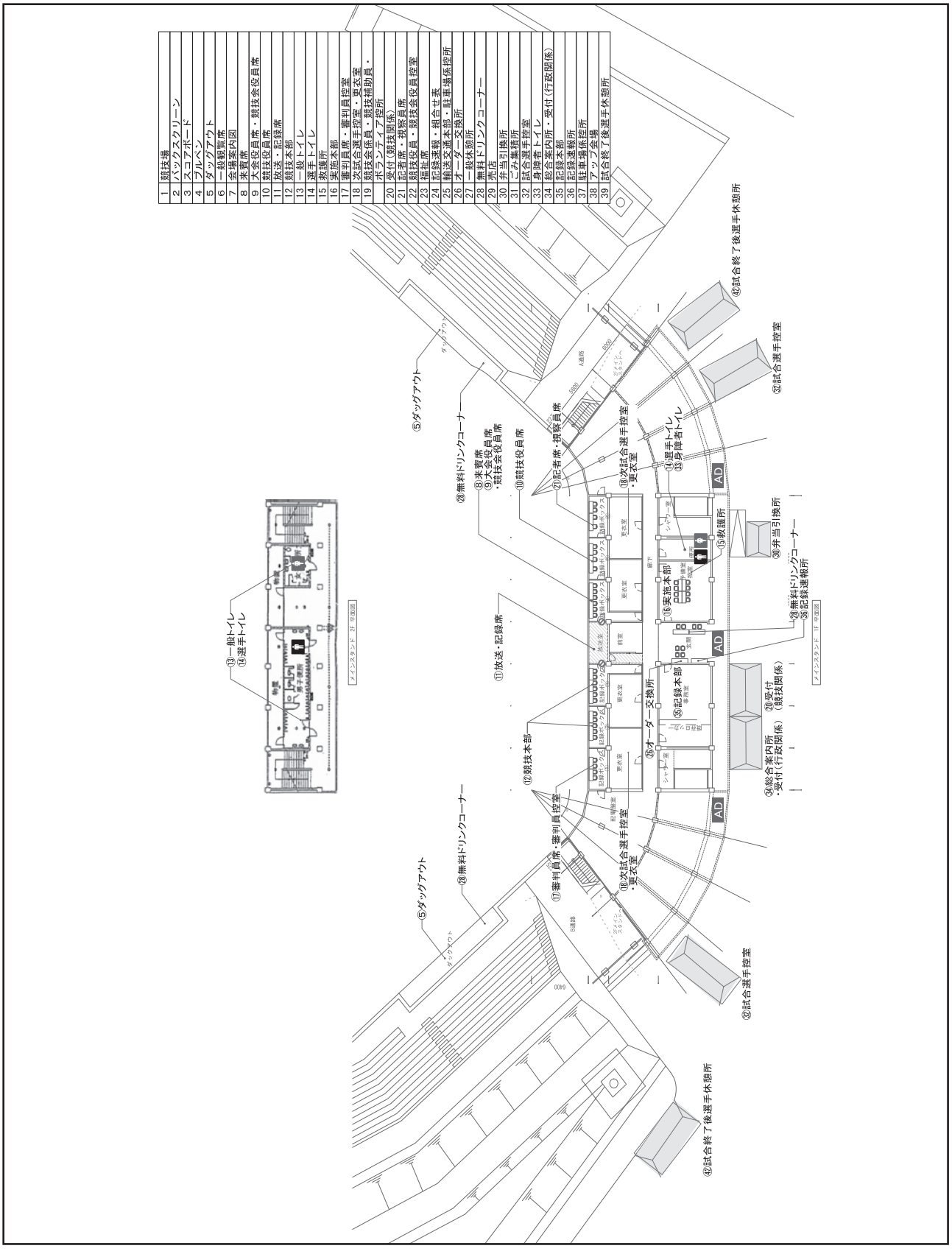
各会場配置図

B　青森県営野球場



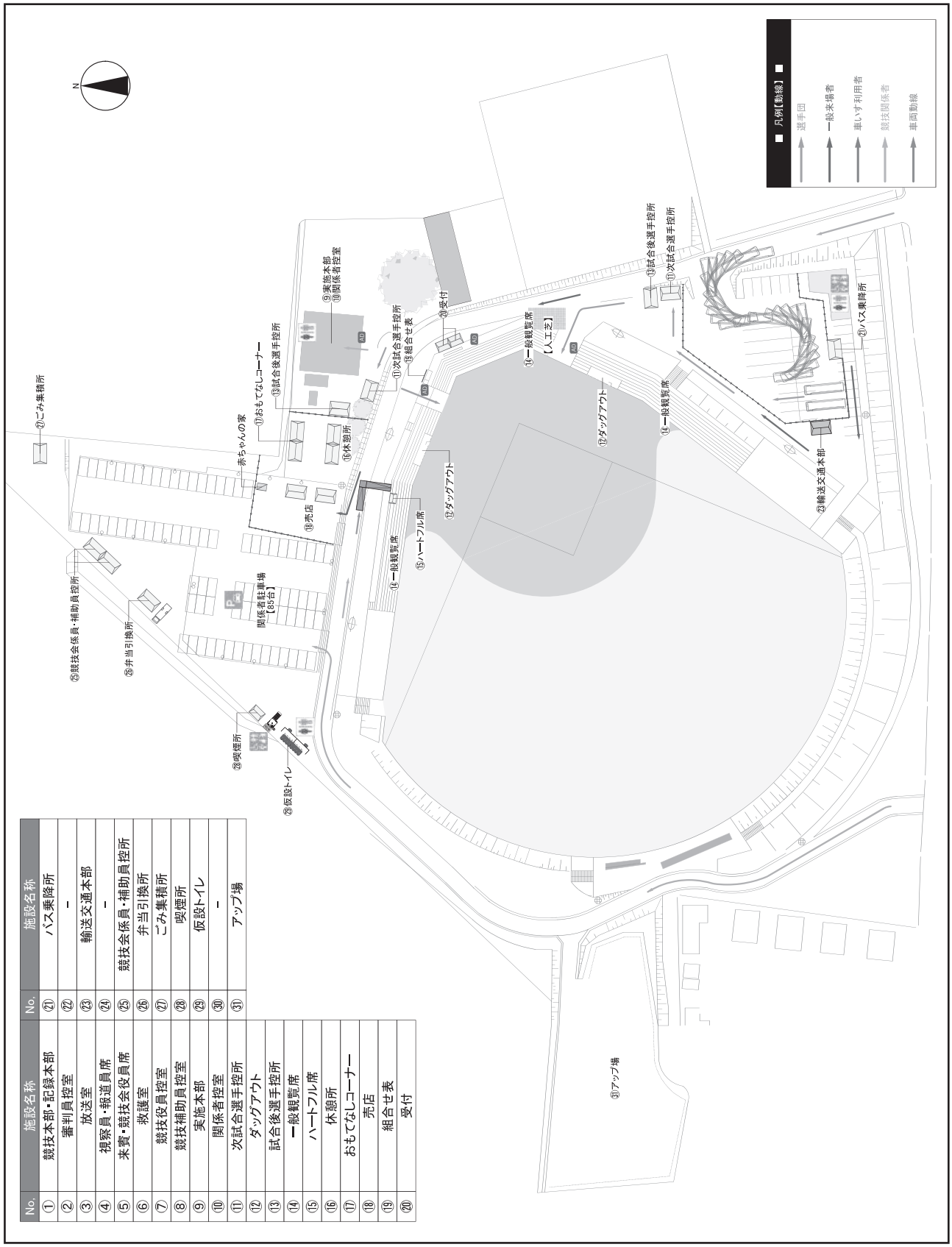
各会場配置図

B　青森県営野球場



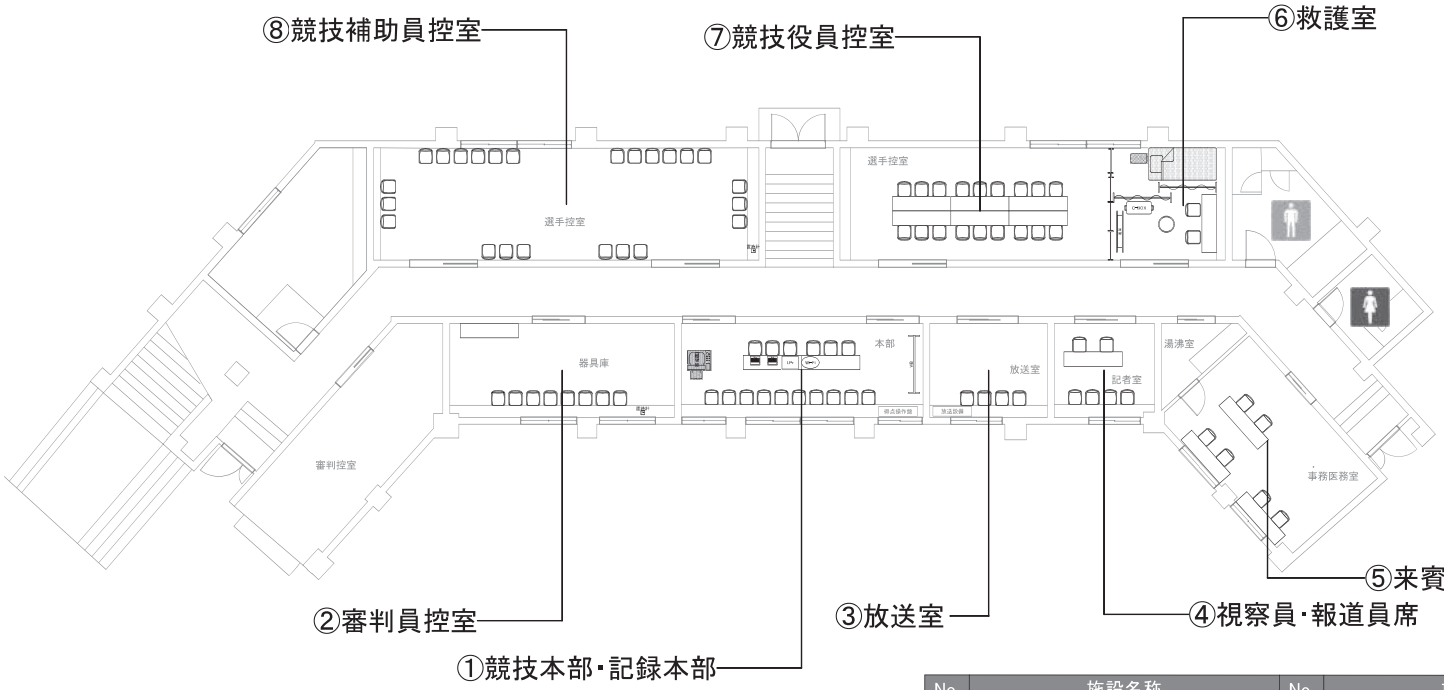
各会場配置図

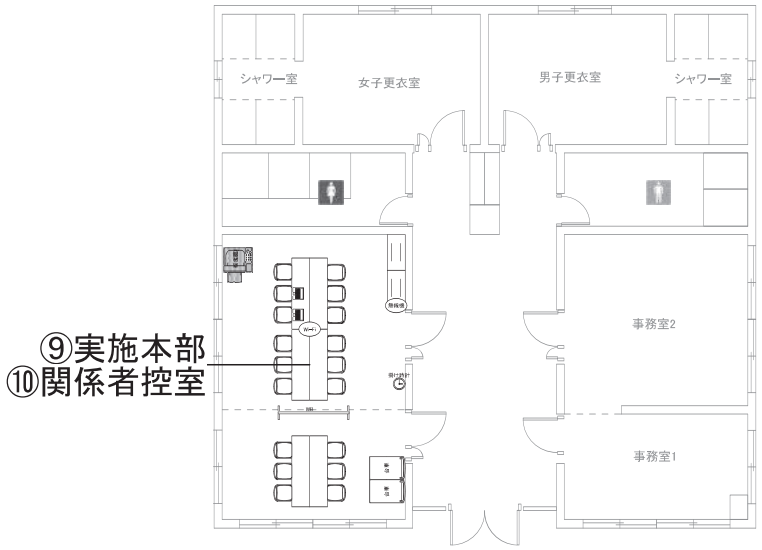
C　三沢市民運動広場野球場



No.	施設名称	No.	施設名称
①	競技本部・記録本部	㉑	バス乗降所
②	審判員控室	㉒	–
③	放送室	㉓	輸送交通本部
④	視察員・報道員席	㉔	–
⑤	来賓・競技会役員席	㉕	競技会係員・補助員控所
⑥	救護室	㉖	弁当引換所
⑦	競技役員控室	㉗	ごみ集積所
⑧	競技補助員控室	㉘	喫煙所
⑨	実施本部	㉙	仮設トイレ
⑩	関係者控室	㉚	–
⑪	次試合選手控所	㉛	アップ場
⑫	ダッグアウト		
⑬	試合後選手控所		
⑭	一般観覧席		
⑮	ハートフル席		
⑯	休憩所		
⑰	おもてなしコーナー		
⑱	売店		
⑲	組合せ表		
⑳	受付		

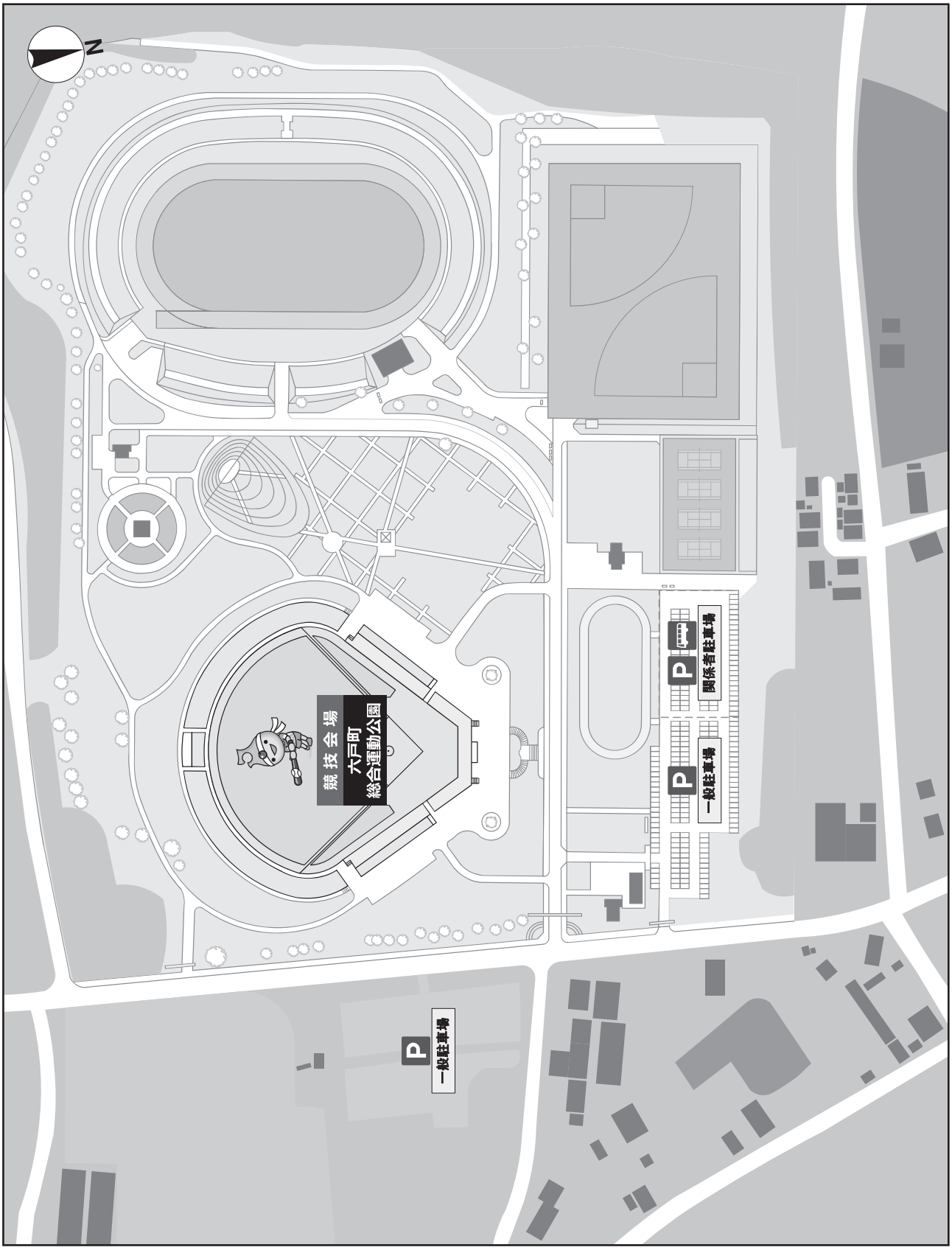
C 三沢市民運動広場野球場





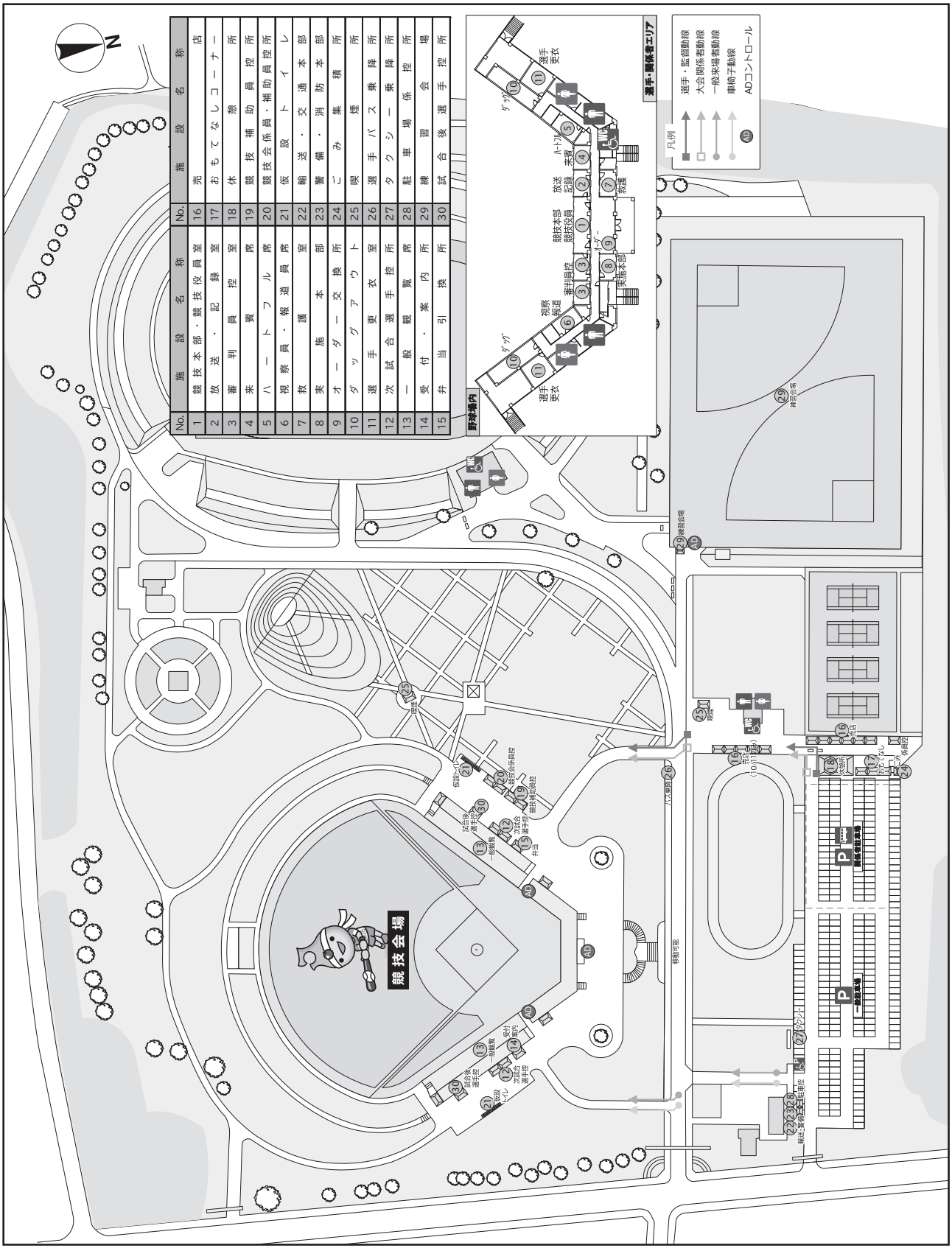
No.	施設名称	No.	施設名称
①	競技本部・記録本部	㉑	バス乗降所
②	審判員控室	㉒	－
③	放送室	㉓	輸送交通本部
④	視察員・報道員席	㉔	－
⑤	来賓・競技会役員席	㉕	競技会係員・補助員控所
⑥	救護室	㉖	弁当引換所
⑦	競技役員控室	㉗	ごみ集積所
⑧	競技補助員控室	㉘	喫煙所
⑨	実施本部	㉙	仮設トイレ
⑩	関係者控室	㉚	－
⑪	次試合選手控所	㉛	アップ場
⑫	ダッグアウト		
⑬	試合後選手控所		
⑭	一般観覧席		
⑮	ハートフル席		
⑯	休憩所		
⑰	おもてなしコーナー		
⑱	売店		
⑲	組合せ表		
⑳	受付		

D　六戸町総合運動公園野球場



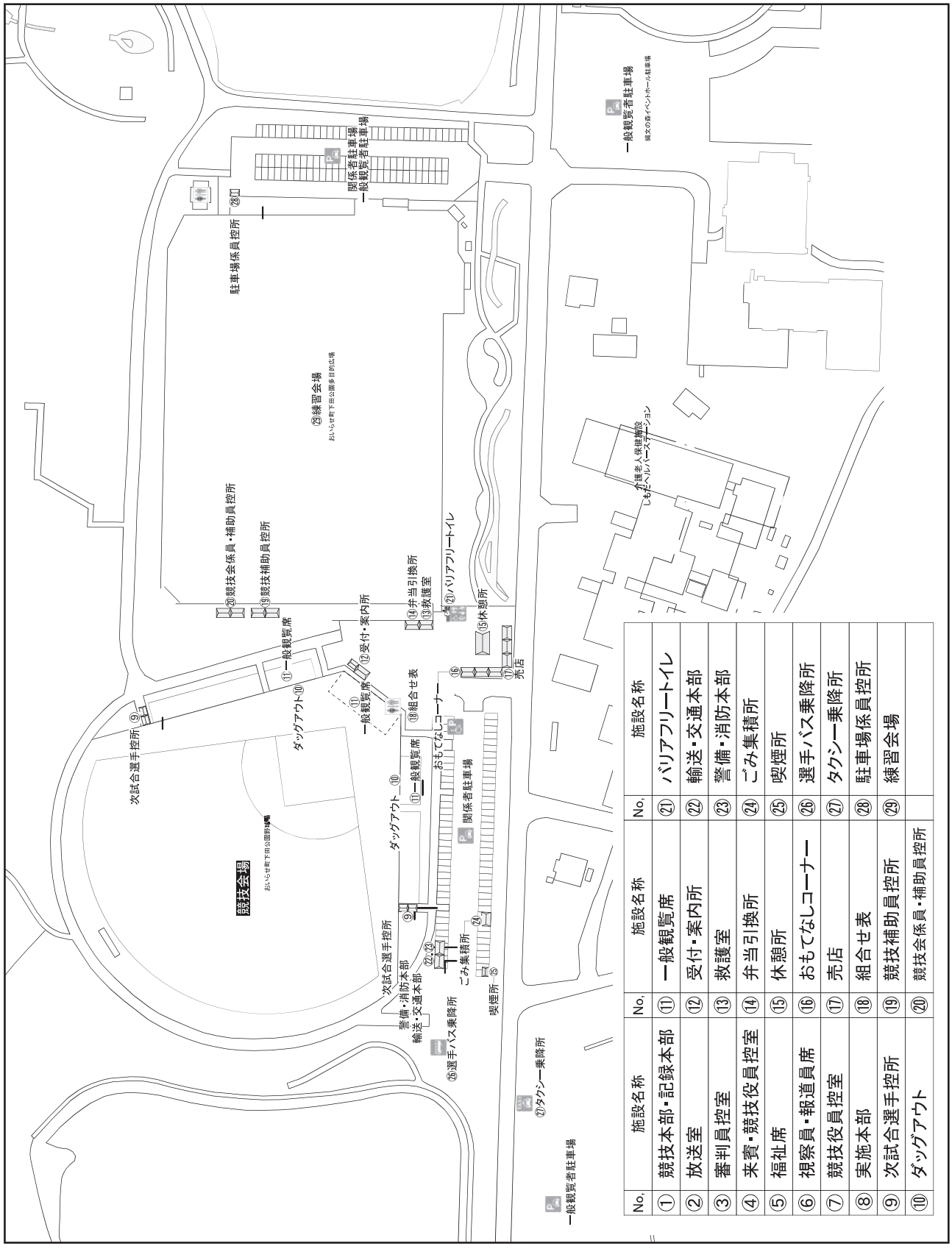
各会場配置図

D　六戸町総合運動公園野球場



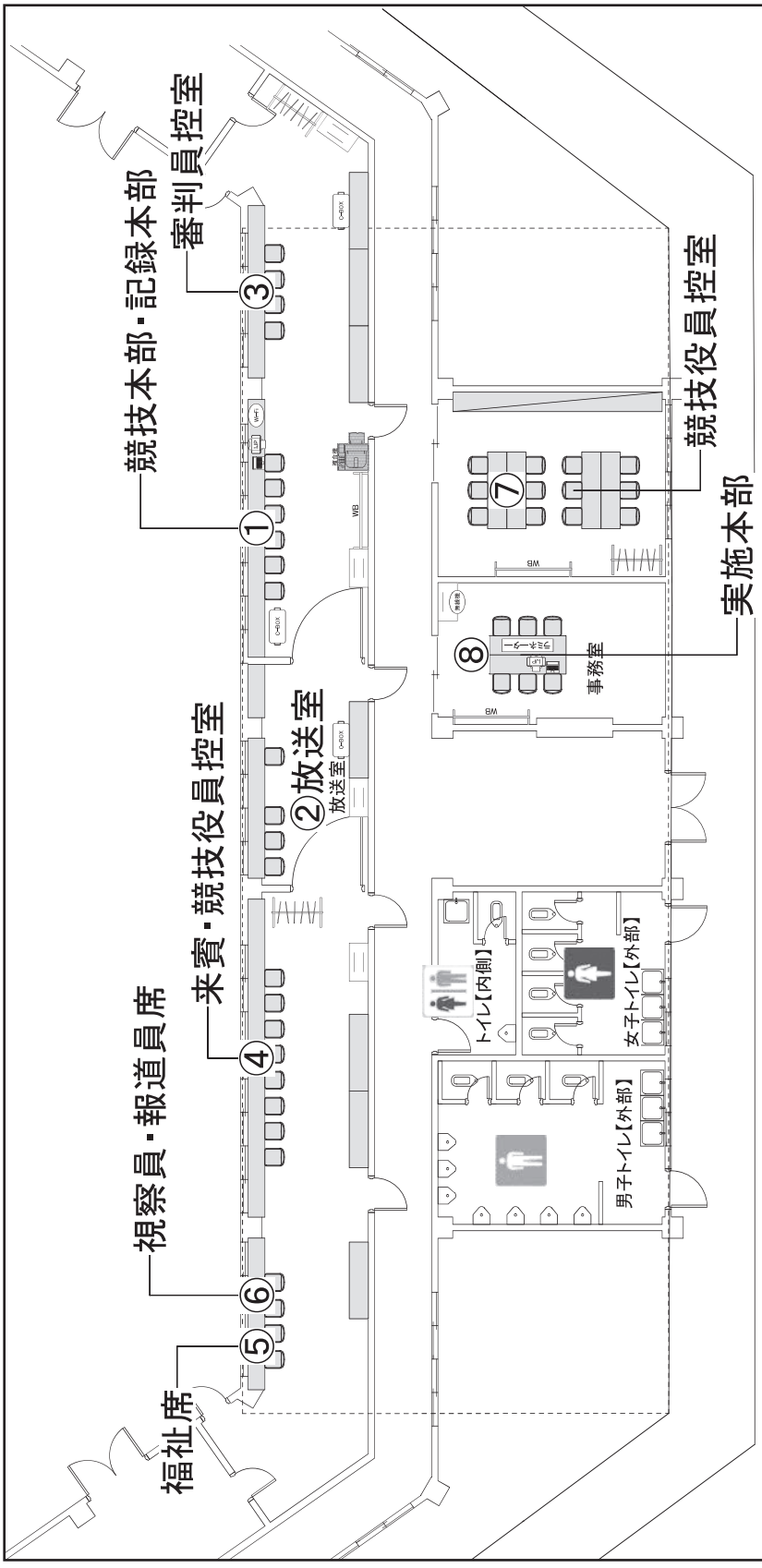
各会場配置図

E　おいらせ町下田公園野球場



No,	施設名称	No,	施設名称	No,	施設名称
①	競技本部・記録本部	⑪	一般観覧席	㉑	バリアフリートイレ
②	放送室	⑫	受付・案内所	㉒	輸送・交通本部
③	審判員控室	⑬	救護室	㉓	警備・消防本部
④	来賓・競技役員控室	⑭	弁当引換所	㉔	ごみ集積所
⑤	福祉席	⑮	休憩所	㉕	喫煙所
⑥	視察員・報道員席	⑯	おもてなしコーナー	㉖	選手バス乗降所
⑦	競技役員控室	⑰	売店	㉗	タクシー乗降所
⑧	実施本部	⑱	組合せ表	㉘	駐車場係員控所
⑨	次試合選手控所	⑲	競技補助員控所	㉙	練習会場
⑩	ダッグアウト	⑳	競技会係員・補助員控所		

E　おいらせ町下田公園野球場

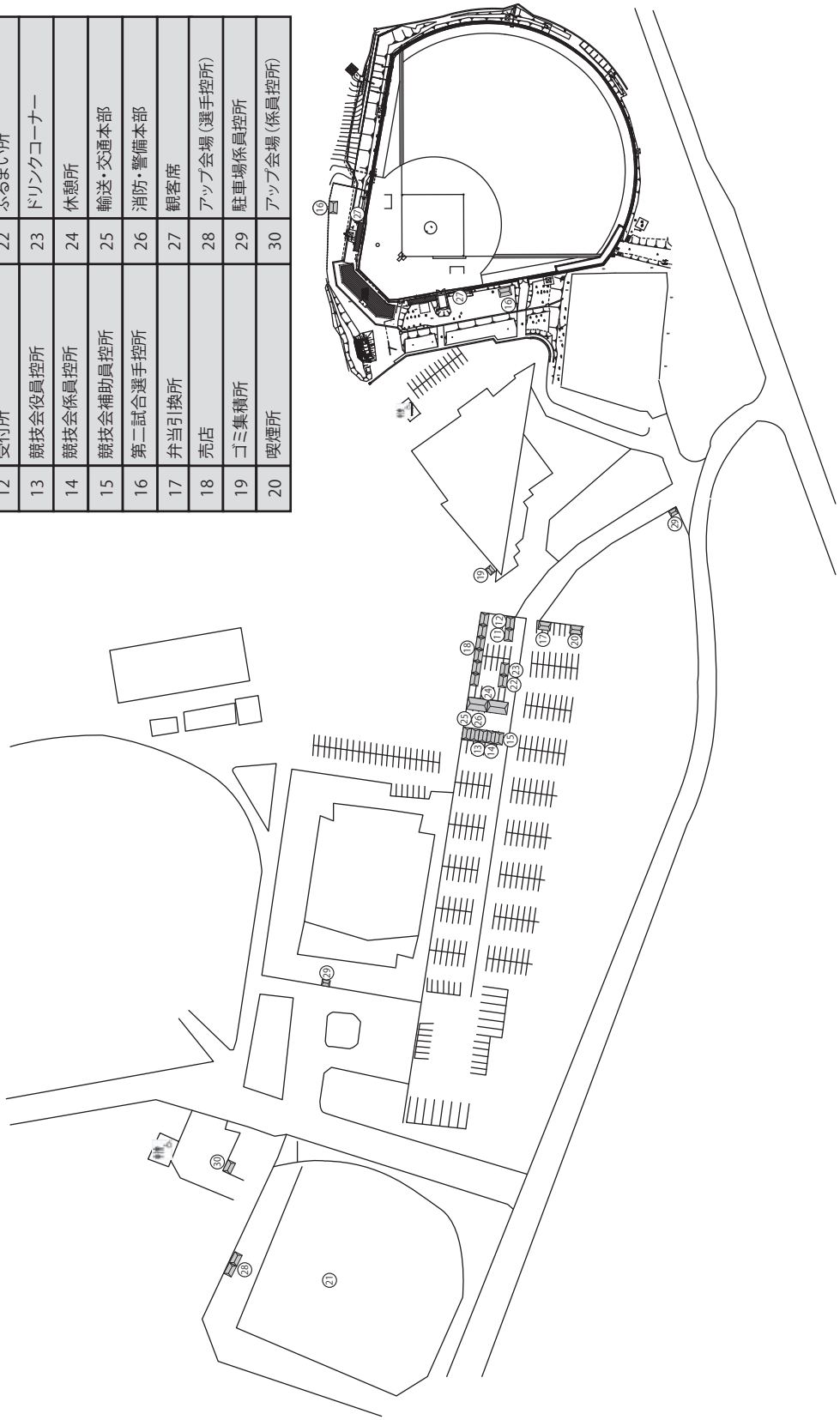


No.	施設名称	No.	施設名称	No.	施設名称
①	競技本部・記録本部	⑪	一般観覧席	㉑	バリアフリートイレ
②	放送室	⑫	受付・案内所	㉒	輸送・交通本部
③	審判員控室	⑬	救護室	㉓	警備・消防本部
④	来賓・競技役員控室	⑭	弁当引換所	㉔	ごみ集積所
⑤	福祉席	⑮	休憩所	㉕	喫煙所
⑥	視察員・報道員席	⑯	おもてなしコーナー	㉖	選手バス乗降所
⑦	競技役員控室	⑰	売店	㉗	タクシー乗降所
⑧	実施本部	⑱	組合せ表	㉘	駐車場係員控所
⑨	次試合選手控所	⑲	競技補助員控所	㉙	練習会場
⑩	ダッグアウト	⑳	競技会係員・補助員控所		

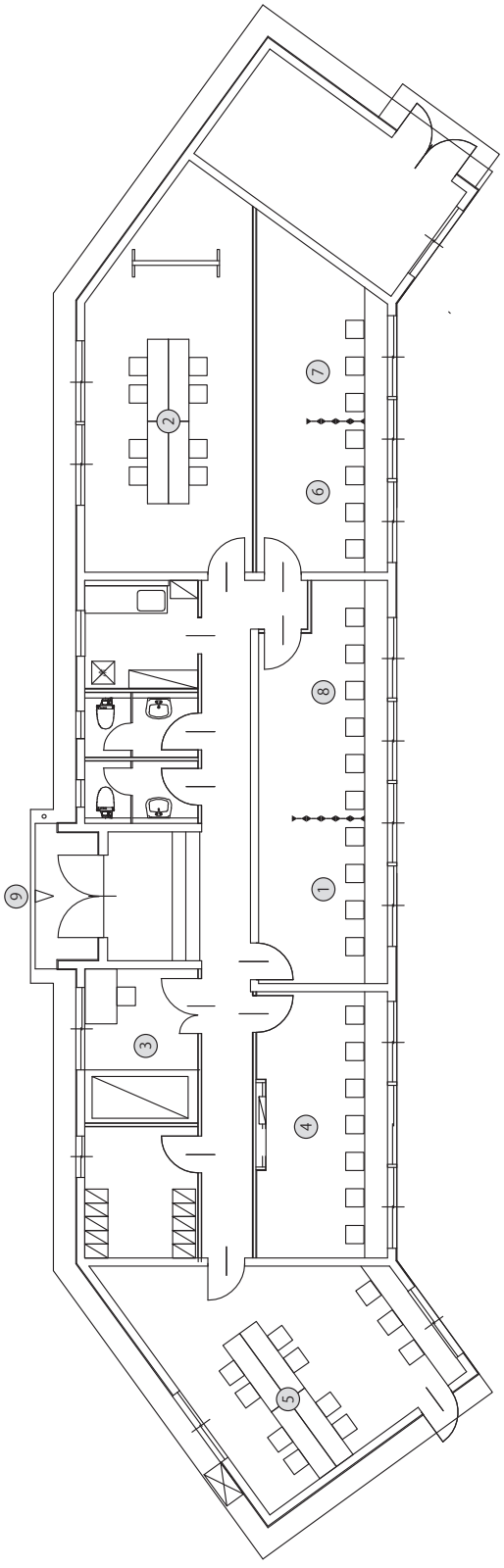
各会場配置図

F　六ヶ所村大石総合運動公園第三球場

NO	諸室名		
11	総合案内所	21	アップ会場
12	受付所	22	ふるまい所
13	競技会役員控所	23	ドリンクコーナー
14	競技会係員控所	24	休憩所
15	競技会補助員控所	25	輸送・交通本部
16	第二試合選手控所	26	消防・警備本部
17	弁当引換所	27	観客席
18	売店	28	アップ会場（選手控所）
19	ゴミ集積所	29	駐車場係員控所
20	喫煙所	30	アップ会場（係員控所）



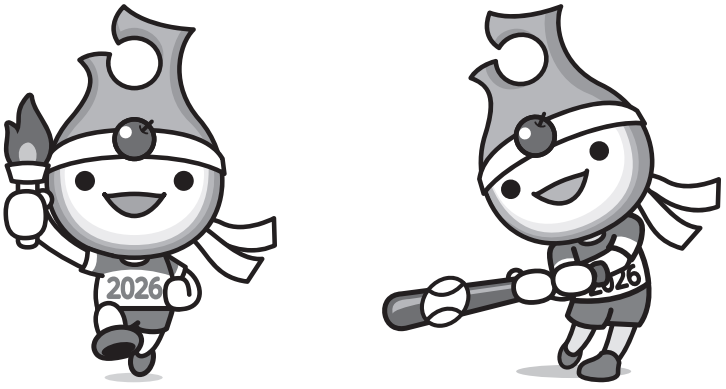
F　六ヶ所村大石総合運動公園第三球場



NO	諸室名
1	競技本部
2	実施本部
3	救護室
4	記録・放送室
5	審判員控室
6	来賓席
7	視察員席
8	競技役員室
9	オーダー交換所

軟式野球競技会

参加者名簿



翔けろ未来へ縄文の風に乗って
第80回国民スポーツ大会
青の煌(きら)めきあおもり国スポ2026

都道府県別参加人数一覧

No.	ブロック名	チーム数	都道府県	監督・選手数			総計
				監督		選手	
				専任	兼任		
1	北海道	1	北　海　道		(1)	16	**16**
2	東　北	3	岩　　手		(1)	16	**16**
3			秋　　田		(1)	16	**16**
4			福　　島		(1)	16	**16**
5	関　東	5	茨　　城		(1)	16	**16**
6			栃　　木		(1)	16	**16**
7			群　　馬		(1)	16	**16**
8			埼　　玉		(1)	16	**16**
9			千　　葉		(1)	16	**16**
10	北信越	4	新　　潟		(1)	16	**16**
11			長　　野		(1)	16	**16**
12			富　　山		(1)	16	**16**
13			石　　川	1	( )	15	**16**
14	東　海	3	静　　岡		(1)	16	**16**
15			愛　　知	1	( )	15	**16**
16			岐　　阜	1	( )	15	**16**
17	近　畿	4	滋　　賀		(1)	16	**16**
18			大　　阪		(1)	16	**16**
19			奈　　良		(1)	16	**16**
20			和　歌　山		(1)	16	**16**
21	中　国	3	岡　　山		(1)	16	**16**
22			広　　島		(1)	16	**16**
23			山　　口		(1)	16	**16**
24	四　国	2	徳　　島		(1)	16	**16**
25			高　　知		(1)	16	**16**
26	九　州	6	佐　　賀		(1)	16	**16**
27			長　　崎		(1)	16	**16**
28			熊　　本		(1)	16	**16**
29			大　　分		(1)	16	**16**
30			宮　　崎		(1)	16	**16**
31			鹿　児　島		(1)	16	**16**
32	開催県	1	青　　森		(1)	16	**16**
合　　計				**3**	**29**	**509**	**512**

監督・選手名簿

北海道	六花亭

No.	背番号	位置	氏名	フリガナ	年齢	所属
1	30	監督/捕手	上野　純輝	ウエノ　ジュンキ	29	(株)六花亭
2	10	内野手	神取　凛平	カミトリ　リンペイ	29	(株)六花亭
3	1	外野手	安藤　晃平	アンドウ　コウヘイ	28	(株)六花亭
4	3	外野手	高野　耀人	タカノ　アキト	31	(株)六花亭
5	4	内野手	黒澤　昂希	クロサワ　コウキ	26	(株)六花亭
6	5	内野手	宮澤　晃汰	ミヤザワ　コウタ	26	(株)六花亭
7	8	捕手	中屋　諒	ナカヤ　リョウ	25	(株)六花亭
8	9	内野手	英　翔平	ハナブサ　ショウヘイ	36	(株)六花亭
9	14	投手	將田　勝基	ショウダ　カツキ	24	(株)六花亭
10	17	投手	太田　流星	オオタ　リュウセイ	24	(株)六花亭
11	18	投手	信田　侑輝	ノブタ　ユウキ	27	(株)六花亭
12	19	内野手	福田　光輝	フクダ　コウキ	28	(株)六花亭
13	21	投手	多和田　真三郎	タワタ　シンサブロウ	32	(株)六花亭
14	27	外野手	髙木　和真	タカギ　カズマ	23	(株)六花亭
15	33	投手	鈴木　駿也	スズキ　シュンヤ	35	(株)六花亭
16	36	外野手	西野　遥斗	ニシノ　ハルト	23	(株)六花亭

※2026/4/1付け年齢

監督・選手名簿

青森県	オール青森

No.	背番号	位置	氏名	フリガナ	年齢	所属
1	30	監督/内野手	島下　　大	シマシタ　マサル	30	青い森信用金庫
2	10	内野手	尾崎　　真成	オザキ　マナル	30	青い森信用金庫
3	1	内野手	工藤　　飛馬	クドウ　ヒュウマ	26	東奥信用金庫
4	2	内野手	上崎　　彰吾	ウエザキ　ショウゴ	25	特定非営利活動法人 六ケ所村スポーツ協会
5	3	捕手	櫻田　　陽太	サクラダ　ヨウダイ	27	株式会社 青森みちのく銀行
6	5	外野手	横山　　凌斗	ヨコヤマ　リョウト	27	東奥信用金庫
7	7	外野手	工藤　　祐貴	クドウ　ユウキ	28	東奥信用金庫
8	8	外野手	田村　　優弦	タムラ　ユウゲン	29	青森ZIEL
9	11	投手	福井　　卓	フクイ　スグル	30	東奥信用金庫
10	12	内野手	桐山　　大空	キリヤマ　ソラ	22	青い森信用金庫
11	15	投手	五日市　駿貴	イツカイチ　シュンキ	34	株式会社 青森みちのく銀行
12	18	投手	松谷　　隼平	マツヤ　ジュンペイ	29	青森ZIEL
13	19	投手	蛯沢　　岳朗	エビサワ　タケアキ	25	特定非営利活動法人 六ケ所村スポーツ協会
14	23	投手	向井　　龍介	ムカイ　リュウスケ	25	特定非営利活動法人 六ケ所村スポーツ協会
15	24	外野手	種市　　義永	タネイチ　ヨシト	25	東奥信用金庫
16	27	捕手	福原　　朱理	フクハラ　シュリ	26	東奥信用金庫

※2026/4/1付け年齢

監督・選手名簿

岩手県	オール岩手

No.	背番号	位置	氏名	フリガナ	年齢	所属
1	30	監督/外野手	沖村　　啓太	オキムラ　ケイタ	34	株式会社あべはんグループ
2	10	投手	谷﨑　　周史	タニザキ　チカシ	28	盛岡信用金庫
3	0	内野手	橘　　廉	タチバナ　レン	32	株式会社あべはんグループ
4	1	外野手	岩崎　　流星	イワサキ　リュウセイ	28	盛岡信用金庫
5	2	内野手	遠藤　　安希登	エンドウ　アキト	23	盛岡信用金庫
6	3	外野手	佐々木　　歩希	ササキ　イブキ	23	盛岡信用金庫
7	5	内野手	星　　凌輔	ホシ　リョウスケ	27	株式会社北日本銀行
8	9	内野手	千葉　　愛斗	チバ　マナト	26	盛岡信用金庫
9	11	外野手	佐々木　　飛馬	ササキ　ヒュウマ	23	盛岡信用金庫
10	15	内野手	平賀　　康介	ヒラガ　コウスケ	25	盛岡信用金庫
11	16	投手	大西　　祥平	オオニシ　ショウヘイ	34	株式会社あべはんグループ
12	17	外野手	沼畑　　示心	ヌマハタ　シシン	25	株式会社あべはんグループ
13	18	捕手	伊藤　　一磨	イトウ　カズマ	28	盛岡信用金庫
14	19	投手	大向　　涼介	オオムカイ　リョウスケ	32	株式会社あべはんグループ
15	24	投手	遠藤　　那也	エンドウ　トモヤ	25	水沢信用金庫
16	25	捕手	工藤　　和宏	クドウ　カズヒロ	39	盛岡信用金庫

※2026/4/1付け年齢

監督・選手名簿

秋田県	JA全農あきた

No.	背番号	位置	氏名	フリガナ	年齢	所属
1	30	監督/内野手	浅野　高馬	アサノ　コウマ	36	全国農業協同組合連合会秋田県本部
2	10	外野手	阿部　涼平	アベ　リョウヘイ	29	全国農業協同組合連合会秋田県本部
3	1	外野手	阿部　航平	アベ　コウヘイ	22	全国農業協同組合連合会秋田県本部
4	2	捕手	加賀　竜太	カガ　リュウタ	34	全国農業協同組合連合会秋田県本部
5	3	捕手	千葉　天馬	チバ　テンマ	29	株式会社宮腰デジタルシステムズ
6	4	内野手	鈴木　健太	スズキ　ケンタ	29	株式会社宮腰デジタルシステムズ
7	6	外野手	伊藤　将志	イトウ　マサシ	26	株式会社宮腰デジタルシステムズ
8	7	内野手	高橋　夏南人	タカハシ　カナト	26	猿田興業株式会社
9	11	内野手	加賀　慎吾	カガ　シンゴ	32	全国農業協同組合連合会秋田県本部
10	16	投手	佐藤　創	サトウ　ソウ	22	全国農業協同組合連合会秋田県本部
11	17	投手	髙橋　大地	タカハシ　ダイチ	23	株式会社宮腰デジタルシステムズ
12	18	投手	山口　翔太	ヤマグチ　ショウタ	32	全農物流株式会社
13	22	投手	小柳　政彦	コヤナギ　マサヒコ	35	株式会社宮腰デジタルシステムズ
14	23	内野手	畠山　幸大	ハタケヤマ　コウタ	26	全国農業協同組合連合会秋田県本部
15	24	内野手	木村　優斗	キムラ　ユウト	22	全国農業協同組合連合会秋田県本部
16	25	外野手	加藤　真隆	カトウ　マサタカ	29	全国農業協同組合連合会秋田県本部

※2026/4/1付け年齢

監督・選手名簿

福島県	株式会社相双リテック

No.	背番号	位置	氏名	フリガナ	年齢	所属
1	30	監督/内野手	寺田　一貴	テラダ　カズキ	33	株式会社相双リテック
2	10	捕手	本田　幸輝	ホンダ　コウキ	31	株式会社相双リテック
3	1	投手	西山　伸之助	ニシヤマ　シンノスケ	28	株式会社相双リテック
4	2	内野手	畑　武蔵	ハタ　ムサシ	23	株式会社相双リテック
5	3	内野手	小泉　拓	コイズミ　タク	25	株式会社相双リテック
6	4	内野手	藁谷　怜桜	ワラガヤ　レオ	20	株式会社相双リテック
7	5	内野手	山崎　浩蔵	ヤマザキ　コウゾウ	24	株式会社相双リテック
8	6	内野手	松田　憲之朗	マツダ　ケンシロウ	25	株式会社相双リテック
9	7	外野手	鈴木　拓斗	スズキ　タクト	21	株式会社相双リテック
10	8	内野手	佐藤　大輝	サトウ　ダイキ	32	株式会社相双リテック
11	9	外野手	辻本　那智	ツジモト　ナチ	30	株式会社相双リテック
12	13	投手	渡邉　寮	ワタナベ　ツカサ	22	株式会社相双リテック
13	18	投手	谷地　亮輔	ヤチ　リョウスケ	22	株式会社相双リテック
14	19	投手	飯田　康成	イイダ　コウセイ	22	株式会社相双リテック
15	26	内野手	芳賀　智哉	ハガ　トモヤ	32	株式会社相双リテック
16	27	捕手	成田　大輝	ナリタ　ダイキ	25	株式会社相双リテック

※2026/4/1付け年齢

監督・選手名簿

茨城県	株式会社常陽銀行

No.	背番号	位置	氏名	フリガナ	年齢	所属
1	30	監督/内野手	豊島　賢人	トヨシマ　ヨシヒト	32	株式会社常陽銀行
2	10	外野手	村田　航大	ムラタ　コウダイ	29	株式会社常陽銀行
3	0	外野手	河原井　惇	カワライ　ジュン	32	株式会社常陽銀行
4	2	捕手	佐藤　史龍	サトウ　シリュウ	31	株式会社常陽銀行
5	6	内野手	有村　恒汰	アリムラ　コウタ	34	株式会社常陽銀行
6	7	内野手	富永　拓	トミナガ　タクミ	23	株式会社常陽銀行
7	8	外野手	萩谷　直斗	ハギヤ　ナオト	31	株式会社常陽銀行
8	9	外野手	五十嵐　健	イガラシ　ケン	28	株式会社常陽銀行
9	14	内野手	原田　大輝	ハラダ　ダイキ	31	株式会社常陽銀行
10	15	投手	岡崎　黎人	オカザキ　レイト	23	株式会社常陽銀行
11	19	投手	髙﨑　雄太	タカサキ　ユウタ	30	株式会社常陽銀行
12	21	投手	矢萩　陽一朗	ヤハギ　ヨウイチロウ	26	関彰商事株式会社
13	22	内野手	菊地　壮太	キクチ　ソウタ	24	株式会社常陽銀行
14	24	内野手	佐藤　敬幸	サトウ　タカユキ	32	日本原子力研究開発機構 原子力科学研究所
15	25	投手	松本　航輝	マツモト　コウキ	26	関彰商事株式会社
16	42	捕手	谷合　祐紀	タニアイ　ユウキ	23	株式会社常陽銀行

※2026/4/1付け年齢

監督・選手名簿

栃木県	足利赤十字病院

No.	背番号	位置	氏名	フリガナ	年齢	所属
1	30	監督/捕手	佐藤　史隆	サトウ　フミタカ	30	㈱栃木銀行
2	10	外野手	菊地　陽介	キクチ　ヨウスケ	27	日本赤十字社 足利赤十字病院
3	1	内野手	峰　圭哉	ミネ　ケイヤ	24	日本赤十字社 足利赤十字病院
4	2	投手	渡邊　聖塁	ワタナベ　サトル	24	日本赤十字社 足利赤十字病院
5	4	内野手	山城　紹史	ヤマシロ　ツギフミ	34	日本赤十字社 足利赤十字病院
6	7	内野手	家冨　晃遥	イエトミ　コウヨウ	24	日本赤十字社 足利赤十字病院
7	8	内野手	羽石　将英	ハネイシ　ショウエイ	24	㈱栃木銀行
8	9	外野手	平山　雄介	ヒラヤマ　ユウスケ	24	㈱栃木銀行
9	15	外野手	末松　浩由	スエマツ　ヒロヨシ	35	日本赤十字社 足利赤十字病院
10	16	投手	林　尚輝	ハヤシ　ナオキ	22	㈱栃木銀行
11	17	投手	新藤　将照	シンドウ　マサテル	35	日本赤十字社 足利赤十字病院
12	19	外野手	永澤　友也	ナガサワ　ユウヤ	38	日本赤十字社 足利赤十字病院
13	21	投手	赤羽根　陽向	アカバネ　ヒナタ	21	日本赤十字社 足利赤十字病院
14	24	捕手	萩谷　淳之介	ハギヤ　ジュンノスケ	25	日本赤十字社 足利赤十字病院
15	27	捕手	宮本　康平	ミヤモト　コウヘイ	38	日本赤十字社 足利赤十字病院
16	33	内野手	伊藤　篤	イトウ　アツシ	39	日本赤十字社 足利赤十字病院

※2026/4/1付け年齢

監督・選手名簿

群馬県	SDRS株式会社

No.	背番号	位置	氏名	フリガナ	年齢	所属
1	30	監督/内野手	中村　亮彦	ナカムラ　アキヒコ	32	SDRS株式会社
2	10	内野手	友岡　翔	トモオカ　ショウ	29	SDRS株式会社
3	1	外野手	猪俣　俊介	イノマタ　シュンスケ	24	SDRS株式会社
4	2	外野手	剣持　京右	ケンモチ　キョウスケ	24	ＪＡ全農ぐんま
5	4	外野手	吉原　俊貴	ヨシハラ　トシキ	32	ＪＡ全農ぐんま
6	5	内野手	小田桐　智哉	オダギリ　トモヤ	23	SDRS株式会社
7	7	内野手	高橋　将幸	タカハシ　マサユキ	27	SDRS株式会社
8	11	投手	佐藤　優人	サトウ　ユウト	27	SDRS株式会社
9	12	投手	静野　颯人	シズノ　ハヤト	24	ＪＡ全農ぐんま
10	17	投手	小畑　秀平	オバタ　シュウヘイ	29	SDRS株式会社
11	18	投手	佐藤　祐	サトウ　タスク	23	SDRS株式会社
12	19	外野手	經田　晃生	キョウダ　コウキ	26	SDRS株式会社
13	22	捕手	乾　翔悟	イヌイ　ショウゴ	24	SDRS株式会社
14	23	外野手	藤田　将史	フジタ　マサシ	28	SDRS株式会社
15	24	内野手	高田　修造	タカダ　シュウゾウ	22	SDRS株式会社
16	27	捕手	周藤　純	シュウトウ　ジュン	29	SDRS株式会社

※2026/4/1付け年齢

監督・選手名簿

埼玉県	株式会社旭製作所

No.	背番号	位置	氏名	フリガナ	年齢	所属
1	30	監督/内野手	伊藤　貴大	イトウ　タカヒロ	35	株式会社旭製作所
2	10	外野手	原　光貴	ハラ　ミツキ	26	株式会社旭製作所
3	1	外野手	星　憂芽	ホシ　ユウガ	22	株式会社旭製作所
4	2	外野手	古家　武	フルヤ　タケル	25	株式会社旭製作所
5	4	内野手	阿部　鳳稀	アベ　フウキ	25	株式会社旭製作所
6	5	内野手	土坂　建樹	ドサカ　タテキ	22	旭鋼管工業株式会社
7	7	捕手	東小橋川　大	アリコバシカワ　ダイ	25	株式会社旭製作所
8	8	内野手	濱田　優弥	ハマダ　ユウヤ	25	株式会社旭製作所
9	9	内野手	福井　駿	フクイ　シュン	24	株式会社旭製作所
10	11	投手	溝口　真矢	ミゾグチ　マサヤ	26	株式会社旭製作所
11	14	投手	平岩　康生	ヒライワ　コウセイ	25	旭鋼管工業株式会社
12	16	投手	須佐見　将馬	スサミ　ショウマ	30	株式会社旭製作所
13	20	投手	須貝　豪大	スガイ　タケヒロ	26	株式会社旭製作所
14	21	投手	大澤　魁生	オオサワ　カイセイ	27	朝霞市役所
15	22	捕手	間中　優人	マナカ　ユウト	25	旭鋼管工業株式会社
16	24	外野手	藤井　一輝	フジイ　カズキ	22	株式会社旭製作所

※2026/4/1付け年齢

監督・選手名簿

千葉県	AKIRA

No.	背番号	位置	氏名	フリガナ	年齢	所属
1	30	監督/捕手	久保田　勇眞	クボタ　ユウマ	33	AKIRA
2	10	外野手	藤井　一輝	フジイ　カズキ	32	AKIRA
3	1	外野手	安田　寿明	ヤスダ　トシアキ	29	AKIRA
4	2	捕手	小林　正季	コバヤシ　マサキ	25	AKIRA
5	4	外野手	岡本　拓哉	オカモト　タクヤ	36	AKIRA
6	5	内野手	森光　勇星	モリミツ　ユウセイ	29	AKIRA
7	6	内野手	西田　崇晃	ニシダ　タカアキ	34	AKIRA
8	7	外野手	森本　玲委也	モリモト　レイヤ	26	AKIRA
9	9	内野手	竹谷　翔吾	タケタニ　ショウゴ	28	AKIRA
10	17	投手	神頭　剛	カントウ　ツヨシ	26	AKIRA
11	18	投手	吉田　凌	ヨシダ　リョウ	28	AKIRA
12	21	投手	沖垣　泰史	オキガキ　タイシ	32	AKIRA
13	25	内野手	長島　汰平	ナガシマ　タイヘイ	22	AKIRA
14	36	内野手	久保田　碧人	クボタ　アオト	26	AKIRA
15	39	内野手	柏木　勇人	カシワギ　ユウト	22	AKIRA
16	47	投手	晒谷　貫太	サラシヤ　カンタ	22	AKIRA

※2026/4/1付け年齢

監督・選手名簿

新潟県	北陸ガス株式会社

No.	背番号	位置	氏名	フリガナ	年齢	所属
1	30	監督/内野手	田村　　昌大	タムラ　マサヒロ	33	北陸ガス株式会社
2	10	内野手	大橋　　駿太朗	オオハシ　シュンタロウ	25	北陸ガス株式会社
3	1	外野手	高橋　　瑛一朗	タカハシ　エイイチロウ	22	北陸ガスエンジニアリング株式会社
4	2	内野手	魚野　　虹旬	ウオノ　コウジュン	24	北陸ガスエンジニアリング株式会社
5	6	内野手	永井　　海斗	ナガイ　カイト	28	日本曹達株式会社
6	7	外野手	山田　　叶夢	ヤマダ　トム	25	北陸ガス株式会社
7	8	外野手	赤塚　　悠真	アカツカ　ユウマ	30	北陸ガス株式会社
8	9	内野手	髙野　　悠也	タカノ　ユウヤ	28	北陸ガス株式会社
9	14	投手	長谷川　　輝	ハセガワ　ヒカル	24	北陸ガス株式会社
10	18	投手	高井　　涼	タカイ　リョウ	28	北陸ガス株式会社
11	19	投手	佐久間　　拓弥	サクマ　タクミ	35	北陸ガス株式会社
12	21	投手	山田　　和樹	ヤマダ　カズキ	27	柏崎信用金庫
13	23	内野手	須坂　　一輝	スザカ　カズキ	35	北陸ガス株式会社
14	24	外野手	捧　　颯人	ササゲ　ハヤト	27	北陸ガス株式会社
15	27	捕手	宮嶋　　廉	ミヤジマ　レン	28	北陸ガス株式会社
16	28	捕手	笠原　　拓朗	カサハラ　タクロウ	24	JA魚沼

※2026/4/1付け年齢

監督・選手名簿

長野県	チームながの

No.	背番号	位置	氏名	フリガナ	年齢	所属
1	30	監督/外野手	大熊　慎也	オオクマ　シンヤ	32	ＪＡ長野厚生連長野松代総合病院
2	10	内野手	園田　大己	ソノタ　ヒロキ	32	ルビコン株式会社
3	0	外野手	保田　喜信	ヤスダ　ヨシノブ	23	ルビコン株式会社
4	1	内野手	今井　凛平	イマイ　リンペイ	26	ＪＡ長野厚生連長野松代総合病院
5	2	外野手	北原　拓未	キタハラ　タクミ	25	ルビコン株式会社
6	3	内野手	三澤　遥太	ミサワ　ハルタ	24	ルビコン株式会社
7	5	内野手	坂巻　智大	サカマキ　トモヒロ	31	ＪＡ長野厚生連佐久総合病院
8	7	外野手	高橋　昇己	タカハシ　ショウキ	27	ルビコン株式会社
9	14	内野手	遠藤　佑真	エンドウ　ユウマ	25	ルビコン株式会社
10	16	投手	織原　啓太郎	オリハラ　ケイタロウ	23	ルビコン株式会社
11	18	投手	本多　将吾	ホンダ　ショウゴ	31	株式会社ナガオカ製作所
12	19	投手	三澤　直也	ミサワ　ナオヤ	24	ルビコン株式会社
13	21	投手	八幡　宥喜	ヤハタ　ユウキ	29	ルビコン株式会社
14	22	捕手	大和久　竣矢	オオワク　シュンヤ	25	ルビコン株式会社
15	24	外野手	塚田　純平	ツカダ　ジュンペイ	25	ＪＡ長野厚生連長野松代総合病院
16	27	捕手	徳光　拓馬	トクミツ　タクマ	27	ＪＡ長野厚生連長野松代総合病院

※2026/4/1付け年齢

監督・選手名簿

富山県	武内プレス工業株式会社

No.	背番号	位置	氏名	フリガナ	年齢	所属
1	30	監督/内野手	河原　光	カワハラ　ヒカル	37	武内プレス工業株式会社
2	10	内野手	平石　誉	ヒライシ　ホマレ	29	武内プレス工業株式会社
3	1	外野手	黒田　俊斗	クロダ　シュント	26	武内プレス工業株式会社
4	4	内野手	横越　尚哉	ヨコゴシ　ナオヤ	23	武内プレス工業株式会社
5	5	内野手	横山　惇	ヨコヤマ　アツシ	23	武内プレス工業株式会社
6	6	内野手	菊地　康之介	キクチ　コウノスケ	24	武内プレス工業株式会社
7	8	内野手	影山　大輔	カゲヤマ　ダイスケ	21	武内プレス工業株式会社
8	9	内野手	成瀬　和希	ナルセ　カズキ	20	武内プレス工業株式会社
9	11	投手	廣川　竜太郎	ヒロカワ　リュウタロウ	23	武内プレス工業株式会社
10	12	捕手	細川　琉羽	ホソカワ　リュウハ	23	武内プレス工業株式会社
11	17	投手	高原　陽彩	タカハラ　ヒイロ	18	武内プレス工業株式会社
12	18	投手	須山　瑛史	スヤマ　アキフミ	27	武内プレス工業株式会社
13	22	投手	山本　利樹	ヤマモト　トシキ	30	武内プレス工業株式会社
14	24	外野手	福本　万真	フクモト　カズマ	25	武内プレス工業株式会社
15	25	外野手	藤岡　愛斗	フジオカ　マナト	20	武内プレス工業株式会社
16	27	捕手	布施　雄基	フセ　ユウキ	36	武内プレス工業株式会社

※2026/4/1付け年齢

監督・選手名簿

石川県	小松マテーレ株式会社

No.	背番号	位置	氏名	フリガナ	年齢	所属
1	30	監督	櫻谷　　大介	サクラダニ　ダイスケ	36	小松マテーレ株式会社
2	10	投手	吉原　　慈	ヨシハラ　シゲル	28	小松マテーレ株式会社
3	1	内野手	中村　　康汰	ナカムラ　コウタ	27	小松マテーレ株式会社
4	2	内野手	若宮　　颯	ワカミヤ　ハヤテ	26	小松マテーレ株式会社
5	4	内野手	清水　　舜也	シミズ　シュンヤ	24	小松マテーレ株式会社
6	5	内野手	竹村　　翼	タケムラ　ツバサ	24	小松マテーレ株式会社
7	6	内野手	大島　　陸哉	オオシマ　リクヤ	25	小松マテーレ株式会社
8	7	外野手	鯰田　　啓介	ナマズダ　ケイスケ	25	コマニー株式会社
9	9	外野手	大音　　壱汰	オオオト　イッタ	24	小松マテーレ株式会社
10	12	投手	小寺　　啓太	コデラ　ケイタ	23	コマニー株式会社
11	18	投手	西川　　英志	ニシカワ　エイジ	26	小松マテーレ株式会社
12	19	投手	大灘　　掛硫	オオナダ　カケル	25	小松マテーレ株式会社
13	21	外野手	有松　　和輝	アリマツ　カズキ	24	小松マテーレ株式会社
14	22	内野手	湯浅　　健史	ユアサ　ケンシ	21	小松マテーレ株式会社
15	26	捕手	井上　　直希	イノウエ　ナオキ	26	コマニー株式会社
16	27	捕手	西谷　　涼輔	ニシタニ　リョウスケ	24	小松マテーレ株式会社

※2026/4/1付け年齢

監督・選手名簿

静岡県	静岡ガス株式会社

No.	背番号	位置	氏名	フリガナ	年齢	所属
1	30	監督/内野手	望月　章至	モチヅキ　マサユキ	33	静岡ガス株式会社
2	10	内野手	堀　慶一朗	ホリ　ケイイチロウ	27	静岡ガス株式会社
3	1	外野手	榛村　大吾	シンムラ　ダイゴ	25	静岡ガス株式会社
4	2	捕手	内山　直哉	ウチヤマ　ナオヤ	26	静岡ガス株式会社
5	3	内野手	木村　聡司	キムラ　サトシ	29	静岡ガス株式会社
6	5	内野手	横田　光輝	ヨコタ　コウキ	28	静岡ガス株式会社
7	6	内野手	功刀　史也	クヌギ　フミヤ	23	静岡ガス株式会社
8	7	内野手	堀口　鳳士	ホリグチ　フウシ	23	静岡ガス株式会社
9	8	外野手	夏賀　貞伍	ナツガ　テイゴ	24	静岡ガス株式会社
10	9	外野手	相川　天河	アイカワ　テンガ	28	静岡ガス株式会社
11	11	投手	安藤　晋作	アンドウ　シンサク	32	静岡ガス株式会社
12	16	投手	先生　優成	センジョウ　ユウセイ	32	ＡＧＣテクノグラス株式会社
13	17	投手	堀内　琢斗	ホリウチ　タクト	22	静岡ガス株式会社
14	21	投手	竹内　武司	タケウチ　タケシ	30	静岡ガス株式会社
15	22	捕手	増田　来希	マスダ　ライキ	28	静岡ガス株式会社
16	27	外野手	石上　賢真	イシガミ　ケンシン	22	静岡ガス株式会社

※2026/4/1付け年齢

監督・選手名簿

愛知県	三京アムコ

No.	背番号	位置	氏名	フリガナ	年齢	所属
1	30	監督	鈴木　大介	スズキ　ダイスケ	46	三京アムコ株式会社
2	10	外野手	藤江　雄太	フジエ　ユウタ	27	三京アムコ株式会社
3	1	内野手	藤澤　朋輪	フジサワ　トワ	25	三京アムコ株式会社
4	2	捕手	佐藤　大輔	サトウ　ダイスケ	24	三京アムコ株式会社
5	3	外野手	松山　力汰	マツヤマ　リキタ	24	三京アムコ株式会社
6	4	内野手	山口　将気	ヤマグチ　マサキ	26	三京アムコ株式会社
7	6	内野手	吉野　弘晃	ヨシノ　ヒロアキ	25	三京アムコ株式会社
8	7	内野手	星野　真生	ホシノ　マオ	22	三京アムコ株式会社
9	8	外野手	鶴田　健心	ツルタ　ケンシン	24	三京アムコ株式会社
10	12	投手	山本　朔矢	ヤマモト　サクヤ	25	三京アムコ株式会社
11	15	投手	藤井　宗汰	フジイ　シュウタ	23	三京アムコ株式会社
12	19	投手	山本　淳貴	ヤマモト　ジュンキ	33	三京アムコ株式会社
13	21	投手	米庄　寛成	コメショウ　ヒロナリ	23	三京アムコ株式会社
14	22	捕手	小柳津　裕太	オヤイヅ　ユウタ	25	三京アムコ株式会社
15	31	内野手	牛島　翔紀	ウシジマ　ショウキ	26	三京アムコ株式会社
16	51	外野手	後藤　晃成	ゴトウ　コウセイ	25	三京アムコ株式会社

※2026/4/1付け年齢

監督・選手名簿

岐阜県	岐阜日野自動車株式会社

No.	背番号	位置	氏名	フリガナ	年齢	所属
1	30	監督	長谷川　清貴	ハセガワ　キヨタカ	37	岐阜日野自動車株式会社
2	10	内野手	堀江　渓太	ホリエ　ケイタ	27	岐阜日野自動車株式会社
3	1	内野手	鳥居　旺雅	トリイ　オウガ	23	岐阜日野自動車株式会社
4	2	内野手	此島　正晴	コノシマ　マサハル	25	岐阜日野自動車株式会社
5	3	内野手	村瀬　広拓	ムラセ　コウタク	25	岐阜信用金庫
6	8	外野手	出口　幹人	デグチ　カント	23	岐阜日野自動車株式会社
7	9	捕手	北村　龍樹	キタムラ　リュウキ	29	岐阜日野自動車株式会社
8	12	投手	平松　竜	ヒラマツ　リュウ	28	岐阜日野自動車株式会社
9	14	投手	瀬田　竜雅	セタ　リュウガ	25	岐阜日野自動車株式会社
10	17	外野手	富田　至温	トミダ　シオン	26	岐阜日野自動車株式会社
11	18	投手	棚橋　直哉	タナハシ　ナオヤ	24	岐阜日野自動車株式会社
12	19	投手	山口　恵悟	ヤマグチ　ケイゴ	20	サンメッセ株式会社
13	23	外野手	長尾　勇斗	ナガオ　ユウト	24	岐阜日野自動車株式会社
14	24	外野手	日下部　健太	クサカベ　ケンタ	29	岐阜日野自動車株式会社
15	25	外野手	佐藤　謙次朗	サトウ　ケンジロウ	29	サンメッセ株式会社
16	27	捕手	下野　翔矢	シモノ　ショウヤ	22	岐阜日野自動車株式会社

※2026/4/1付け年齢

監督・選手名簿

滋賀県	公益財団法人青樹会　滋賀八幡病院

No.	背番号	位置	氏名	フリガナ	年齢	所属
1	30	監督/外野手	西田　幸司	ニシダ　コウジ	47	公益財団法人青樹会 滋賀八幡病院
2	10	外野手	藤原　大輔	フジワラ　ダイスケ	26	公益財団法人青樹会 滋賀八幡病院
3	0	外野手	平田　蓮弥	ヒラタ　レンヤ	26	公益財団法人青樹会 滋賀八幡病院
4	1	内野手	山口　孔明	ヤマグチ　ミチアキ	28	公益財団法人青樹会 滋賀八幡病院
5	2	外野手	草野　昌哉	クサノ　マサヤ	25	公益財団法人青樹会 滋賀八幡病院
6	3	捕手	奥村　直道	オクムラ　ナオミチ	25	公益財団法人青樹会 滋賀八幡病院
7	5	内野手	高寺　真生	タカデラ　マオ	24	大津赤十字病院
8	7	内野手	國領　允哉	コクリョウ　マサヤ	26	公益財団法人青樹会 滋賀八幡病院
9	9	内野手	山本　大樹	ヤマモト　ダイキ	25	公益財団法人青樹会 滋賀八幡病院
10	14	投手	髙橋　力斗	タカハシ　リキト	24	公益財団法人青樹会 滋賀八幡病院
11	17	投手	太田　翔士	オオタ　ショウジ	24	公益財団法人青樹会 滋賀八幡病院
12	19	投手	岩永　幸大	イワナガ　コウタ	32	びわ湖ブルーエナジー 株式会社
13	21	投手	今西　優一	イマニシ　ユウイチ	30	公益財団法人青樹会 滋賀八幡病院
14	22	捕手	日比　一輝	ヒビ　カズキ	29	公益財団法人青樹会 滋賀八幡病院
15	25	外野手	上林　達也	カンバヤシ　タツヤ	34	愛荘町役場
16	27	内野手	森廣　拓夢	モリヒロ　タクム	24	大津赤十字 志賀病院

※2026/4/1付け年齢

監督・選手名簿

大阪府	大阪シティ信用金庫

No.	背番号	位置	氏名	フリガナ	年齢	所属
1	30	監督/内野手	西郷　遼平	サイゴウ　リョウヘイ	34	大阪シティ信用金庫
2	10	内野手	大原　伸也	オオハラ　シンヤ	44	大阪シティ信用金庫
3	1	内野手	田中　一馬	タナカ　カズマ	23	大阪シティ信用金庫
4	2	外野手	村居　尚磨	ムライ　ショウマ	28	大阪シティ信用金庫
5	3	外野手	森本　聖也	モリモト　セイヤ	24	大阪シティ信用金庫
6	4	内野手	米崎　薫暉	ヨネザキ　クンガ	22	大阪シティ信用金庫
7	6	内野手	上原　佑斗	ウエハラ　ユウト	24	大阪シティ信用金庫
8	7	捕手	木森　航大	キモリ　コウダイ	23	大阪シティ信用金庫
9	8	外野手	柴野　琉生	シバノ　ルイキ	24	大阪シティ信用金庫
10	9	外野手	黒田　祐成	クロダ　ユウセイ	31	大阪シティ信用金庫
11	14	投手	大橋　直也	オオハシ　ナオヤ	33	大阪シティ信用金庫
12	15	投手	上羽　一平	ウエバ　イッペイ	27	大阪シティ信用金庫
13	17	投手	日下　直之	クサカ　ナオユキ	30	大阪シティ信用金庫
14	18	投手	松岡　潤樹	マツオカ　ジュンキ	31	大阪シティ信用金庫
15	24	内野手	西林　幹貴	ニシバヤシ　モトキ	29	大阪シティ信用金庫
16	29	外野手	吉田　哲也	ヨシダ　テツヤ	41	大阪シティ信用金庫

※2026/4/1付け年齢

監督・選手名簿

奈良県	佐藤薬品工業株式会社

No.	背番号	位置	氏名	フリガナ	年齢	所属
1	30	監督/捕手	内田　吉信	ウチダ　ヨシノブ	27	佐藤薬品工業株式会社
2	10	内野手	中尾　友樹	ナカオ　トモキ	29	佐藤薬品工業株式会社
3	0	外野手	大西　哲哉	オオニシ　テツヤ	29	佐藤薬品工業株式会社
4	4	外野手	迫川　紗也	サコガワ　シャアヤ	26	佐藤薬品工業株式会社
5	5	内野手	阪井　遥斗	サカイ　ハルト	22	佐藤薬品工業株式会社
6	6	内野手	乾　斗空	イヌイ　トア	23	佐藤薬品工業株式会社
7	7	内野手	有田　球児	アリタ　キュウジ	28	佐藤薬品工業株式会社
8	8	内野手	毛利　有仁	モウリ　ユウト	22	佐藤薬品工業株式会社
9	9	外野手	山尾　拓摩	ヤマオ　タクマ	26	佐藤薬品工業株式会社
10	11	投手	齋藤　広晃	サイトウ　ヒロアキ	27	佐藤薬品工業株式会社
11	13	投手	位田　遼介	インデン　リョウスケ	25	佐藤薬品工業株式会社
12	15	投手	坂口　大誠	サカグチ　タイセイ	28	佐藤薬品工業株式会社
13	19	捕手	佐倉　康生	サクラ　コウセイ	24	佐藤薬品工業株式会社
14	21	投手	仲川　一平	ナカガワ　イッペイ	22	佐藤薬品工業株式会社
15	22	内野手	松内　涼	マツウチ　リョウ	33	佐藤薬品工業株式会社
16	24	内野手	廣田　健正	ヒロタ　ケンセイ	24	佐藤薬品工業株式会社

※2026/4/1付け年齢

監督・選手名簿

和歌山県	株式会社松源

No.	背番号	位置	氏名	フリガナ	年齢	所属
1	30	監督/投手	坂口　雅映	サカグチ　マサアキ	32	御坊市立御坊中学校(教)
2	10	捕手	宮崎　航大	ミヤザキ　コウダイ	25	株式会社松源
3	0	内野手	平林　怜	ヒラバヤシ　レイ	26	株式会社松源
4	1	内野手	宮井　佑輔	ミヤイ　ユウスケ	28	和歌山市消防局
5	2	外野手	渡部　純史	ワタベ　アツシ	27	株式会社松源
6	3	外野手	青木　雄大	アオキ　ユウダイ	27	株式会社松源
7	4	内野手	池島　主悦	イケシマ　チカラ	30	日本製鉄株式会社 関西製鉄所
8	5	内野手	山本　夕陽	ヤマモト　ユウヒ	25	株式会社松源
9	6	外野手	岸田　健太郎	キシダ　ケンタロウ	34	株式会社松源
10	7	外野手	臼井　光輝	ウスイ　コウキ	27	株式会社松源
11	8	内野手	蔵野　真隆	クラノ　マサタカ	26	株式会社魚源水産
12	9	内野手	谷口　嘉孝	タニグチ　ヨシタカ	32	JR西日本 電気テック株式会社
13	12	捕手	新谷　将	シンタニ　ショウ	33	京セラドキュメントソリューションズジャパン株式会社
14	15	投手	山口　修平	ヤマグチ　シュウヘイ	36	和歌山市消防局
15	17	投手	上平　悠生	ウエヒラ　ハルキ	29	株式会社土井建設
16	18	投手	松尾　大輝	マツオ　ダイキ	28	株式会社松源

※2026/4/1付け年齢

監督・選手名簿

岡山県	三菱自動車工業株式会社水島製作所

No.	背番号	位置	氏名	フリガナ	年齢	所属
1	30	監督/内野手	山内　光太郎	ヤマウチ　コウタロウ	27	岡山ガス株式会社
2	10	内野手	仲前　潤哉	ナカマエ　ジュンヤ	24	三菱自動車工業株式会社 水島製作所
3	0	外野手	田辺　希晃	タナベ　ノア	18	三菱自動車工業株式会社 水島製作所
4	1	内野手	川井　琉吾	カワイ　リュウゴ	24	三菱自動車工業株式会社 水島製作所
5	3	捕手	池上　正純	イケガミ　セイジュン	21	ENEOS株式会社 水島製油所
6	5	内野手	三澤　愛輝	ミサワ　アイキ	21	三菱自動車工業株式会社 水島製作所
7	7	内野手	大森　一輝	オオモリ　カズキ	26	三菱自動車工業株式会社 水島製作所
8	9	外野手	熊澤　光起	クマザワ　コウキ	26	三菱自動車工業株式会社 水島製作所
9	11	投手	池上　玄将	イケガミ　ゲンショウ	24	ENEOS株式会社 水島製油所
10	13	投手	木村　蒼	キムラ　アオイ	24	岡山ガス株式会社
11	15	投手	徳永　遥	トクナガ　ヨウ	21	三菱自動車工業株式会社 水島製作所
12	17	外野手	石井　沓抹	イシイ　トウマ	20	三菱自動車工業株式会社 水島製作所
13	20	投手	重光　泰志	シゲミツ　タイシ	19	三菱自動車工業株式会社 水島製作所
14	22	捕手	宮野　璃玖	ミヤノ　リク	19	三菱自動車工業株式会社 水島製作所
15	26	外野手	丸田　伊織	マルタ　イオリ	24	三菱自動車工業株式会社 水島製作所
16	29	投手	織田　恭典	オダ　キョウスケ	25	北興化学工業株式会社

※2026/4/1付け年齢

監督・選手名簿

広島県	造幣局広島支局

No.	背番号	位置	氏名	フリガナ	年齢	所属
1	30	監督/捕手	髙田　瑠星	タカタ　リュウキ	30	造幣局広島支局
2	10	外野手	小田原　彰里	オダハラ　ショウリ	28	造幣局広島支局
3	0	外野手	大江　啓彰	オオエ　ヨシアキ	27	広島ガステクノ・サービス株式会社
4	1	外野手	久木田　将太	クキタ　ショウタ	31	造幣局広島支局
5	2	内野手	石崎　祐哉	イシザキ　ユウヤ	25	造幣局広島支局
6	8	内野手	大見　遼	オオミ　リョウ	25	造幣局広島支局
7	11	投手	多賀　修平	タガ　シュウヘイ	27	造幣局広島支局
8	14	投手	竹邊　聖悟	タケベ　セイゴ	25	広島日野自動車株式会社
9	15	内野手	手島　郁斗	テシマ　イクト	22	造幣局広島支局
10	17	内野手	宮元　陽琉	ミヤモト　ハル	19	造幣局広島支局
11	18	投手	古屋　諒磨	フルヤ　リョウマ	23	造幣局広島支局
12	19	投手	浴本　一樹	エキモト　カズキ	25	広島日野自動車株式会社
13	20	外野手	西本　龍生	ニシモト　リュウセイ	26	造幣局広島支局
14	24	捕手	杉本　克成	スギモト　カツナリ	20	造幣局広島支局
15	25	内野手	吉永　尚矢	ヨシナガ　ナオヤ	27	広島ガス株式会社
16	26	内野手	谷口　悠人	タニグチ　ユウト	25	造幣局広島支局

※2026/4/1付け年齢

監督・選手名簿

山口県	三井金属彦島

No.	背番号	位置	氏名	フリガナ	年齢	所属
1	30	監督/外野手	常信　太一	ツネノブ　タイチ	28	山口産業株式会社
2	10	内野手	中嶋　陸人	ナカシマ　リクト	24	彦島製錬株式会社
3	0	捕手	寺坂　湖太郎	テラサカ　コタロウ	22	彦島製錬株式会社
4	2	内野手	益本　博正	マスモト　ヒロマサ	28	セントラル硝子株式会社 宇部工場
5	5	内野手	坂本　忍	サカモト　シノブ	25	彦島製錬株式会社
6	6	内野手	松本　知紘	マツモト　チヒロ	28	彦島製錬株式会社
7	7	内野手	原　健悟	ハラ　ケンゴ	26	彦島製錬株式会社
8	9	外野手	平尾　太一	ヒラオ　タイチ	25	彦島製錬株式会社
9	13	捕手	波夛　重成	ハタ　シゲナリ	22	セントラル硝子株式会社 宇部工場
10	14	投手	大田　翔夢	オオタ　ショウマ	22	セントラル硝子株式会社 宇部工場
11	17	投手	坪井　崚晟	ツボイ　リョウセイ	20	彦島製錬株式会社
12	18	投手	重村　丈一郎	シゲムラ　ジョウイチロウ	29	彦島製錬株式会社
13	23	外野手	宮原　武豊	ミヤハラ　タケト	25	彦島製錬株式会社
14	24	内野手	井藤　凌音	イトウ　リオト	19	彦島製錬株式会社
15	25	内野手	中嶋　風斗	ナカシマ　カザト	20	彦島製錬株式会社
16	99	外野手	刀根　海礼	トネ　ミライ	19	彦島製錬株式会社

※2026/4/1付け年齢

監督・選手名簿

徳島県	株式会社ユーセイホールディングス

No.	背番号	位置	氏名	フリガナ	年齢	所属
1	30	監督/外野手	冨士　佳資	フジ　ケイスケ	26	徳島県商工会連合会
2	10	外野手	高木　和弥	タカギ　カズヤ	33	(株)エイト日本技術開発
3	0	内野手	長友　真二	ナガトモ　シンジ	28	(株)ジェイテクト
4	1	内野手	横田　衛	ヨコタ　マモル	25	三和空調(株)
5	4	内野手	小川　直人	オガワ　ナオト	26	神山町役場
6	5	捕手	田口　嘉一	タグチ　カイチ	26	徳島赤十字病院
7	7	内野手	緒方　勝博	オガタ　タカヒロ	32	小松島市消防署
8	8	内野手	鎌田　航平	カマダ　コウヘイ	27	上板町役場
9	9	外野手	武市　進我	タケイチ　シンガ	25	日亜化学工業(株)
10	11	投手	三木田　雄輝	ミキタ　ユウキ	26	徳島赤十字病院
11	13	内野手	小林　誉幸	コバヤシ　モトユキ	38	富田製薬(株)
12	14	投手	富士　俊貴	フジ　トシキ	35	徳島日野自動車(株)
13	15	投手	安藝　智哉	アキ　トモヤ	25	上板町役場
14	16	投手	岩脇　大吾	イワワキ　ダイゴ	26	松茂町役場
15	18	投手	竹内　勇輝	タケウチ　ユウキ	24	日亜化学工業(株)
16	20	内野手	矢竹　将弥	ヤタケ　マサヤ	27	ほっとサービス(株)

※2026/4/1付け年齢

監督・選手名簿

高知県	旭食品株式会社

No.	背番号	位置	氏名	フリガナ	年齢	所属
1	30	監督/内野手	水口　想太	ミナクチ　ソウタ	27	旭食品株式会社
2	10	外野手	中内　勇喜	ナカウチ　ユウキ	25	旭食品株式会社
3	0	外野手	宮内　大輝	ミヤウチ　タイキ	24	旭食品株式会社
4	1	内野手	西本　歩夢	ニシモト　アユム	26	旭食品株式会社
5	3	内野手	武内　洋申	タケウチ　ヨウシン	33	武内農園
6	4	内野手	濱田　麟太郎	ハマダ　リンタロウ	25	北村商事株式会社
7	6	外野手	入野　皓大	イリノ　コウダイ	25	朝倉第二小学校(教)
8	7	捕手	島内　優成	シマノウチ　ユウセイ	25	旭食品株式会社
9	8	外野手	矢野　慶太	ヤノ　ケイタ	36	旭食品株式会社
10	9	内野手	吉村　蓮太	ヨシムラ　レンタ	24	旭食品株式会社
11	11	投手	北代　真二郎	キタダイ　シンジロウ	25	旭食品株式会社
12	12	投手	岡林　玲生	オカバヤシ　レン	22	株式会社片岡電気工業
13	14	投手	近澤　拓実	チカザワ　タクミ	23	旭食品株式会社
14	17	外野手	近澤　孝祐	チカザワ　コウスケ	25	旭食品株式会社
15	18	投手	山本　恭平	ヤマモト　キョウヘイ	33	旭食品株式会社
16	24	内野手	政岡　隆志	マサオカ　タカシ	33	株式会社高知新聞社

※2026/4/1付け年齢

監督・選手名簿

佐賀県	井手解体実業

No.	背番号	位置	氏名	フリガナ	年齢	所属
1	30	監督/内野手	古川　敬也	フルカワ　タカヤ	33	井手解体実業
2	10	外野手	木岡　大地	キオカ　ダイチ	26	井手解体実業
3	1	外野手	野田　優人	ノダ　ユウト	24	SBS三愛ロジスティックス
4	2	内野手	前田　大樹	マエダ　タイジュ	28	医療法人松籟会
5	3	外野手	布江　健人	ヌノエ　ケント	26	JAさが
6	4	内野手	中島　慎悟	ナカシマ　シンゴ	32	JAさが
7	6	内野手	飯隈　亮太	イイクマ　リョウタ	26	井手解体実業
8	7	内野手	藤本　倖介	フジモト　コウスケ	26	井手解体実業
9	8	外野手	早場　啓介	ソウバ　ケイスケ	36	JAさが
10	9	内野手	福井　一咲	フクイ　イッサ	22	JAさが
11	14	投手	中尾　将幸	ナカオ　マサユキ	32	井手解体実業
12	17	投手	中島　聖輝	ナカシマ　トシキ	25	JAさが
13	18	投手	山口　将太	ヤマグチ　ショウタ	32	SBS三愛ロジスティックス
14	19	投手	藤﨑　紹光	フジサキ　ツグミ	28	佐賀信用金庫
15	21	投手	稗田　龍之助	ヒエダ　リュウノスケ	28	医療法人松籟会
16	22	捕手	鶴田　都貴	ツルタ　ヒロキ	35	井手解体実業

※2026/4/1付け年齢

監督・選手名簿

長崎県	株式会社十八親和銀行

No.	背番号	位置	氏名	フリガナ	年齢	所属
1	30	監督/外野手	磯　　祐一郎	イソ　ユウイチロウ	35	株式会社十八親和銀行
2	10	内野手	有田　　旺司	アリタ　オウジ	25	株式会社十八親和銀行
3	2	外野手	草野　　青空	クサノ　ソラ	31	株式会社サニクリーン九州
4	6	内野手	山口　　優大	ヤマグチ　ユウダイ	32	株式会社十八親和銀行
5	7	外野手	水野　　航洋	ミズノ　コウヨウ	25	株式会社サニクリーン九州
6	9	内野手	高井　　航平	タカイ　コウヘイ	34	株式会社十八親和銀行
7	12	外野手	中田　　哲平	ナカタ　テッペイ	24	株式会社十八親和銀行
8	13	投手	栗山　　和高	クリヤマ　カズタカ	35	株式会社十八親和銀行
9	14	内野手	馬場　　健一朗	ババ　ケンイチロウ	27	株式会社サニクリーン九州
10	16	投手	森内　　麟太郎	モリウチ　リンタロウ	30	株式会社十八親和銀行
11	19	投手	鳥越　　大地	トリゴエ　ダイチ	30	株式会社十八親和銀行
12	22	捕手	鹿取　　慎太郎	カトリ　シンタロウ	23	株式会社十八親和銀行
13	24	内野手	大竹　　紘人	オオタケ　ヒロト	32	株式会社十八親和銀行
14	25	外野手	八戸　　塁	ヤエ　ルイ	25	株式会社十八親和銀行
15	26	捕手	奥田　　楓	オクダ　カエデ	30	株式会社サニクリーン九州
16	27	外野手	貫　　亮介	ヌキ　リョウスケ	30	株式会社十八親和銀行

※2026/4/1付け年齢

監督・選手名簿

熊本県	九電グループ熊本

No.	背番号	位置	氏名	フリガナ	年齢	所属
1	30	監督/内野手	井手　　裕人	イデ　ヒロト	45	九州電力株式会社
2	10	内野手	小野　　大夢	オノ　ヒロム	25	株式会社九電ハイテック
3	1	内野手	綾　　晃平	アヤ　コウヘイ	25	九州電力株式会社
4	2	外野手	齋藤　　隆盛	サイトウ　リュウセイ	21	株式会社九電送配サービス
5	3	内野手	中島　　裕介	ナカシマ　ユウスケ	36	九州電力株式会社
6	4	内野手	中島　　祥吾	ナカシマ　ショウゴ	26	熊本赤十字病院
7	5	捕手	小野　　隆也	オノ　リュウヤ	23	株式会社九電送配サービス
8	6	内野手	河野　　諒太	カワノ　リョウタ	24	九州電力株式会社
9	7	外野手	齋藤　　誠基	サイトウ　マサキ	26	株式会社クラフティア
10	8	外野手	野田　　侑	ノダ　アツム	23	九州電力株式会社
11	9	外野手	西村　　凌	ニシムラ　リョウ	25	九州電力株式会社
12	11	投手	寺尾　　光向汰	テラオ　ヒナタ	22	株式会社文尚堂
13	12	捕手	遠山　　彰吾	トウヤマ　ショウゴ	25	熊本赤十字病院
14	15	投手	小山　　雅斗	オヤマ　マサト	25	株式会社九電送配サービス
15	18	投手	西村　　隼	ニシムラ　ハヤト	23	昇建設株式会社
16	20	投手	木野　　桜嘉	キノ　オウガ	18	株式会社サニクリーン九州

※2026/4/1付け年齢

監督・選手名簿

大分県	オール大分

No.	背番号	位置	氏名	フリガナ	年齢	所属
1	30	監督/内野手	御手洗　孝史	ミタライ　タカシ	36	ＥＮＥＯＳ㈱大分製油所
2	10	内野手	合澤　柾人	アイザワ　マサト	27	ＥＮＥＯＳ㈱大分製油所
3	0	外野手	髙野　翔平	タカノ　ショウヘイ	33	㈱大分銀行
4	1	外野手	今宮　悠斗	イマミヤ　ハルト	24	ＥＮＥＯＳ㈱大分製油所
5	2	外野手	日髙　翔太	ヒタカ　ショウタ	24	JX金属製錬㈱ 佐賀関製錬所
6	4	内野手	荻本　一希	オギモト　カズキ	22	ＥＮＥＯＳ㈱大分製油所
7	6	内野手	平川　海斗	ヒラカワ　カイト	31	ＥＮＥＯＳ㈱大分製油所
8	8	内野手	松下　陽音	マツシタ　ハルト	19	ＥＮＥＯＳ㈱大分製油所
9	12	内野手	門脇　弘治	カドワキ　コウジ	30	ＥＮＥＯＳ㈱大分製油所
10	22	投手	松原　毅	マツバラ　タケシ	28	ＥＮＥＯＳ㈱大分製油所
11	24	外野手	安藤　健太	アンドウ　ケンタ	31	ＥＮＥＯＳ㈱大分製油所
12	25	捕手	二宮　力丸	ニノミヤ　リキマル	20	ＥＮＥＯＳ㈱大分製油所
13	29	内野手	飯塚　和茂	イイヅカ　カズシゲ	24	大分県信用農業協同組合連合会
14	34	投手	後藤　将太	ゴトウ　ショウタ	24	ＥＮＥＯＳ㈱大分製油所
15	66	投手	髙野　正斗	タカノ　マサト	29	㈱大分銀行
16	69	投手	並川　健也	ナミカワ　ケンヤ	28	ＣＲＡＳＵＳ ＣＨＥＭＩＣＡＬ

※2026/4/1付け年齢

監督・選手名簿

宮崎県	宮崎サニクリーン

No.	背番号	位置	氏名	フリガナ	年齢	所属
1	30	監督/外野手	小柳　翔太	コヤナギ　ショウタ	33	サニクリーン九州
2	10	外野手	前田　俊	マエダ　シュン	33	サニクリーン九州
3	1	内野手	前田　智也	マエダ　トモヤ	28	サニクリーン九州
4	2	外野手	田中　大翔	タナカ　ヒロト	21	特定医療法人　浩洋会 田中病院
5	4	内野手	上元　翼	カミモト　ツバサ	31	特定医療法人　浩洋会 田中病院
6	6	内野手	佐藤　大心	サトウ　タイシン	19	サニクリーン九州
7	7	内野手	黒原　尚輝	クロハラ　ナオキ	30	サニクリーン九州
8	9	外野手	今田　塊都	イマダ　カイト	27	特定医療法人　浩洋会 田中病院
9	11	投手	石原　圭人	イシハラ　ケイト	24	医療法人　建悠会 吉田病院
10	14	投手	近藤　悠太	コンドウ　ユウタ	36	サニクリーン九州
11	17	投手	谷口　碧	タニグチ　アオ	27	特定医療法人　浩洋会 田中病院
12	18	投手	柳田　亨	ヤナギタ　ススム	34	特定医療法人　浩洋会 田中病院
13	21	外野手	片平　真	カタヒラ　マコト	24	サニクリーン九州
14	22	捕手	松井　功太	マツイ　コウタ	32	医療法人　建悠会 吉田病院
15	23	捕手	泉　航輔	イズミ　コウスケ	22	特定医療法人　浩洋会 田中病院
16	25	内野手	前田　禎史	マエダ　ヨシフミ	28	特定医療法人　浩洋会 田中病院

※2026/4/1付け年齢

監督・選手名簿

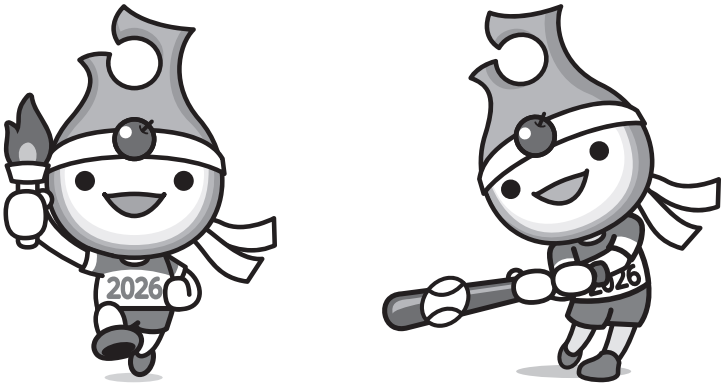
鹿児島県	鹿児島サニクリーン

No.	背番号	位置	氏名	フリガナ	年齢	所属
1	30	監督/内野手	泊　大輔	トマリ　ダイスケ	40	株式会社サニクリーン九州
2	10	外野手	林　健斗	ハヤシ　ケント	30	株式会社サニクリーン九州
3	0	内野手	菊池　佑弥	キクチ　ユウヤ	24	鹿児島相互信用金庫
4	1	外野手	池田　大志	イケダ　タイシ	30	株式会社サニクリーン九州
5	2	捕手	白橋　憲樹	シラハシ　ノリキ	29	株式会社サニクリーン九州
6	3	内野手	吉満　健太	ヨシミツ　ケンタ	28	(株)西別府弘組
7	6	内野手	長谷部　大器	ハセベ　ダイキ	28	鹿児島トランスポート株式会社
8	7	内野手	田中　佑大	タナカ　ユウダイ	26	株式会社サニクリーン九州
9	8	外野手	宮下　賢	ミヤシタ　ケン	26	鹿児島相互信用金庫
10	9	外野手	上栗　大聖	カミクリ　タイセイ	27	鹿児島相互信用金庫
11	11	投手	澤田　大樹	サワダ　タイキ	32	株式会社サニクリーン九州
12	16	投手	渡邊　雄大	ワタナベ　ユウダイ	28	鹿児島相互信用金庫
13	21	投手	相良　悠馬	サガラ　ユウマ	35	喜界町役場
14	24	外野手	福永　泰志	フクナガ　タイシ	30	株式会社サニクリーン九州
15	25	内野手	尾崎　裕太	オザキ　ユウタ	31	株式会社サニクリーン九州
16	27	捕手	平岡　考太	ヒラオカ　コウタ	30	鹿児島相互信用金庫

※2026/4/1付け年齢

軟式野球競技会

軟式野球競技の案内



翔けろ未来へ縄文の風に乗って
第80回国民スポーツ大会
青の煌(きら)めきあおもり国スポ2026

軟式野球競技の沿革

明治５年アメリカから伝わった野球は明治、大正を経てようやく盛んになり、大正４年開催された朝日新聞社の第１回全国中等学校優勝野球大会と、その後になって開催された毎日新聞社の春の全国選抜中等学校野球大会などが、全国の青少年に関心と刺激を与え少年の間で非常な勢いで盛んになった。この頃、硬式野球を行うまでに至らない少年たちはテニスボールなどによって野球を楽しんだが、軽くてスピード感が伴わないなどの欠陥があり、その後できたスポンジボールも打撃にたえず破損度が高いため次第にうすれてしまった。大正８年糸井浅次郎、鈴鹿栄両氏は少年に適し硬式のように危険がなく、しかも少年たちに野球の指導が容易にできるボールにしたい着想から研究努力した結果、現在使用されているボールが誕生し、少年野球の普及とともに一般大衆スポーツとしても急速に発展してきたのである。

昭和16年第２次世界大戦の勃発により一時中絶状態となったが、終戦を迎えた昭和20年に軟式野球愛好者たちが全国各地で軟式野球の復興に立ち上がり、昭和21年全日本軟式野球連盟を創立。同時に(財)日本体育協会(現公益財団法人日本スポーツ協会)に加盟し、占領下の混とんたる世情と物資欠乏のさ中、第１回全日本軟式野球大会(のちの天皇賜杯全日本軟式野球大会)が16チームの参加によって京都において開催された。この大会は敗戦の痛手から立ち上がろうとする国民１人１人の心に潤いを与え建設的意欲をもりたてたものというべく有意義な大会であった。なお、本大会は第１回国民体育大会軟式野球競技会と兼ねて開催された。翌年より国体とは別個開催し、全日本軟式野球大会は各都道府県代表各１チームの参加で行われるようになり、昭和２３年に天皇杯が下賜され、これを契機として軟式野球は発展の一途をたどり、昭和28年には文部省(現文部科学省)に財団法人認可を受け、確固たる組織のもと現在の全日本軟式野球連盟傘下チーム数は社会人チーム約20,000、少年チーム約6,500、学童チーム約10,000、大学協会、専門学校、還暦連盟、中体連の約100万人の競技人口である。

また、ボールにも改良が加えられ中空でない軟式ボールが誕生し、これを「準硬式」と呼び昭和25年から東西両日本において、それぞれ大会が開催された。昭和32年からすべての軟式野球人に全国大会に出場できる希望をあたえることによって、軟式野球の底辺拡大に大きな成果をもたらすことができるという目的で、Ｂ･Ｃ級を対象とした全国大会である高松宮賜杯全日本軟式野球大会(Ｂ級を一部、Ｃ級を二部と呼称)が開催された。天皇賜杯全日本軟式野球大会と本大会は現在も毎年一回全国各地で開催されている。昭和25年より東西両日本において開催されていた準硬式野球大会は全国的大会開催の要望によって昭和39年第15回大会をもって発展的解消し、昭和40年より常陸宮賜杯全日本準硬式野球大会として実施された。昭和45年には少年野球が組織化され、少年一部(高校生年齢層のクラブチーム)、少年二部(中学生年齢層のクラブチーム)、少年学童部(小学生年齢層のクラブチーム)の３部門にわかれ、全国各地でそれぞれ少年野球大会が開催されている他昭和50年からは少年二部による全日本少年軟式野球大会が開催された。昭和52年、使用球場が硬式野球と同じ扱いのためチームの練習会場、予選大会会場の確保などに困難をきたし、常陸宮賜杯全日本準硬式野球大会は第13回大会をもって中止した。昭和54年よりＢ･Ｃ級を対象とした東･西日本軟式野球大会(Ｂ級を一部、Ｃ級を二部と呼称)を開催。昭和56年、昭和50年から開催していた少年二部による全日本少年軟式野球大会に変わり学童部による全日本学童軟式野球大会が実施され、これにより学童の野球が非常に盛んになった。昭和59年度より少年二部の大会が復活し、新たに第１回全日本少年軟式野球大会として開催されることとなった。昭和63年、国民体育大会の軟式野球競技は一般社会人(成年の部)と少年一部(少年の部)が行われていたが、同年第43回京都国体より少年の部が廃止され、新たに成年一部、成年二部となった。また、学童大会は各都道府県代表のフルエントリーとし、高松宮賜杯全日本軟式野球大会を一部、二部分離して開催することとなった。平成元年、ＪＯＣに加盟。また、同年第44回北海道国体から成年一部、成年二部に加え壮年の部が創設され、別に規程された順位決定方法による合計点で天皇杯順位が決定されることとなった。平成６年より少年二部を少年と改称。平成７年、創立50周年を機に高円宮憲仁親王殿下を名誉総裁にお迎えし、平成９年第17回全日本学童軟式野球大会より高円宮賜杯が下賜された。Ａクラスの大会として平成９年より西日本選手権、平成10年より東日本選手権大会が新設された。平成11年度第54回熊本国体より種別の呼称を一般Ａ(従来の一部)、一般Ｂ(従来の二部)、成年(従来の壮年)と変更した。平成14年11月21日高円宮殿下のご逝去により、平成15年１月21日第二代の名誉総裁として憲仁親王妃久子殿下にご就任いただいた。平成17年より成年層の全国大会として日本スポーツマスターズに参加した。平成20年、国体改革2003により同年大分国体から成年男子の一種別開催となった。また、同年の第25回大会より全日本少年野球大会に文部科学大臣杯が授与された。平成２１年、平成２年第10回大会より茨城県水戸市で開催してきた高円宮賜杯全日本学童大会の開催地を第29回大会より東京都へ移した。平成22年より青少年育成及びジュニア強化を目的に少年部の新規大会として文部科学大臣杯全日本少年春季軟式野球大会を静岡県にて開催することとなった。

また、国の法人制度改革に伴い、移行認定を受けて平成24年1月４日、公益財団法人全日本軟式野球連盟として登記、新たなスタートを切った。平成25年４月、アマチュア野球の統括団体である一般財団法人全日本野球協会の設立に伴い加盟登録し、野球界のすそ野を支える団体として他団体との連携協力を図り事業運営を行うこととなった。

平成25年より女子野球の普及を目的に女子小学生を対象としたＮＰＢガールズトーナメントを一般社団法人日本野球機構との共催により開催することとなった。侍ジャパン女子日本代表チームの国際大会での活躍により女子学童球児の目標設定が具体化されますます女子野球の普及推進が求められている。平成28年より、女子中学生を対象とした全日本中学女子軟式野球大会を京都府にて開催することとなり、小学生から一般まで女子選手にとって各ステージにおける全国大会の場が整備された。

また、平成28年12月、２年に１度開催されるアジア野球連盟主催の第９回U-12アジア選手権大会において、全国の小学生登録選手で編成したU-12侍ジャパン日本代表が初優勝を達成した。

平成29年より、当該年度の東西選手権大会優勝チームおよび天皇賜杯大会の優秀チームを対象に軟式野球の普及振興、競技力向上を目的としたスポニチ杯全日本軟式野球大会を開催することとなった。

平成30年より、50歳以上のシニア層を対象とした全日本シニア軟式野球大会を岡山県で開催することとなった。

競　技　の　見　方

軟式野球競技は、ボールの材質の違いを除けば、硬式野球競技と同じルールで行われます。

現在、全日本軟式野球連盟へ登録された競技人口は約100万人ですが、更に多くの人々が軟式野球競技を楽しんでいることと思います。

軟式野球競技会は、成年男子の一種別で実施されています。

【成年男子】

国民スポーツ大会軟式野球競技会は天皇賜杯全日本軟式野球大会（年に一度開催される国内最高峰の軟式野球競技会）と並んで、全国のトップクラスのチームが一堂に会する競技会です。

本大会に出場する開催地の青森県代表チーム以外は、都道府県、ブロック予選を勝ち抜いて出場権を得るため、都道府県代表枠のある天皇賜杯大会よりも本大会出場は厳しいものとなっています。尚、出場するチームの選手は平成20年4月1日までに生まれた者です。

競 技 成 績 採 点 方 法

総合成績（天皇杯得点）は、競技得点と参加得点の合計とし、その得点の多い都道府県順に順位を決定する。

１．競技得点

天皇杯対象種別	競技得点
成年男子	１位64点、２位56点、３位48点、４位40点、５位32点、６位24点、７位16点、８位８点の競技得点を与える。 ただし、同順位の場合は、その順位を共有し、次の順位を欠位とする。 なお、得点については、次の順位のものを加え、当該都道府県で等分し、割り切れない場合は、小数第３位以下を切り捨てる。

２．参加得点

大会（ブロック大会を含む。）に参加した都道府県に10点を与える。ただし、ブロック大会で本大会の出場権を獲得しながら、本大会に参加しなかった場合は与えない。

栄　光　の　跡

［歴代優勝チーム］

回数	年度	開催地	一般軟式の部優勝チーム		一般準硬式の部優勝チーム	
1	昭和21年	京都府 大阪府 奈良県	岐阜県庁	岐阜県		
2	昭和22年	石川県	岐阜県庁	岐阜県		
3	昭和23年	福岡県	常磐産業 丸物物産 ※決勝雨天で不行	香川県 岐阜県		
4	昭和24年	東京都	富士製薬	愛知県		
5	昭和25年	愛媛県	伊予鉄道	愛媛県		
6	昭和26年	広島県	青森県庁	青森県		
7	昭和27年	宮城県 福島県 山形県	全生野	兵庫県		
8	昭和28年	愛媛県 香川県 徳島県 高知県	川崎市水道部	神奈川県		
9	昭和29年	北海道	鐘紡防府工場	山口県	日本専売公社徳島地方局	徳島県
10	昭和30年	神奈川県	大阪拘置所	大阪府	東北学院大学	宮城県
11	昭和31年	兵庫県	大孫起毛	愛知県	同志社大学	京都府
12	昭和32年	静岡県	商友クラブ	京都府	栗林商会	北海道
13	昭和33年	富山県	電々公社京都	京都府	井関農機	愛媛県
14	昭和34年	東京都	日本専売公社高崎地方局	群馬県	立正佼成球団	東京都
15	昭和35年	熊本県	西部ガス小倉支店	福岡県	山陽特殊製鋼ＫＫ	兵庫県
16	昭和36年	秋田県	名古屋相互銀行	愛知県	小野田セメント八幡工場	福岡県
17	昭和37年	岡山県	名古屋相互銀行	愛知県	ＰＬ東京	東京都
18	昭和38年	山口県	日本ジャスパー	宮崎県	協和発酵工業KK防府工場	山口県
19	昭和39年	新潟県	名古屋精糖	愛知県	株式会社河合楽器製作所	静岡県
20	昭和40年	岐阜県	千葉相互銀行	千葉県	鹿児島ダイハツ	鹿児島県
21	昭和41年	大分県	名古屋精糖	愛知県	丸善石油	千葉県
22	昭和42年	埼玉県	諏訪精工舎	長野県	本田技研	埼玉県
23	昭和43年	福井県	金沢電話局	石川県	洞海産業	福岡県
24	昭和44年	長崎県	厚木自動車部品KK	神奈川県	名古屋相互銀行	愛知県
25	昭和45年	岩手県	千葉相互銀行	千葉県	釜石体育協会	岩手県
26	昭和46年	和歌山県	玉村運輸倉庫ＫＫ	大阪府	丸善石油下津製油所	和歌山県
27	昭和47年	鹿児島県	ライト工業ＫＫ	東京都	鹿児島相互信用金庫	鹿児島県
28	昭和48年	千葉県	ライト工業ＫＫ	東京都	鷺宮製作所	埼玉県
29	昭和49年	茨城県	ライト工業ＫＫ	東京都	鷺宮製作所	埼玉県
30	昭和50年	三重県	新町役場 武内プレス工業KK ※決勝雨天で不行	群馬県 富山県	豊和工場	愛知県
31	昭和51年	佐賀県	ライト工業ＫＫ	東京都	伊万里少年軟式野球クラブ	佐賀県
32	昭和52年	青森県	ライト工業ＫＫ	東京都	三沢木崎野メッツ	青森県
33	昭和53年	長野県	帝通三協クラブ	長野県	三沢木崎野メッツ	青森県
34	昭和54年	宮崎県	専売鹿児島 チノン 千葉相互銀行 セントラル硝子宇部ソーダ工場野球部 ※決勝雨天で不行	鹿児島県 長野県 千葉県 山口県	千歳球友クラブ 日本冶金クラブ 松山クラブ" 伊万里少年軟式野球クラブ ※決勝雨天で不行	北海道 神奈川県 愛媛県 佐賀県
35	昭和55年	栃木県	岐阜日野自動車㈱	岐阜県	日本冶金クラブ	神奈川県

回数	年度	開催地	一般軟式の部優勝チーム		少年の部優勝チーム	
36	昭和56年	滋賀県	大津市役所	滋賀県	総社クラブ	岡山県
37	昭和57年	島根県	長野厚生連佐久総合病院	長野県	浜田クラブ	島根県
38	昭和58年	群馬県	長野厚生連佐久総合病院	長野県	茅野クラブ 桜江クラブ ※15回打ち切り両チーム優勝	長野県 島根県
39	昭和59年	奈良県	佐藤薬品工業株式会社	奈良県	総社クラブ	岡山県
40	昭和60年	鳥取県	三洋電機鳥取	鳥取県	緑が丘クラブ	鳥取県
41	昭和61年	山梨県	日本電気山梨工場	山梨県	都留かいじクラブ	山梨県
42	昭和62年	沖縄県	沖縄県経済連	沖縄県	茅野クラブ	長野県

回数	年度	開催地	成年１部優勝チーム		成年２部優勝チーム	
43	昭和63年	京都府	サンクス株式会社	愛知県	大阪市信用金庫	大阪府
44	平成元年	北海道	[一般]サンクス株式会社 [壮年]苫小牧市役所クラブ	愛知県 北海道	日精工場㈱	愛知県
45	平成２年	福岡県	[一般]大阪市信用金庫 [壮年]西高佛の里クラブ	大阪府 大分県	㈱西日本銀行	福岡県
46	平成３年	石川県	[一般]㈱京葉銀行 [壮年]金沢野球クラブ	千葉県 石川県	福島印刷㈱	石川県
47	平成４年	山形県	[一般]日本電気㈱山梨工場 [壮年]コオール駒ヶ根	山梨県 長野県	香寺クラブ	兵庫県
48	平成５年	香川県 徳島県	[一般]徳島すだちクラブ [壮年]徳島フォーティー	徳島県 徳島県	香川オリーブ野球クラブ	香川県
49	平成６年	愛知県	[一般]三洋電機㈱洲本 [壮年]オール京都	兵庫県 京都府	大森石油	愛知県
50	平成７年	福島県	[一般]大阪市信用金庫 [壮年]オール福島	大阪府 福島県	サンワード貿易	北海道
51	平成８年	広島県	[一般]大阪市信用金庫 [壮年]静岡クラブ	大阪府 静岡県	南豊田病院	愛知県
52	平成９年	大阪府	[一般]三洋電機㈱洲本 [壮年]三田尻病院クラブ	兵庫県 山口県	鹿児島相互信用金庫	鹿児島県
53	平成10年	神奈川県	[一般]太陽信用金庫 [壮年]川崎クラブ	東京都 神奈川県	湘南信用金庫	神奈川県

回数	年度	開催地	一般A		一般B		成年	
54	平成11年	熊本県	テルウェル九州	熊本県	本田技研熊本	熊本県	ポット・ベリー	熊本県
55	平成12年	富山県	㈱京葉銀行	千葉県	江守商事㈱	福井県	川崎クラブ	神奈川県
56	平成13年	宮城県	静岡ガス	静岡県	北陸流通㈱	富山県	山口県選抜	山口県
57	平成14年	高知県	佐川急便中京	愛知県	JA北いしかり	北海道	佐賀クラブ	佐賀県
58	平成15年	静岡県	大森石油	愛知県	ホンダ浜松	静岡県	苫小牧市役所クラブ	北海道
59	平成16年	埼玉県	青樹会病院	滋賀県	濃飛西濃運輸㈱	岐阜県	オール千葉	千葉県
60	平成17年	岡山県	三木クラブ	香川県	筑波病院	茨城県	山口クラブ	山口県
61	平成18年	兵庫県	兵庫選抜	兵庫県	博愛病院	大分県	兵庫選抜	兵庫県
62	平成19年	秋田県	鳥取三洋電機	鳥取県	スーパードラゴンズ	京都府	山口県選抜	山口県

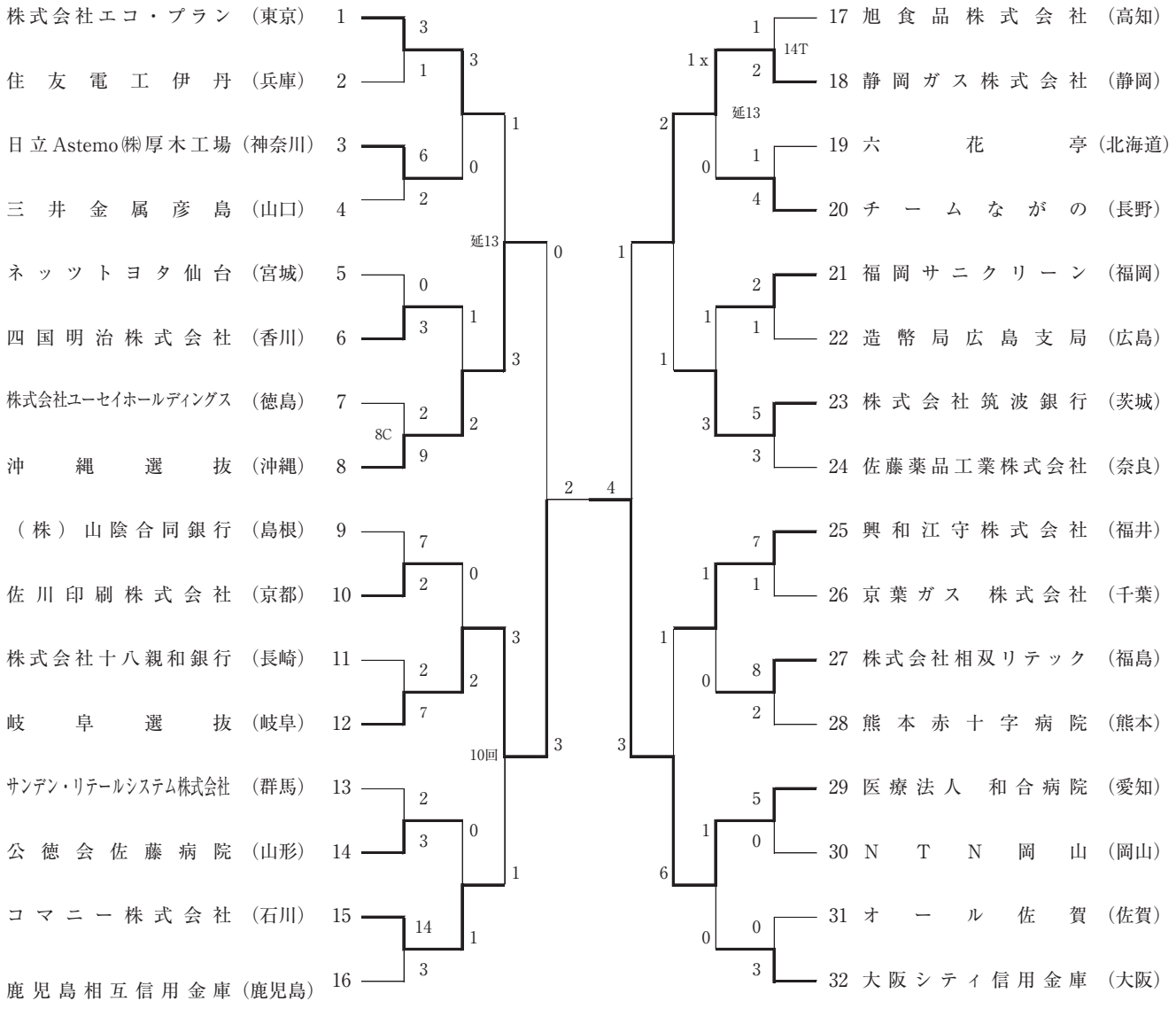
回数	年度	開催地	成年男子	
63	平成20年	大分県	株式会社京葉銀行	千葉県
64	平成21年	新潟県	日亜鋼業株式会社	兵庫県
65	平成22年	千葉県	松戸市役所	千葉県
			佐川印刷株式会社	京都府
66	平成23年	山口県	株式会社ニッセイ	愛知県
67	平成24年	岐阜県	株式会社ニッセイ	愛知県
68	平成25年	東京都	大阪市信用金庫	大阪府
69	平成26年	長崎県	旭鋼管工業株式会社	埼玉県
70	平成27年	和歌山県	パイオニア株式会社	埼玉県
71	平成28年	岩手県	日立オートモティブシステムズ㈱厚木事業所	神奈川県
72	平成29年	愛媛県	医療法人和合病院	愛知県
73	平成30年	福井県	大阪シティ信用金庫	大阪府
74	令和元年	茨城県	医療法人和合病院	愛知県
75	令和２年		大会中止	
76	令和３年		大会中止	
77	令和４年	栃木県	沖縄選抜	沖縄県
特別	令和５年	鹿児島県	医療法人和合病院	愛知県
78	令和６年	佐賀県	株式会社相双リテック	福島県
79	令和７年	滋賀県	株式会社スリーボンド	東京都

［特 別 大 会］

期日：2023年10月13日（金）～10月16日（月）

会場：鹿児島県＝鹿児島市・日置市・薩摩川内市・出水市

【成年男子】



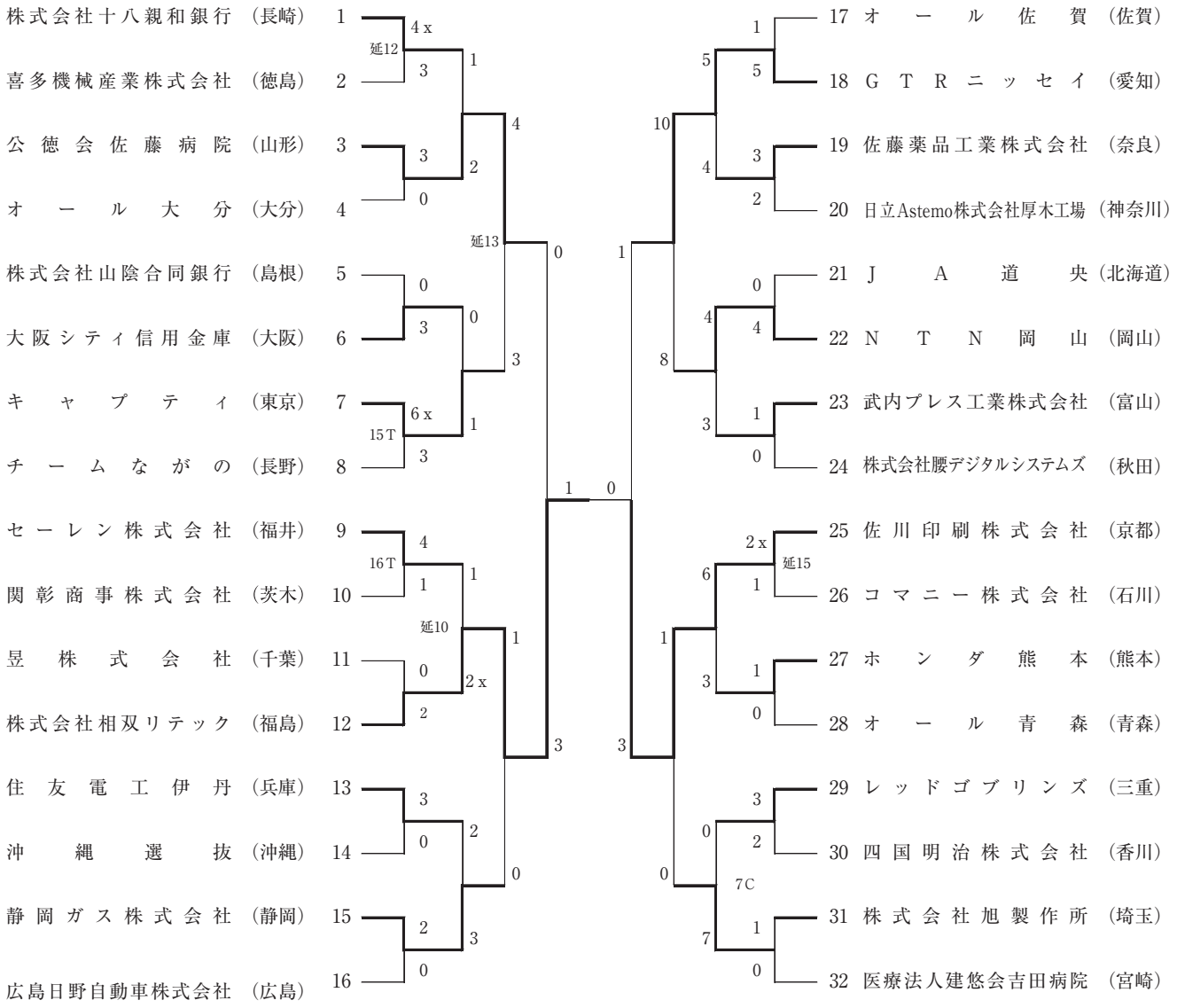
総合成績（天皇杯得点）		
1 位	愛 知 県	74点
2 位	岐 阜 県	66点
3 位	静 岡 県	58点
4 位	沖 縄 県	50点
5 位	東 京 都	42点
6 位	福 井 県	34点
7 位	石 川 県	26点
8 位	茨 城 県	18点

［第78回大会］

期日：2024年10月10日（木）～10月14日（月）

会場：佐賀県＝唐津市・伊万里市・武雄市・鹿島市・嬉野市・有田町

【成年男子】



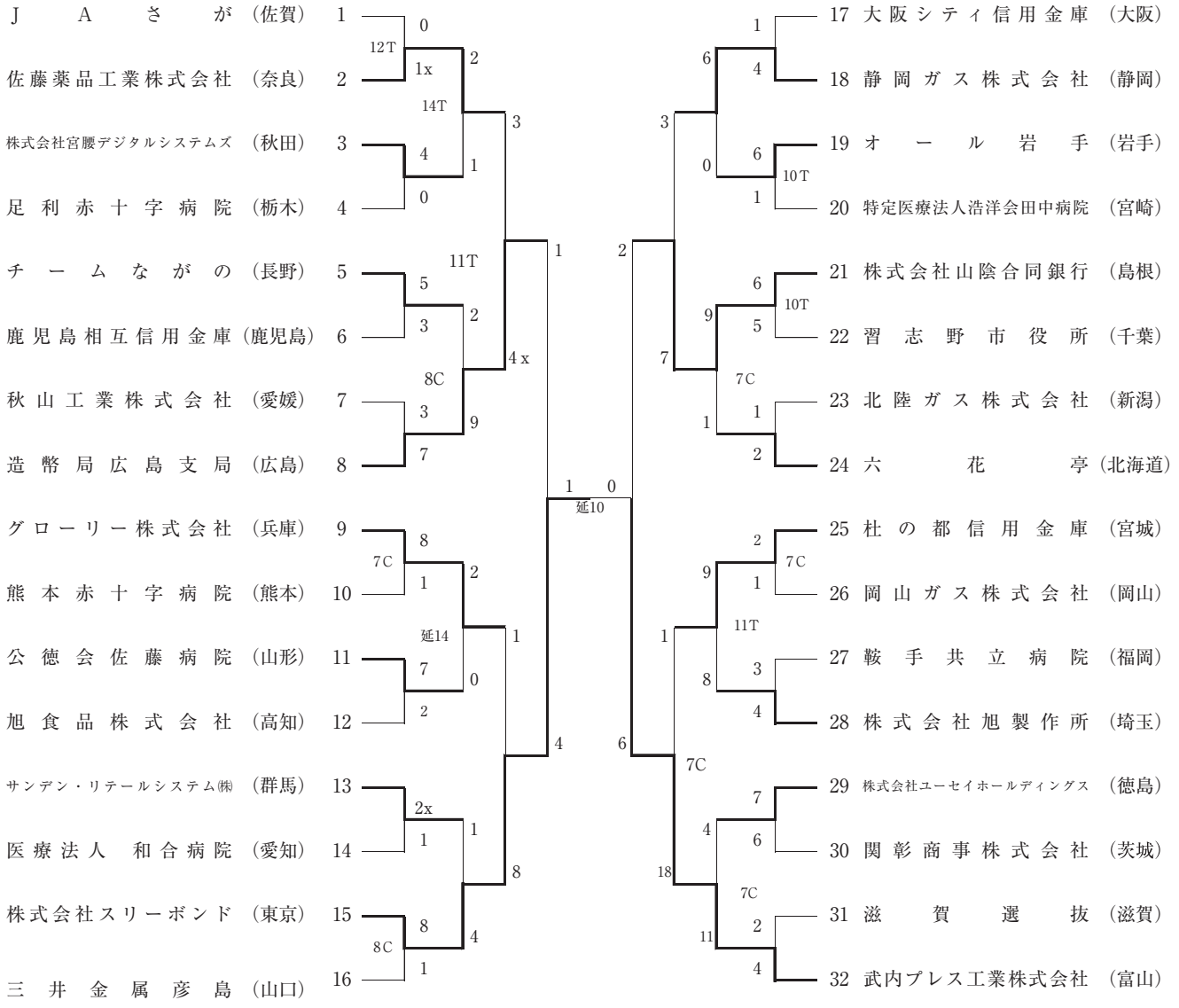
総合成績（天皇杯得点）		
1　位	福　島　県	74点
2　位	京　都　府	66点
3　位	愛　知　県	58点
4　位	山　形　県	50点
5　位	東　京　都	42点
6　位	岡　山　県	34点
7　位	静　岡　県	26点
8　位	埼　玉　県	18点

［第79回大会］

期日：2025年10月4日（土）～10月7日（火）

会場：滋賀県＝東近江市・甲賀市・草津市・守山市・日野町・近江八幡市

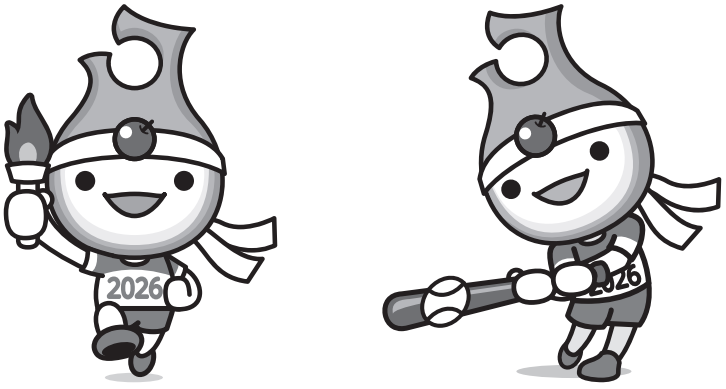
【成年男子】



総合成績（天皇杯得点）		
1　位	東　京　都	74点
2　位	富　山　県	66点
3　位	島　根　県	58点
4　位	広　島　県	50点
5　位	静　岡　県	42点
6　位	奈　良　県	34点
7　位	兵　庫　県	26点
8　位	宮　城　県	18点

軟式野球競技会

関係機関連絡先



翔けろ未来へ縄文の風に乗って
第80回国民スポーツ大会
青の煌(きら)めきあおもり国スポ2026

競技会関係連絡先一覧

◆競技会場

	競技会場名	電話番号	所在地
A	ダイシンベースボールスタジアム （青森市営野球場）	017－744－7755	〒030－0902 青森市合浦二丁目14番53号
B	青森県営野球場	017－766－1241	〒038－0021 青森市大字安田字近野234番地7
C	三沢市民運動広場野球場	0176－51－1235 （三沢市実行委員会）	〒033－0022 三沢市三沢下沢83番地56号
D	六戸町総合運動公園野球場	0176－55－4587 （六戸町実行委員会）	〒039－2371 上北郡六戸町大字犬落瀬字下久保174番地1
E	おいらせ町下田公園野球場	0178－56－5255 （管理施設：農村環境改善センター）	〒039－2111 上北郡おいらせ町西後谷地30番地1
F	六ヶ所村大石総合運動公園第三球場	0175－72－8173 （六ヶ所村実行委員会）	〒039－3212 上北郡六ヶ所村大字尾駮字野附521番地1

※大会会期中以外は各市町村実行委員会事務局へご連絡ください。

◆監督会議会場

会　場　名	電話番号	ＦＡＸ番号	所在地
アップルパレス青森	017－723－5600	017－723－4255	〒030－0802 青森市本町五丁目1番5号

◆実行委員会事務局

会　場　名	電話番号	ＦＡＸ番号	所在地
青の煌めきあおもり国スポ・障スポ 青森市実行委員会事務局	017－761－4478	017－761－4489	〒038－8505 青森市柳川二丁目１番１号
青の煌めきあおもり国スポ・障スポ 三沢市実行委員会事務局	0176－51－1235	0176－53－2266	〒033－0011 三沢市幸町三丁目11番５号 （三沢市総合社会福祉センター内）
青の煌めきあおもり国スポ 六戸町実行委員会事務局	0176－55－4587	0176－55－5405	〒039－2371 上北郡六戸町大字犬落瀬字前谷地61番地
青の煌めきあおもり国スポ・障スポ おいらせ町実行委員会事務局	0178－56－4276	0178－56－4268	〒039－2289 上北郡おいらせ町上明堂60番６号
青の煌めきあおもり国スポ 六ヶ所村実行委員会事務局	0175－72－8173	0175－72－2246	〒039－3212 上北郡六ヶ所村大字尾駮字野附478番地２

◆競技団体事務局

会　場　名	電話番号	ＦＡＸ番号	所在地
（公財）全日本軟式野球連盟事務局	03－3404－8831	03－3479－2523	〒151－0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷四丁目27番7号

医療機関情報

厚生労働省システム「医療情報ネット（ナビイ）」

【ＨＰ】https://www.iryou.teikyouseido.mhlw.go.jp

※大会会期中は競技会場の救護所でもご案内いたしますので、お問合せください。
（大会会期中以外は各市町村実行委員会事務局（前頁参照）へご連絡ください。）



JSPO
Japan Sport Association

スポーツと、望む未来へ。

わたしたちは、JAPAN GAMES を応援しています。

Otsuka 大塚製薬　MIZUNO　三井住友海上 MS&AD INSURANCE GROUP

セレスポ　時事通信



『スポハラ（スポーツ・ハラスメント）』とは？

「スポハラ（スポーツ・ハラスメント）」とは、スポーツの現場において、「暴力」、「暴言」、「ハラスメント」、「差別」など“安全・安心にスポーツを楽しむことを害する行為”のことです。

指導者と指導を受ける者との関係のみならず、スポーツの現場における関係者の誰によっても、また誰に対してであっても、スポハラは起こりえます。

JSPO Japan Sport Association　TEAM JAPAN Japanese Olympic Committee　JPSA　UNIVAS

JSPO
Japan Sport Association

スポーツにおける暴力行為等相談窓口



どなたでもご利用可能！

お気軽にご相談ください

「スポハラ」をなくすためには

「いかなる理由でも、指導者・コーチによる不適切な行為はあってはならない」

とスポーツに携わるすべての人が思うことが重要です。

スポーツにおける暴力行為等根絶宣言・スポーツ・インテグリティ確保に関する協力覚書≫≫

JSPO
Japan Sport Association

JSPO事業概要パンフレット「スポーツと、望む未来へ。」≫≫

『スポハラ』根絶に向けた取組み

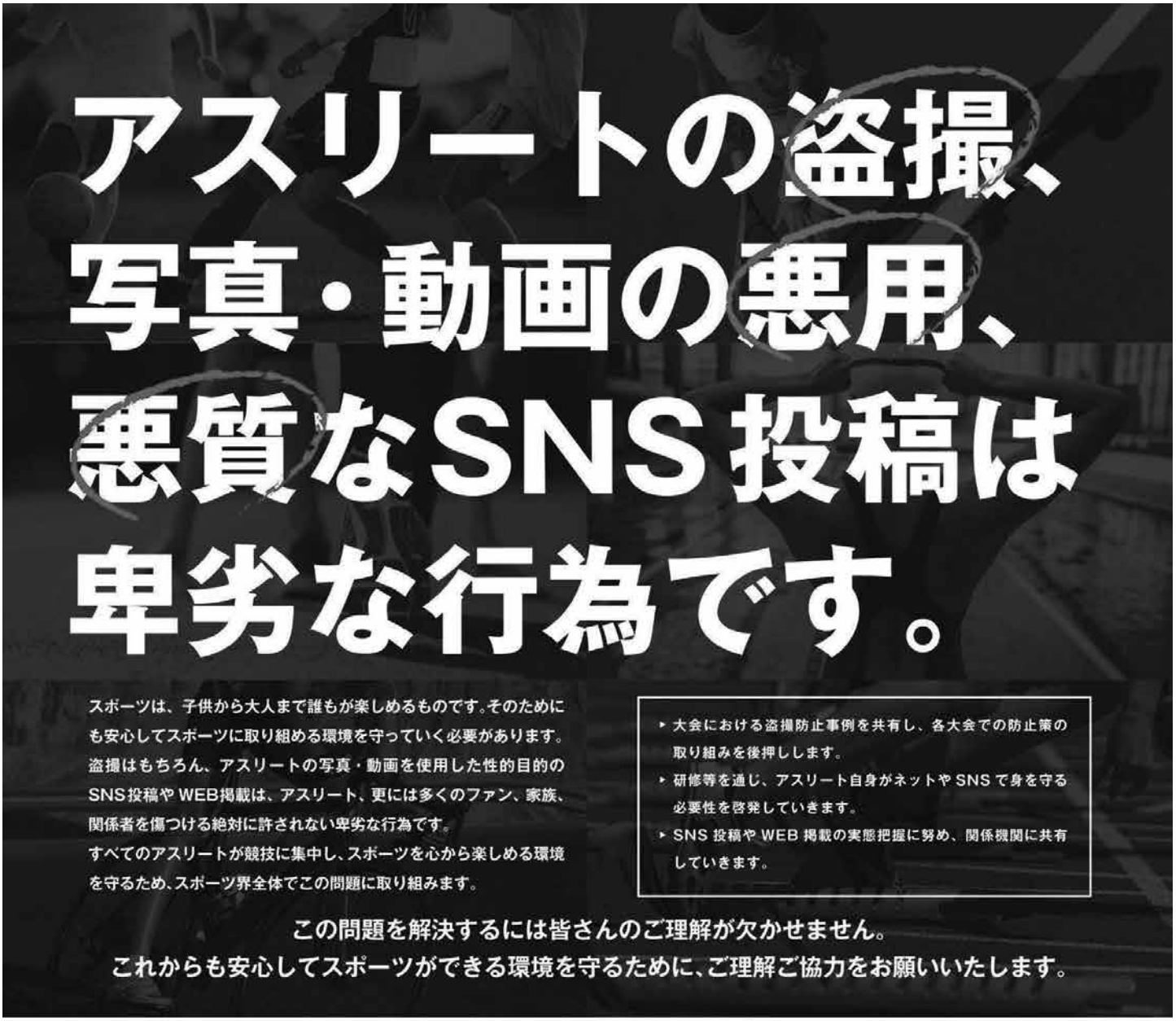
JSPO
Japan Sport Association

① 教材・動画の公開



② 普及啓発活動の実施・イベントの開催





アスリートの盗撮、写真・動画の悪用、悪質なSNS投稿は卑劣な行為です。

スポーツは、子供から大人まで誰もが楽しめるものです。そのためにも安心してスポーツに取り組める環境を守っていく必要があります。
盗撮はもちろん、アスリートの写真・動画を使用した性的目的のSNS投稿やWEB掲載は、アスリート、更には多くのファン、家族、関係者を傷つける絶対に許されない卑劣な行為です。
すべてのアスリートが競技に集中し、スポーツを心から楽しめる環境を守るため、スポーツ界全体でこの問題に取り組みます。

- 大会における盗撮防止事例を共有し、各大会での防止策の取り組みを後押しします。
- 研修等を通じ、アスリート自身がネットやSNSで身を守る必要性を啓発していきます。
- SNS投稿やWEB掲載の実態把握に努め、関係機関に共有していきます。

この問題を解決するには皆さんのご理解が欠かせません。
これからも安心してスポーツができる環境を守るために、ご理解ご協力をお願いいたします。

安全な環境を、すべてのスポーツ愛好者のために。
SAVE ATHLETES, SAVE SPORT.

大会会場で盗撮等が疑われる行為を見かけましたら大会主催者にお知らせください。

アスリートを傷つける性的目的のSNS投稿やWEB掲載を見かけましたら下記サイトよりご連絡ください。
今後の対応に活用するとともに、悪質な事例については当局への通報も検討します。

https://www.joc.or.jp/about/savesport/

- 盗撮は迷惑防止条例で犯罪として処罰される可能性があります。
- SNS等で本人の名誉を傷つける書き込みは犯罪（名誉毀損罪）として処罰される可能性があります。
- 匿名による投稿であっても、法的手続により、投稿者が特定され、損害賠償請求の対象になる可能性があります。

公益財団法人 日本オリンピック委員会　公益財団法人 日本スポーツ協会　公益財団法人 日本障がい者スポーツ協会　一般社団法人 大学スポーツ協会
公益財団法人 全国高等学校体育連盟　公益財団法人 日本中学校体育連盟　独立行政法人 日本スポーツ振興センター

FAIR PRIDE

勝利を超える価値がある

私たちは信じる。

正々堂々と競いあう潔さを。

相手をリスペクトすることで生まれる友情や感動を。

まっすぐ挑戦しつづける、そこに、

自分や、仲間や、社会さえ変える力があることを。

さあ、すべては、私たちの中にある

フェアネスの心からはじまる。

スポーツのフェアネスが、社会のフェアネスを支えるために。

JADA PLAY TRUE Japan Anti-Doping Agency

青の煌めきあおもり国スポ 2026 翔ける未来へ縄文の風に乗って 第80回国民スポーツ大会

公益財団法人 日本アンチ・ドーピング機構

スポーツ庁委託事業

Copyright © JAPAN Anti-Doping Agency All Rights Reserved.

Ver.201903

2026年　公益財団法人 全日本軟式野球連盟公認メーカー
日 本 軟 式 野 球 用 具 商 工 会

大会の思い出をパネル・アルバムに．．．
撮影・制作 株式会社 共同写真企画
OSAKA・TOKYO・FUKUOKA・NAGOYA

REWARD

Photo Create 大会撮影
感動をカタチにしてすべての人へ

G-FORM Vorteka Co.,Ltd.
ボルテカ株式会社

Slugger KUBOTA BASEBALL 株式会社 久保田運動具店

Wilson | DEMARINI | EVOSHIELD | LOUISVILLE

www.mizuno.co.jp MIZUNO

SSK
sskbaseball.com

SSP 株式会社 SSプロダクト
TEL&FAX: 050-1546-4822
E-MAIL: ssp_hata@ybb.ne.jp

CONTRIBUTE
Character goods Producing Company for the All Supporters
大会記念品製造販売メーカー
株式会社コントリビュート
http://www.contribute.bz/

xanax 株式会社ザナックス

Rawlings EASTON

NAIGAI BASEBALL

Hi-Gold

MARUSBALL マルエスボール

DESCENTE MoveSport

KENKO BALL
www.nagase-kenko.com

SAFETY K8 KKT コクサイ株式会社
〒339-0022 埼玉県岩槻市高曽根732－1

www.
top-ball.co.jp TOP-BALL
トップインターナショナル株式会社

NIPPON SHAFT
日本シャフト株式会社

野球・ソフトボール用バット製造
Spark HAKUSOH 株式会社 白惣
www.hakusoh.com

SAKURAI 株式会社 サクライ貿易
Promark FALCON
www.japansakurai.co.jp

金属バット製造
M.F.K.K 藤井金属化工株式会社

asics

ZETT

私たちは軟式野球を通じて皆さまを応援しています。

競技会場地マップ Venue map

県内全40市町村と県外3市町において、国スポ・障スポ合わせて104競技を開催！

国スポ
- 正式競技（37）
- 特別競技（1）
- 公開競技（7）
- デモンストレーションスポーツ（39）
- 冬季正式競技（3）

障スポ
- 正式競技（14）
- オープン競技（3）

（身）身体障がい者が出場できる競技　（知）知的障がい者が出場できる競技
（精）精神障がい者が出場できる競技

東青地域

青森市
- 国スポ総合開・閉会式
- 障スポ開・閉会式
- 陸上競技
- 水泳（競泳）
- 水泳（水球）
- 水泳（アーティスティックスイミング）
- 水泳（オープンウォータースイミング）
- テニス
- バレーボール（6人制）
- バレーボール（ビーチバレーボール）
- ハンドボール
- ソフトテニス
- 卓球
- 軟式野球
- ライフル射撃（25m）
- ラグビーフットボール（15人制）
- スポーツクライミング（リード・ボルダー）
- アーチェリー
- ゴルフ
- トライアスロン
- ウォークビンゴ
- カーリング
- ソフトバレーボール
- ターゲット・バードゴルフ
- ドッジボール
- 年齢別ソフトテニス
- 年齢別テニス
- ふれあいボウリング
- ユニバーサルホッケー
- ラージボール卓球
- ダンススポーツ
- 陸上競技（身・知）
- 水泳（身・知）
- アーチェリー（身）
- 卓球（身・知・精）
  サウンドテーブルテニス（身）を含む。

平内町
- ゴルフ
- 綱引

今別町
- 年齢別バドミントン

蓬田村
- モルック

外ヶ浜町
- ペタンク

下北地域

むつ市
- ローイング
- バスケットボール
- セーリング
- フェンシング
- フライングディスク
- バスケットボール（知）

大間町
- ウオーキング

風間浦村
- ノルディックウォーキング

東通村
- ソフトバレーボール

佐井村
- ふれあいソフトボール

上北地域

十和田市
- サッカー
- バスケットボール
- 相撲
- ゲートボール
- バウンドテニス
- パークゴルフ
- Let's Enjoy バウンドテニス
- バレーボール（身）

三沢市
- ホッケー
- バスケットボール
- 軟式野球
- ソフトボール
- 銃剣道
- 武術太極拳
- いきいき太極拳
- スケート（ショートトラック）
- アイスホッケー
- ボウリング（知）
- 車いすバスケットボール（身）
- デフボウリング（身）

野辺地町
- ハンドボール

七戸町
- 剣道
- ブラインドテニス（身）

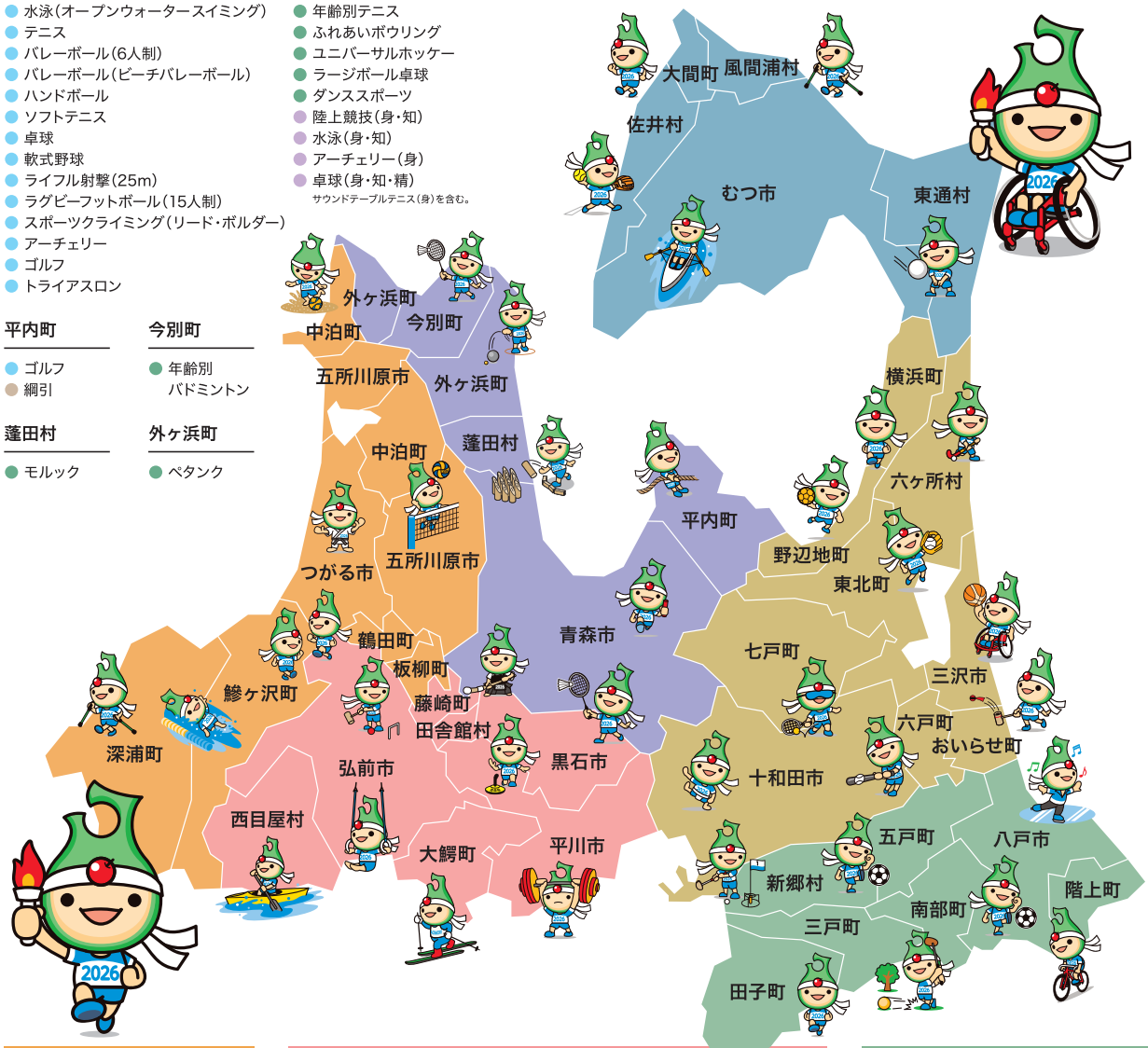
六戸町
- 軟式野球

横浜町
- マラソン

東北町
- ソフトボール
- 女子ソフトボール
- ソフトボール（知）

六ヶ所村
- ホッケー
- 軟式野球

おいらせ町
- 軟式野球
- スポーツチャンバラ
- ファイン・ボール
- ブラインドベースボール（身）
- ファイン・ボール（身）



西北地域

五所川原市
- バレーボール（6人制）
- バレーボール（精）

つがる市
- バレーボール（6人制）
- 柔道
- バレーボール（知）

鰺ヶ沢町
- マスターズスイミング

深浦町
- ノルディックウォーキング

板柳町
- ふれあいゲートボール
- ウオーキング

鶴田町
- マラソン&ウォーキング

中泊町
- ビーチサッカー

中南地域

弘前市
- 体操（競技）
- 体操（新体操）
- 体操（トランポリン）
- ソフトボール
- 弓道（近的・遠的）
- ライフル射撃（50m、10m、BR・BP）
- 空手道
- クレー射撃（トラップ・スキート）
- 高等学校野球（硬式・軟式）
- マスターズ陸上競技
- ビリヤード
- フライングディスク（身・知）
- ボッチャ（身）

黒石市
- バドミントン

西目屋村
- カヌー（スプリント）
- カヌー（スラローム・ワイルドウォーター）

大鰐町
- パラグライディング
- オリエンテーリング
- スキー（ジャイアントスラローム）
- スキー（クロスカントリー）

平川市
- ウエイトリフティング
- グラウンド・ゴルフ
- エアロビック
- インディアカ

藤崎町
- なぎなた
- パワーリフティング
- スポーツウエルネス吹矢

田舎館村
- ユニカール

三八地域

八戸市
- サッカー
- バスケットボール
- レスリング
- 自転車（トラックレース）
- ソフトボール
- ラグビーフットボール（7人制）
- ボウリング
- 空道
- スケート（スピード）
- スケート（フィギュア）
- アイスホッケー
- サッカー（知）
- フットソフトボール（知）

三戸町
- パークゴルフ

五戸町
- サッカー

田子町
- マラソン

南部町
- サッカー

階上町
- 自転車（ロードレース）
- フロアボール

新郷村
- エンジョイ！グラウンド・ゴルフ

県外

宮城県利府町
- 水泳（飛込）

山梨県北杜市
- 馬術

秋田県鹿角市
- スキー（スペシャルジャンプ）
- スキー（コンバインド）

昭和100年 1926—2026

青の煌めきあおもり国スポ 2026

翔けろ未来へ縄文の風に乗って
第80回国民スポーツ大会



青の煌めきあおもり国スポは昭和100年記念大会です

【国スポチャンネル】

https://japangamestv.japan-sports.or.jp/

【競技結果速報】

PC・スマホ
https://kirokukensaku.net/5NS26/index.html

フィーチャーフォン（ガラケー）
http://kirokukensaku.net/5NS26/mob/index.html

【国スポに関するお問い合わせ】

青の煌めきあおもり国スポ・障スポコールセンター
☎0120−912−568（ご案内時間　9：00~18：00）

【会場地実行委員会】

第 80 回国民スポーツ大会　**軟式野球競技会**

青の煌めきあおもり国スポ・障スポ青森市実行委員会
青の煌めきあおもり国スポ・障スポ三沢市実行委員会
青の煌めきあおもり国スポ六戸町実行委員会
青の煌めきあおもり国スポ・障スポおいらせ町実行委員会
青の煌めきあおもり国スポ六ヶ所村実行委員会